

平成 2 2 年度

上越市男女共同参画に関する市民意識調査 報告書

平成 2 2 年 7 月

上越市自治・市民環境部 共生まちづくり課

はじめに

市では、平成 13 年の男女共同参画都市宣言を契機に、上越市男女共同参画基本条例（2002：平成 14 年）を制定するとともに上越市男女共同参画基本計画「男女共同参画推進プラン 2010」（2002：平成 14 年）を策定し、以来、平成 22 年度までの 9 年間で 3 年ごとに、前期・中期・後期として計画を立て、行政内部の推進をはじめ、市民や地縁団体、事業者等との協働により様々な施策に積極的に取り組んでまいりました。

本報告書は、市民の男女共同参画に関する意識を把握し、平成 23 年度からの第 2 次男女共同参画基本計画策定のための基礎資料にするとともに、その調査結果を今後の市の施策に反映させ、一層の充実を図るために、本年 4 月に実施した市民意識調査結果をまとめたものです。

調査は、20 歳以上の市民 4,000 人を対象として郵送による配布回収を行い、1,355 人の方から回答を得ました。（回答率 33.9％）

調査の結果、男女の地位の平等感はいこれまでの、平成 16 年度 26.3％、平成 19 年度 29.5％と比べ、今回は 31.3％とゆるやかですが確実に向上しています。しかし 31.3％という値は必ずしも社会全体に浸透しているとは言い切れず、これからも積極的な施策の実施が必要です。

また、今後「行政が力を入れるべき分野は何か」との問いに、「地域における子育てや介護の支援など安心して暮らせる環境の整備」「職業生活と家庭生活が両立できる就業環境の整備」などの回答が多数を占めました。このことから、今まで進めてきている市の男女共同参画に関する事業についての広報・啓発活動のほか、仕事と子育てや介護等が両立できる環境の整備など就労支援の充実が求められていると考えられます。

この調査結果を十分に踏まえ、今後も男女共同参画社会の促進に向けた取組をより一層推進していくため、市民の皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

平成 22 年 7 月

上越市自治・市民環境部 共生まちづくり課

- 目次 -

1	調査概要	1
	(1) 調査の目的	1
	(2) 調査設計と回収状況	1
	(3) 回答者のプロフィール	1
2	調査結果	5
	(1) 分野別の男女の平等感	5
	(2) 結婚・家庭等の意識	7
	(3) 役割分担	9
	(4) 既婚家庭での家事分担	11
	(5) 女性の人権の尊重	13
	(6) 夫婦間の暴力	15
	(7) 生活の中での優先度	19
	(8) 女性の進出を望む職業や役職	20
	(9) 教育・男女平等	22
	(10) 地域リーダーに女性が少ない理由	24
	(11) 職業観	26
	(12) 男性が育児休暇を取得しづらい理由	27
	(13) 就業状況	29
	(14) 職場における男女平等	31
	(15) 就労の継続	33
	(16) 家庭での役割の評価	35
	(17) メディアにおける性・暴力表現	37
	(18) 女性に関する相談機関の認知度	42
	(19) 地域推進員の認知度	44
	(20) 男女共同参画に関することば及び国・県・市の取組の認知度	45
	(21) 行政の今後の取組	47
	(22) 講演会等の開催日時	49
	(23) 市の取組について	51
	(24) その他、自由記入など	53
	付録	76
1	男女の地位の平等感	76
	(1) 男女共同参画に関する市民意識調査(無回答を除く)	76
	(2) 男女共同参画社会に関する世論調査	76
2	アンケート調査表	77

本報告書を読む際の注意事項

- (1) 調査結果の数値は、原則として回答率(単位:%)で表記している。%の母数はその質問に該当する回答者の数であり、その該当者の数はn = で表記している。
- (2) 性別、年代別等の分析結果においては、その総数は全体の総数と一致しない場合がある。これは、性別、年代等が無回答の場合、総数にのみカウントされるためである。
- (3) %値は、小数点以下第 2 位を四捨五入し小数点第 1 位までを表示している。したがって、比率の合計は必ずしも 100%ではない場合(99.9%または 100.1%など)がある。
- (4) 本調査のように全体(母集団)から一部を抽出して行う標本調査の場合、どの対象が選ばれるかは偶然によって左右されるので、調査の結果は必ずしも母集団の値とは一致せず、多少の誤差を生じる(標本誤差)。そこで、ここで示された数値(%)をそのまま 20 歳以上の全市民の回答として単純に置き換えることはできないため、標本誤差を次のように計算して、20 歳以上の全市民の回答を推測する必要がある。

標本誤差の計算結果

$$\text{計算式} \quad \text{標本誤差} = 1.96 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(100-P)}{n}}$$

N = 母集団数(167,552)

n = 比率算出の基数(1,355)

P = 回答率

母集団とは、20 歳以上の市内在住者の総数を表す。

(平成 22 年 3 月 31 日現在市住民基本台帳)

回答の比率	標本誤差
10%または 90%	± 1.59%
20%または 80%	± 2.12%
30%または 70%	± 2.43%
40%または 60%	± 2.60%
50%	± 2.65%

1 調査概要

(1) 調査の目的

- ・基本計画の最終年度にあたり、平成23年度以降も引き続き男女共同参画社会の推進を効果的に進めるため、市民の男女共同参画に関する意識と実態を把握し、上越市第2次男女共同参画基本計画策定の基礎資料とする。
- ・男女共同参画社会の実現に向け、調査結果を今後の市の施策に反映させ、一層の充実を図る。

(2) 調査設計と回収状況

調査対象

上越市在住の満20歳以上の男女

発送数

4,000

抽出方法

住民基本台帳に基づく無作為抽出

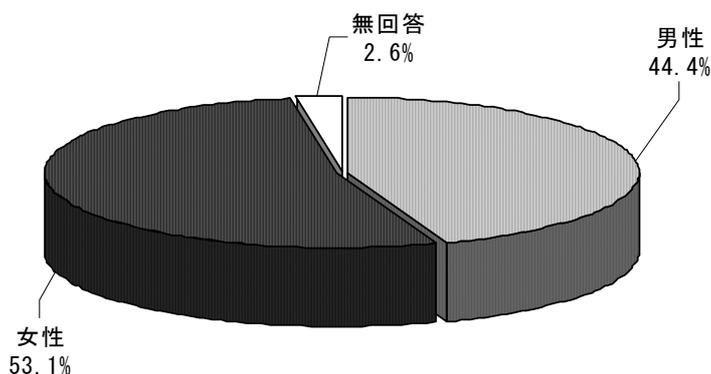
回収状況

1,355 (回収率 33.9%)

(3) 回答者のプロフィール

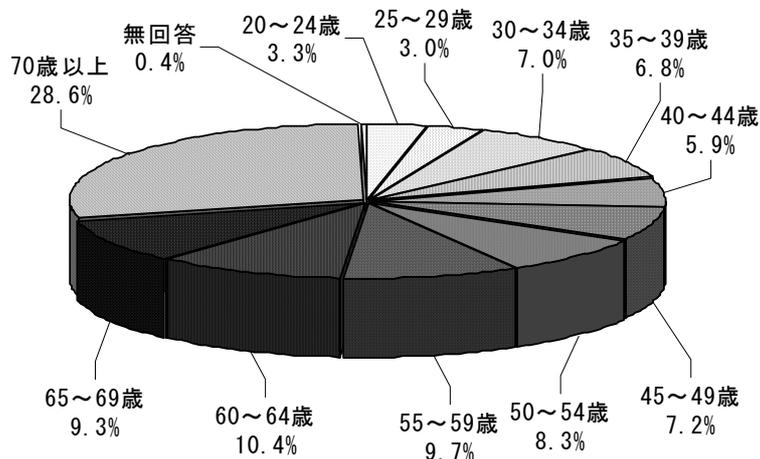
性別

総数に占める男女の割合(総数)n=1,355

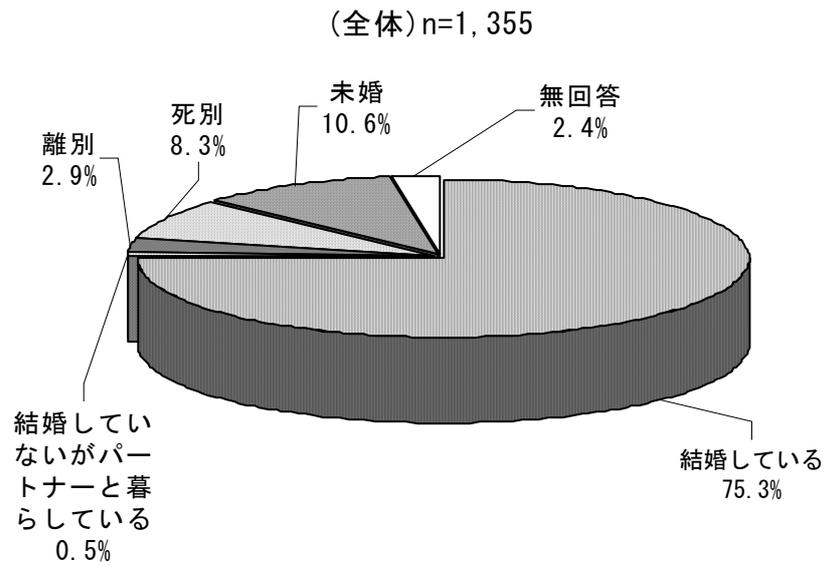


年齢

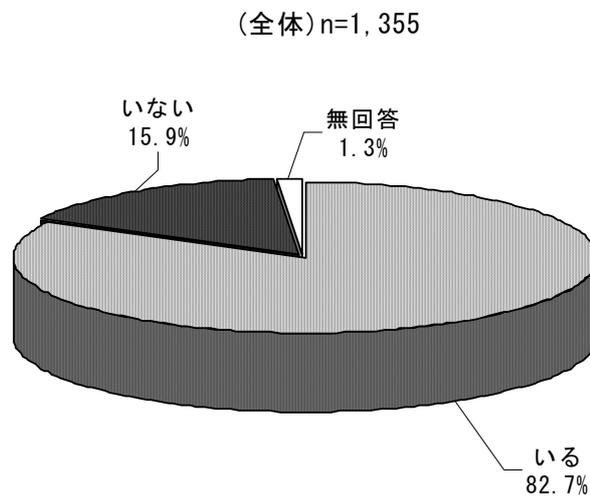
(全体)n=1,355



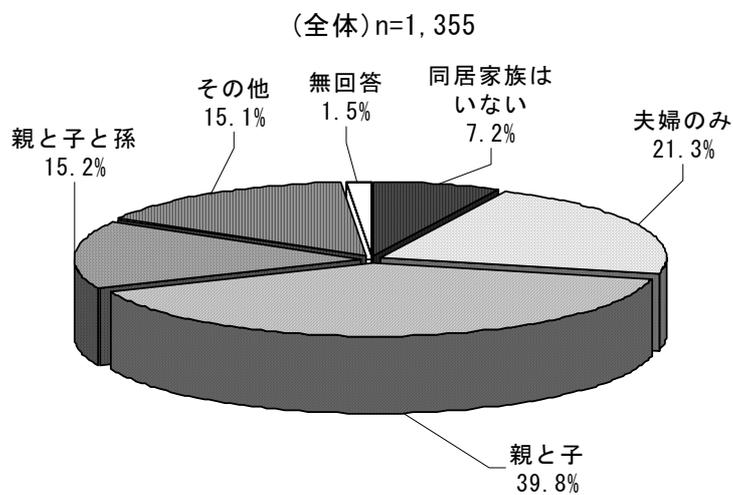
未既婚



子どもの有無

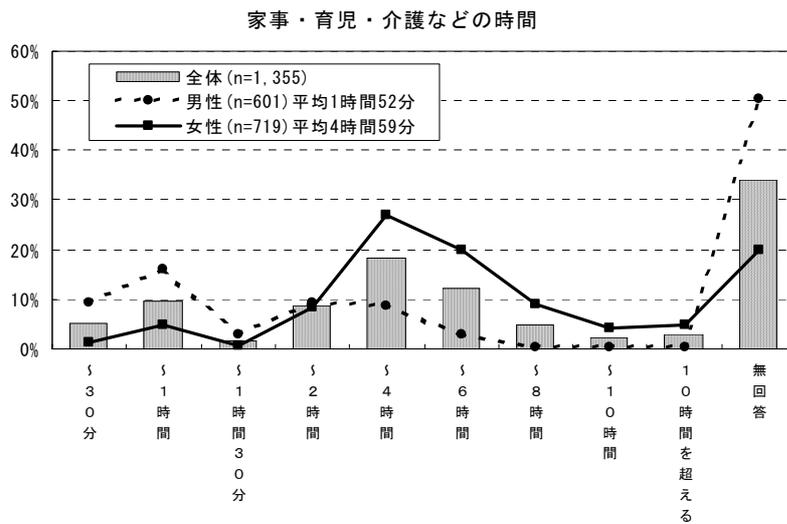


家族構成

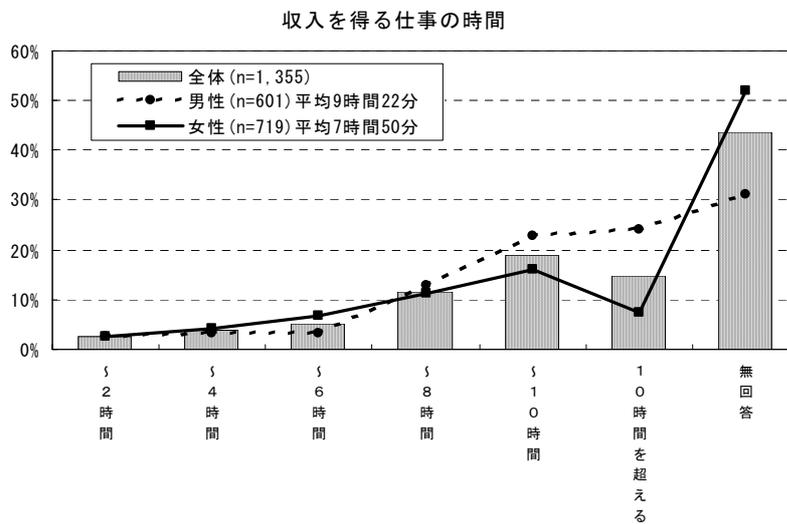


生活時間

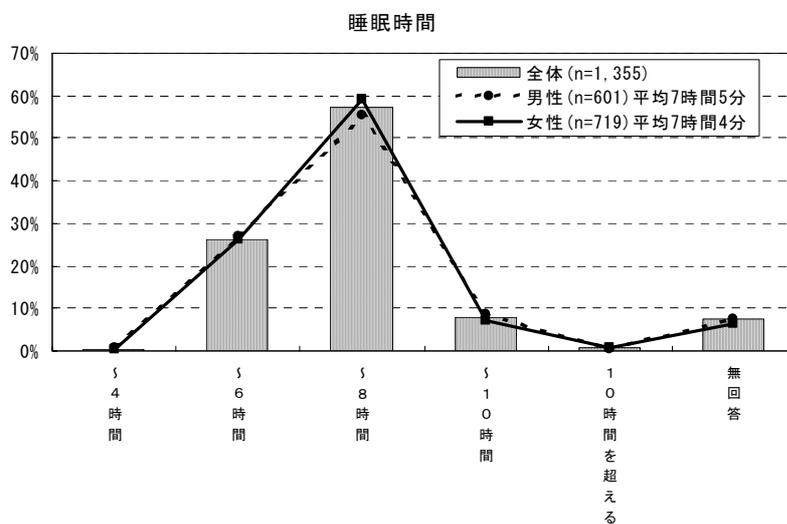
ア 家事・育児・介護などの時間



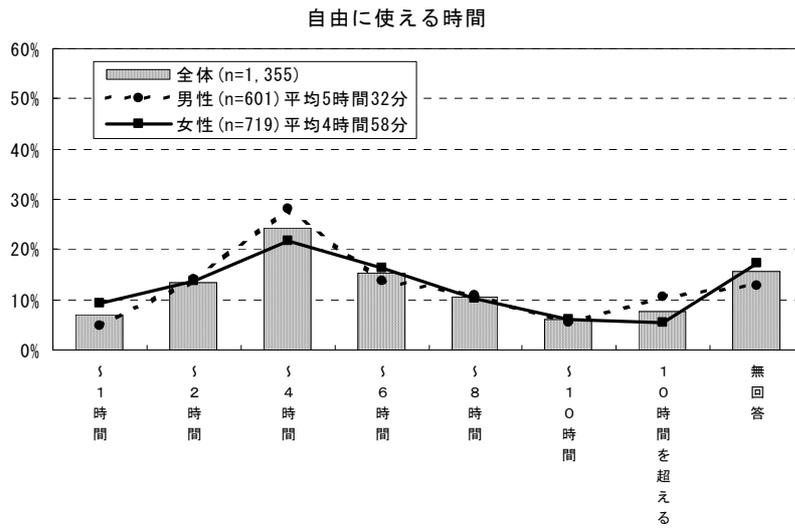
イ 収入を得る仕事の時間（通勤時間含む）



ウ 睡眠時間



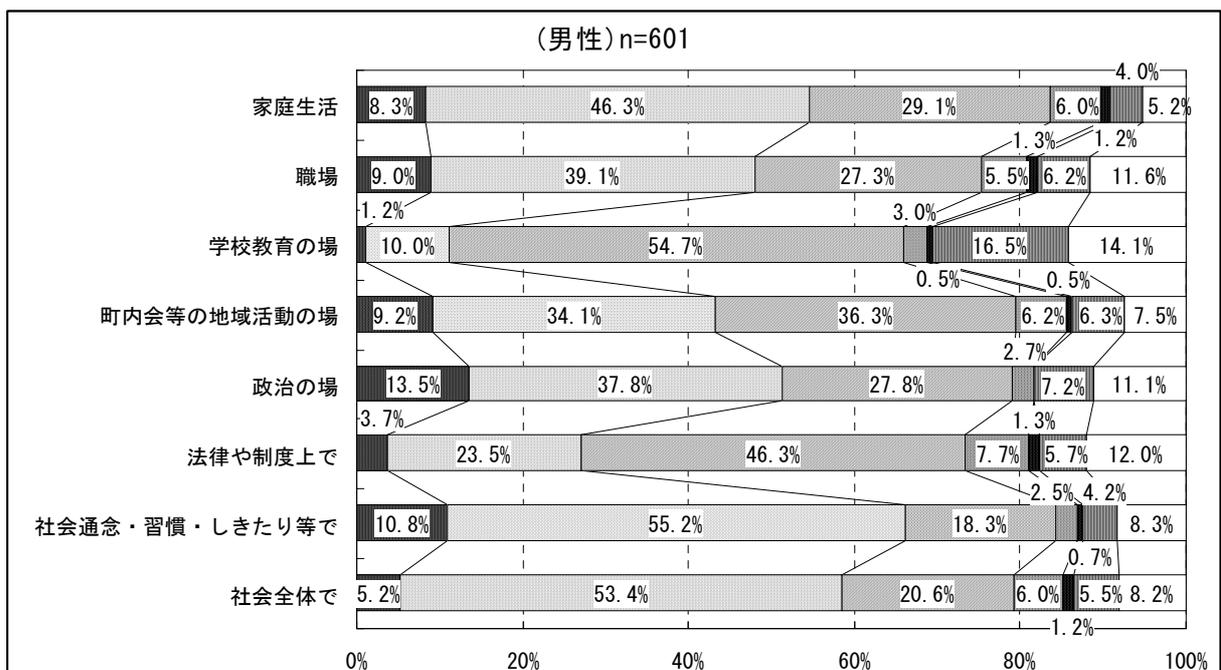
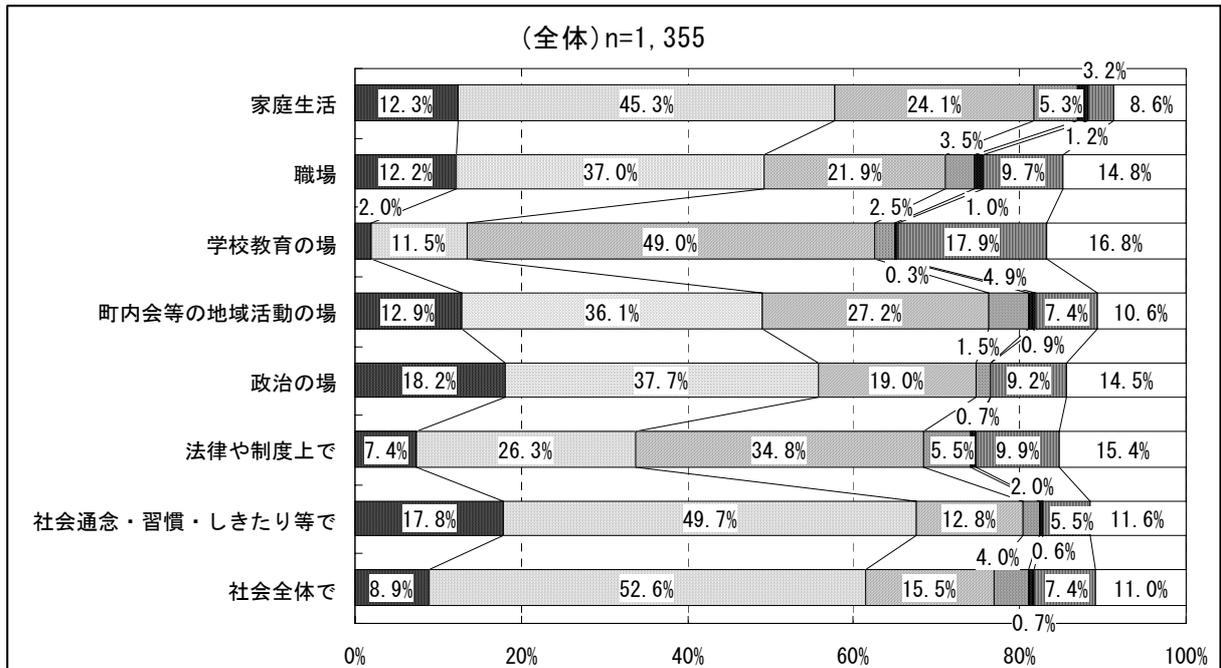
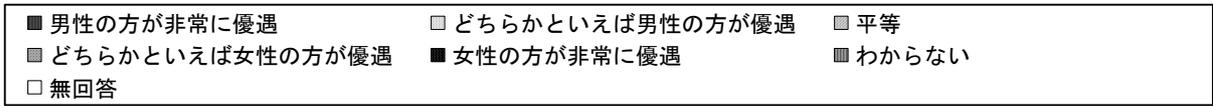
工 自由に使える時間

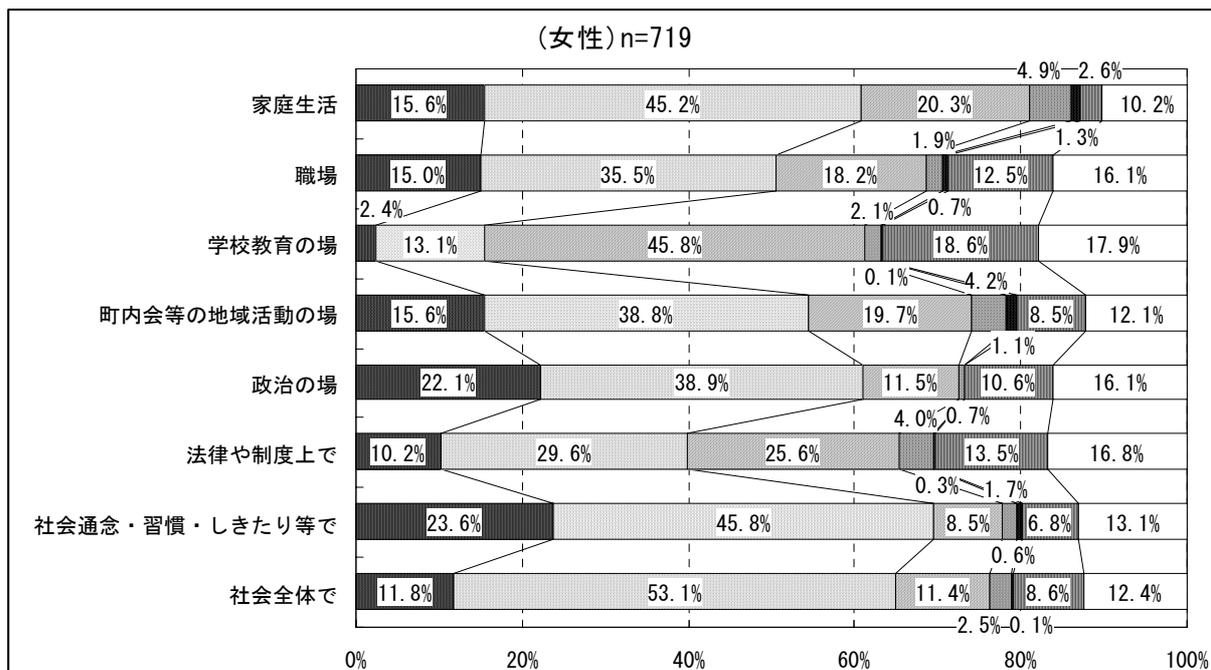


2 調査結果

(1) 分野別の男女の平等感

【設問】あなたは、次のような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。1～8のそれぞれについて、一つだけをつけてください。



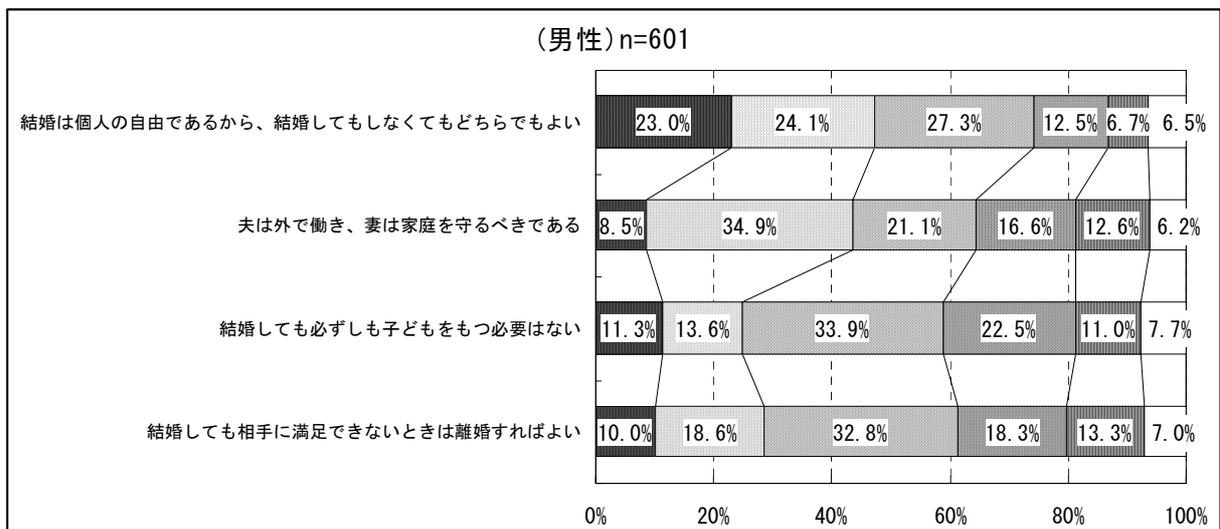
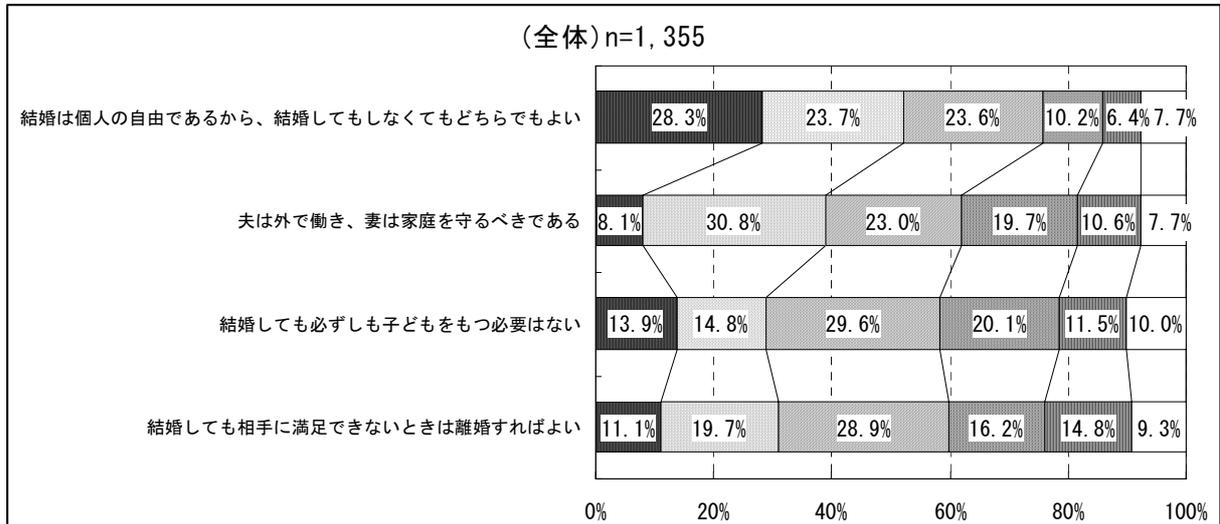


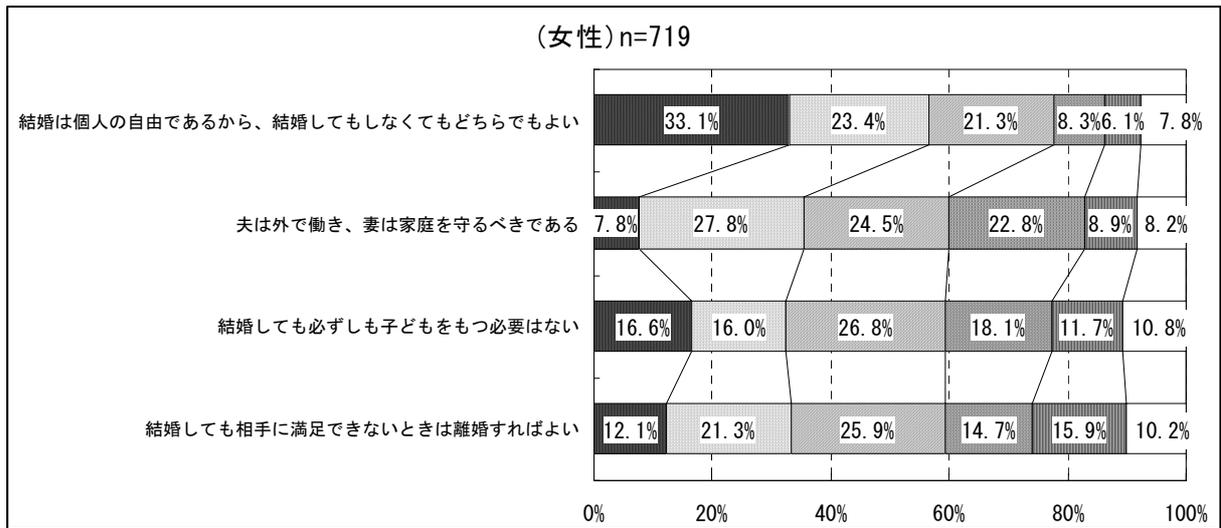
「学校教育の場」での平等感は、49.0%と全分野の中でも最も多く、「法律や制度上」が34.8%、「町内会等の地域活動の場」が27.2%と続いている。これら以外は25%を下回り、「社会通念・習慣・しきたりなど」は12.8%と最も低くなっている。また、平等感を持つ人の割合は、全ての項目において、女性より男性のほうが多い。

(2) 結婚・家庭等の意識

【設問】結婚、家庭等について、あなたのご意見をお聞きます。1～4までのそれぞれについて、一つだけをつけてください。

■ 賛成 □ どちらかといえば賛成 ■ どちらかといえば反対 ■ 反対 ■ わからない □ 無回答



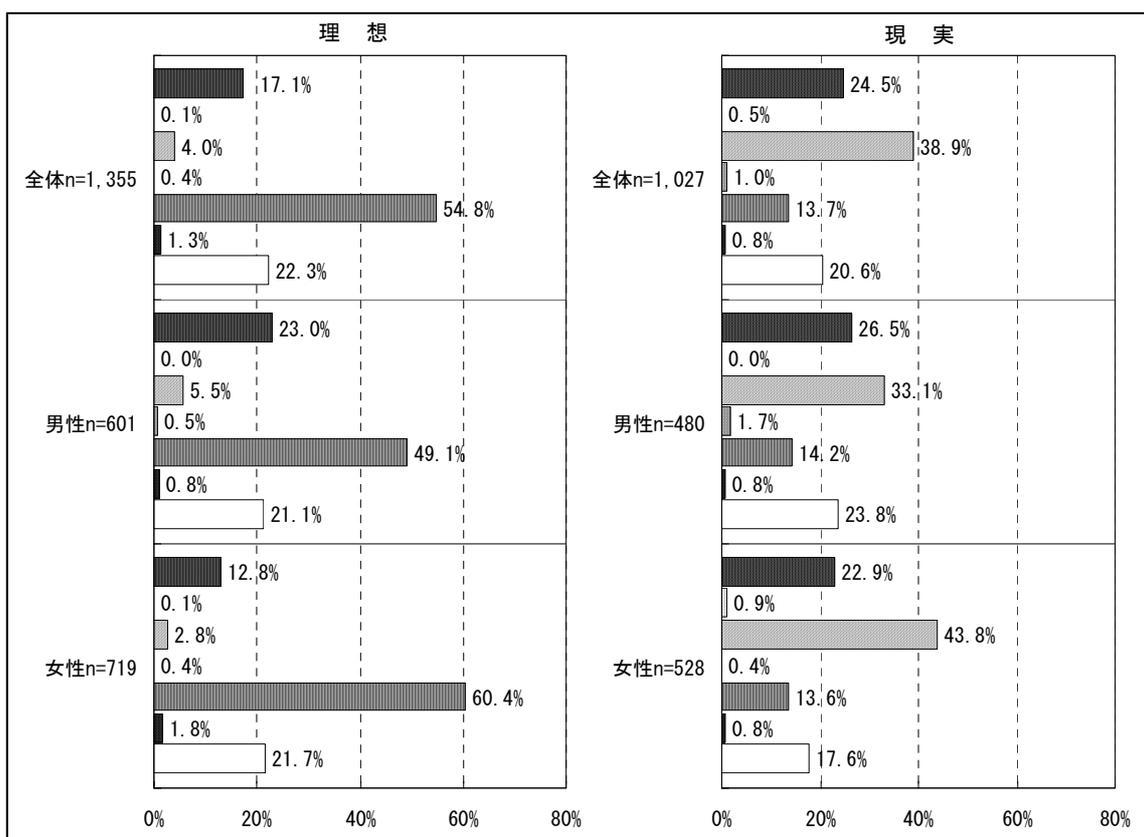
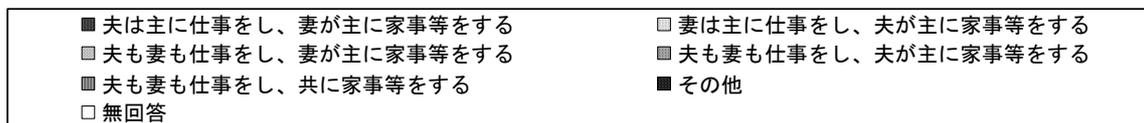


「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という意識は、「賛成」及び「どちらかといえば賛成」が 38.9%、「反対」及び「どちらかといえば反対」が 42.7%と、反対が賛成を上回っている。ただし、男性は「賛成」及び「どちらかといえば賛成」が 43.4%、「反対」及び「どちらかといえば反対」が 37.7%と性別により役割分担を固定する意識を持つ人が多い傾向にある。

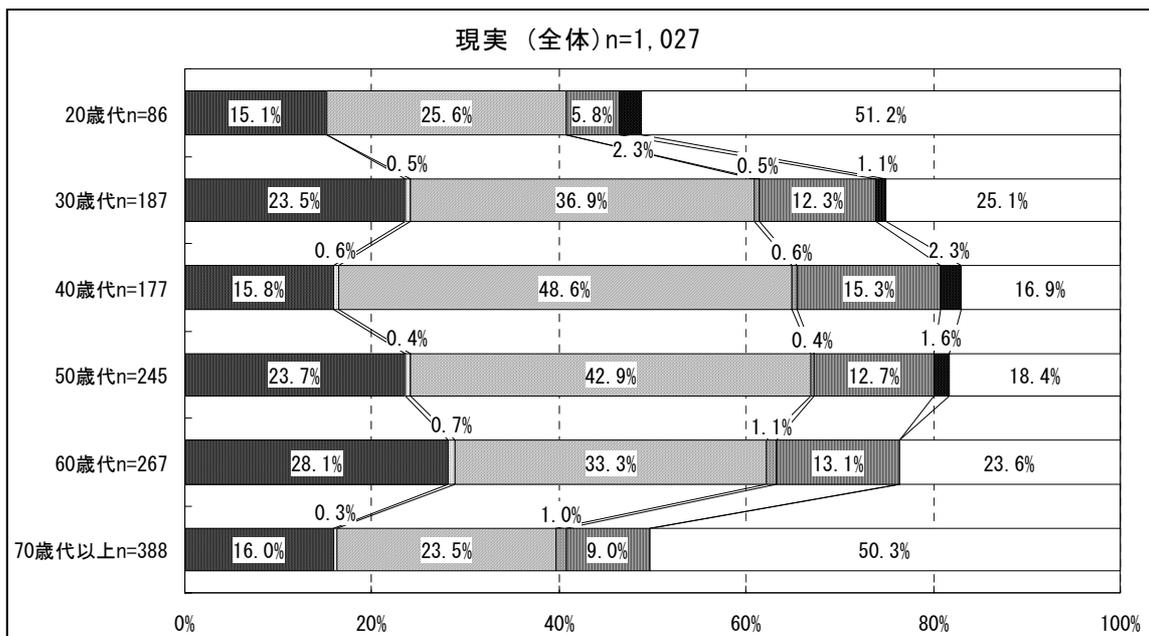
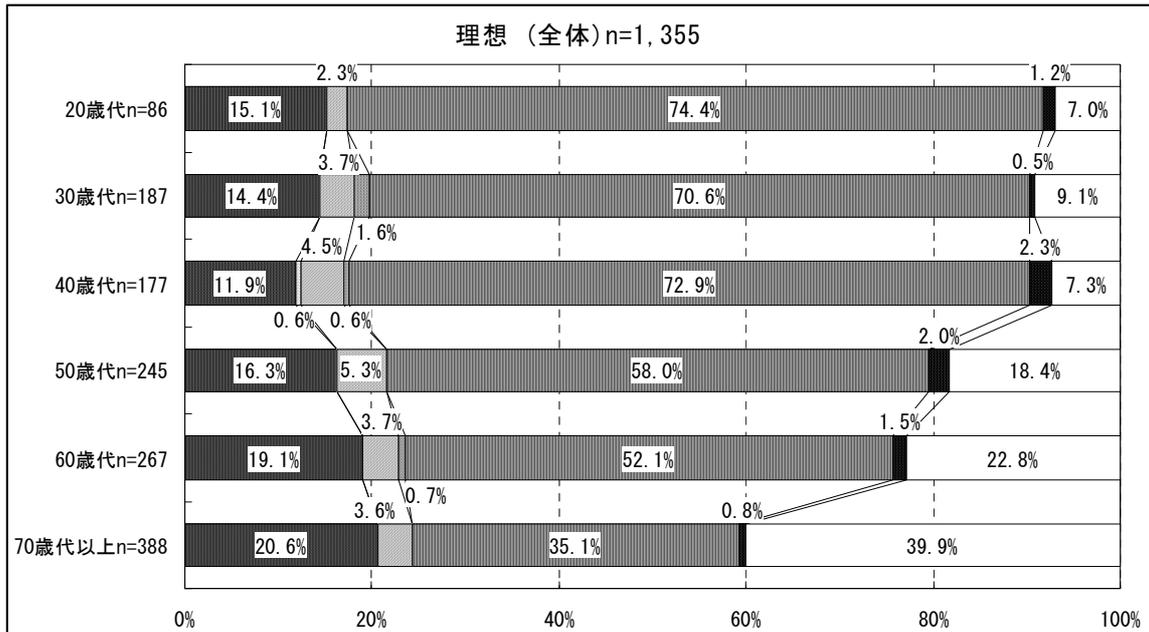
(3) 役割分担

【設問】家庭での夫婦の役割分担について、1～6のうちあなたが望ましい姿だと考えるものを一つ選び「理想」欄に をつけてください。また、あなたが実際に経験した状況に最も近いものを一つ選び「現実」欄に をつけてください。(現実欄は結婚(事実婚を含む)している方のみお答えください。)

[全年代]



[年代別]

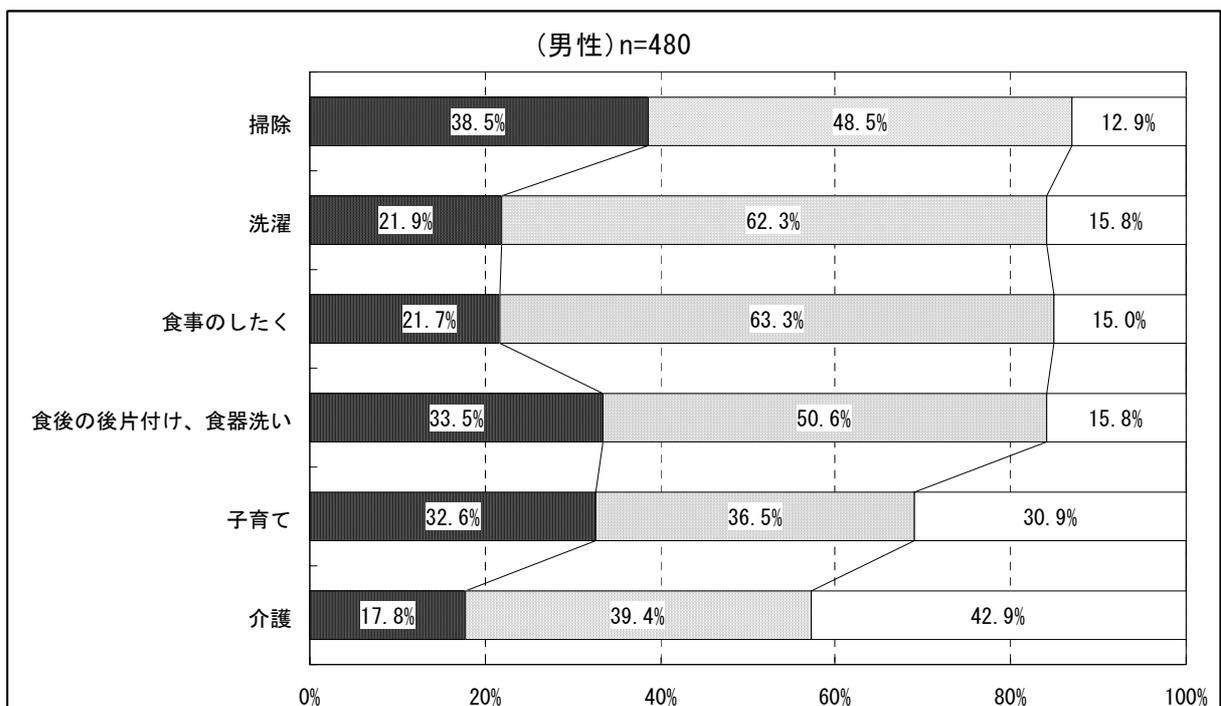
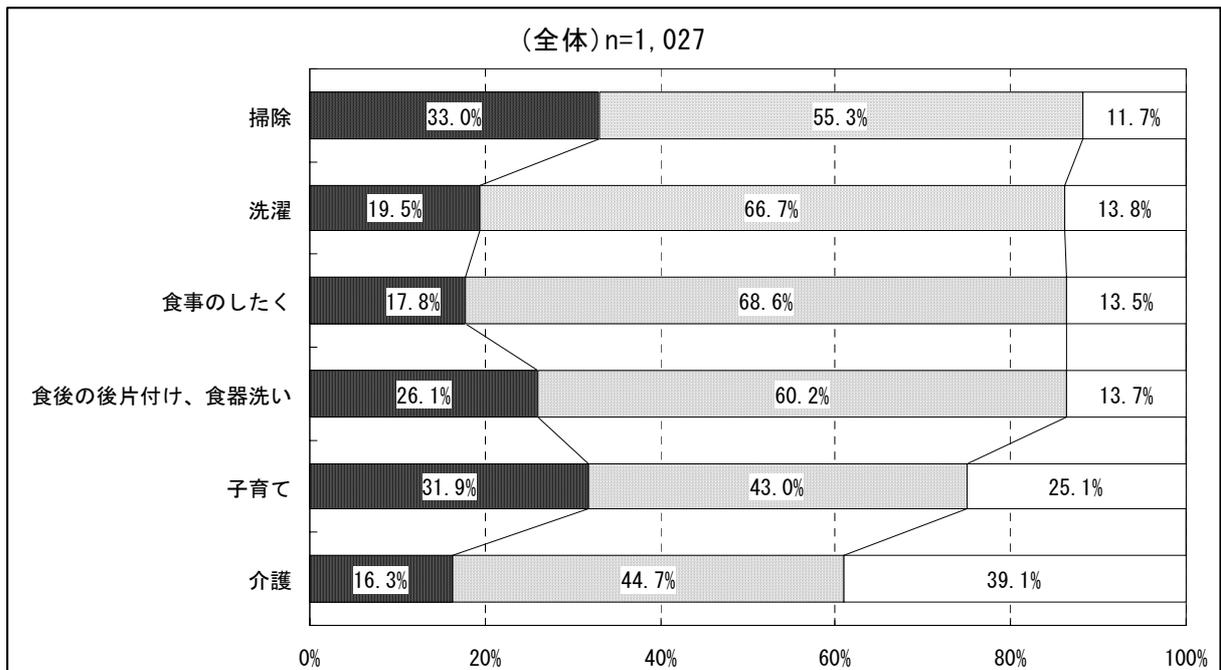


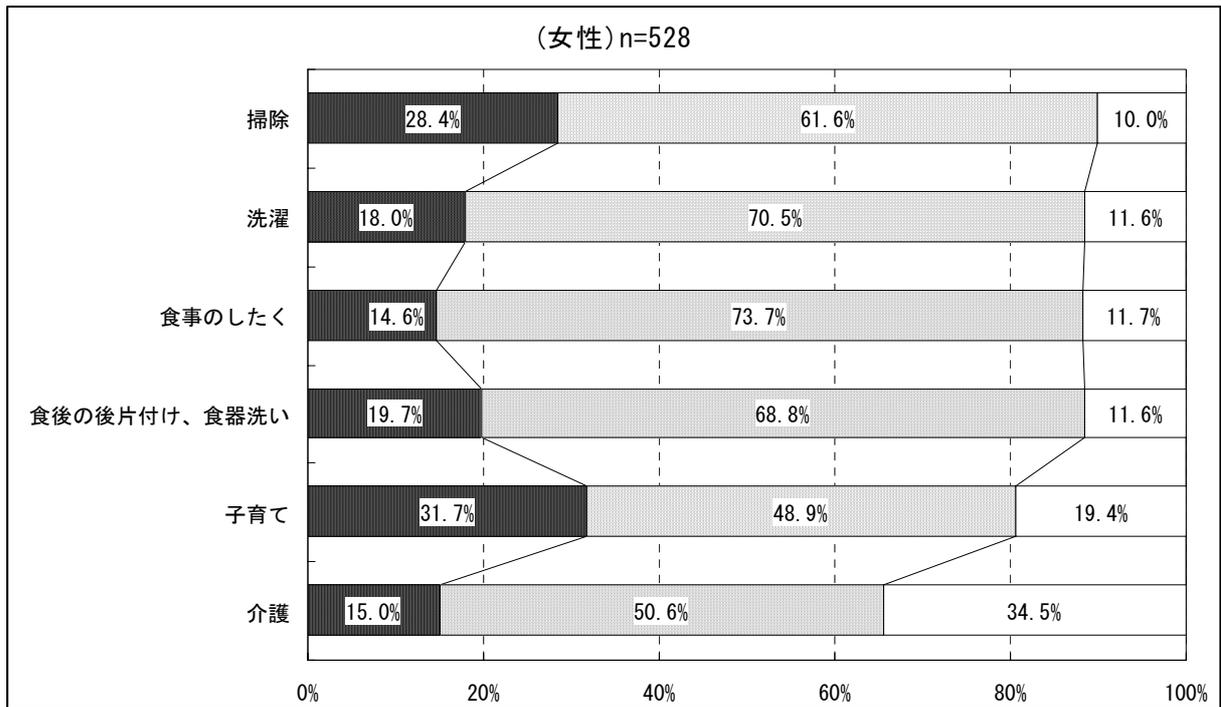
理想では、「夫も妻も仕事をし、共に家事等をする」が他の回答と比べ圧倒的に高い数値となり、意識の上では性別による役割分担の固定を否定する人が多いが、現実では「夫も妻も仕事をし、妻が主に家事をする」が男女問わず最も多くなっており、実際は妻の負担が大きいと考えられる。また、若年になるにつれ「夫も妻も仕事をし、共に家事等をする」を理想とする割合が高まっており、性別により役割分担を固定する意識が低くなってきている。

(4) 既婚家庭での家事分担

【設問】結婚（事実婚を含む）している方にお聞きします。あなたのご家庭では次のような家事を男性は分担していますか。1～6までのそれぞれについて、一つだけをつけてください。

[子育て・介護について「該当なし」を除く]

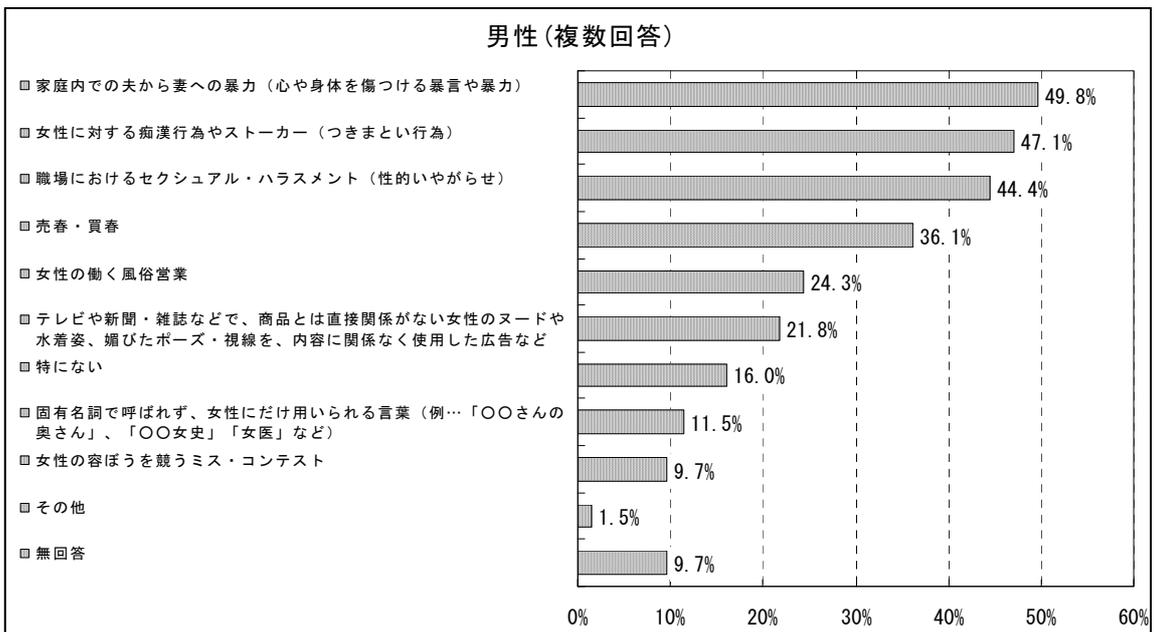
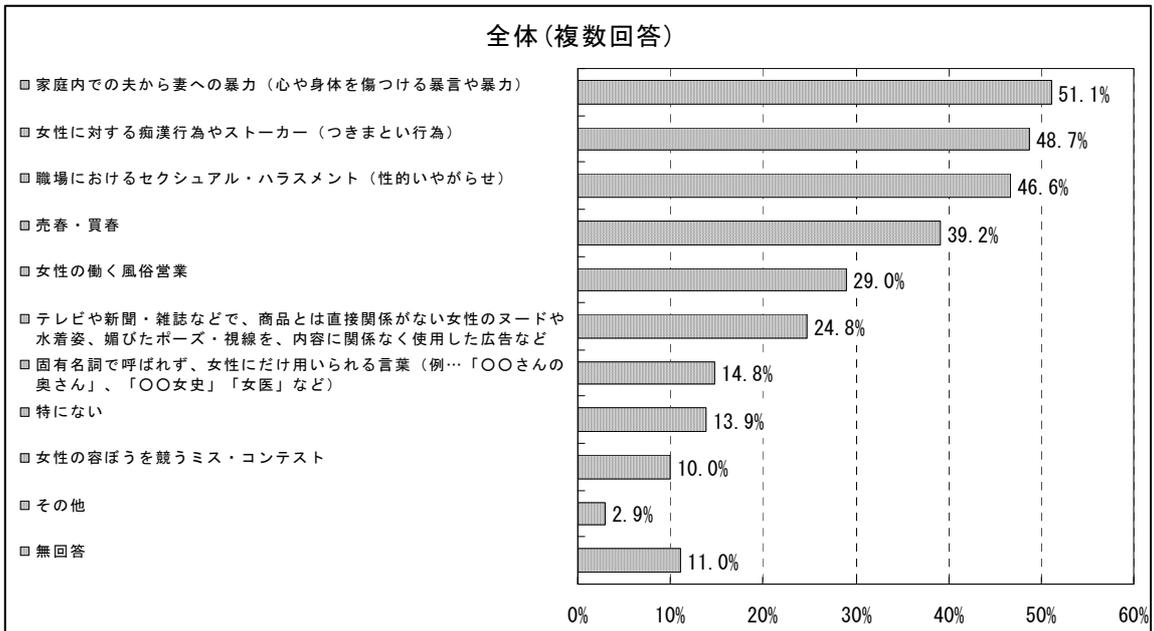


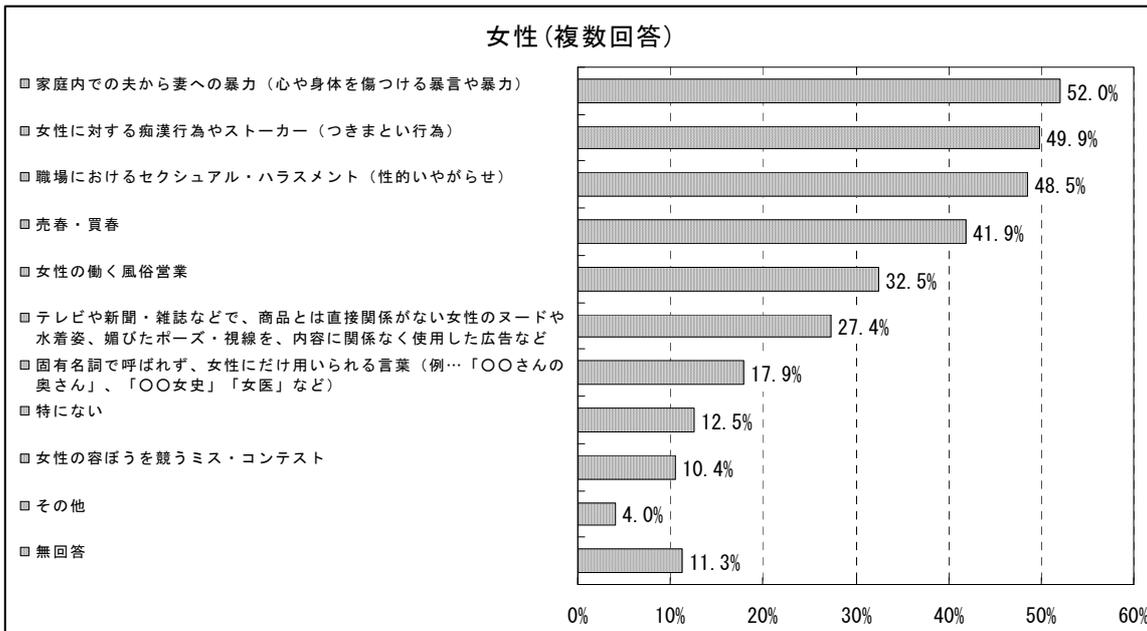


「子育て」では「該当なし」の世帯を除くと、分担している家庭が31.9%と「掃除」とならび他の項目と比べ比較的高い値となっている。また、全ての分野の分担している割合の平均は前回調査20.6%から24.1%と3.5ポイント上昇している。家庭内における家事分担が着実に推進している。

(5) 女性の人権の尊重

【設問】あなたが、女性の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことについてでしょうか。あてはまるもの全てに をつけてください。



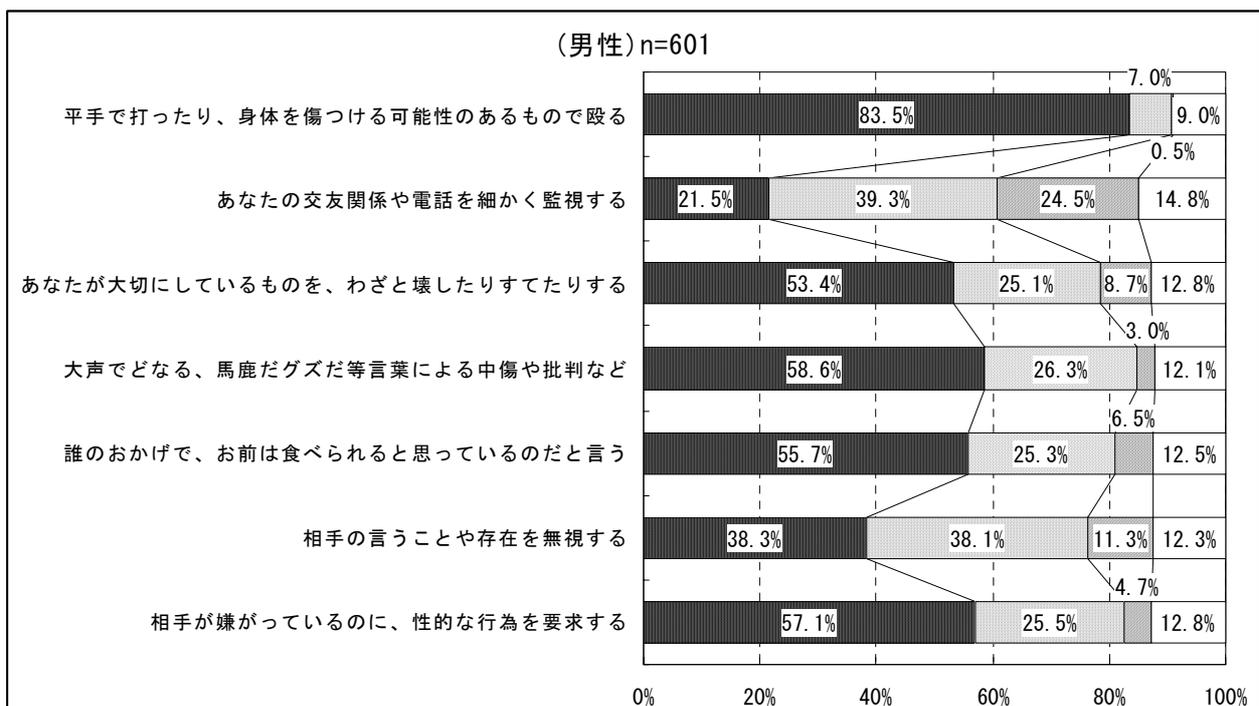
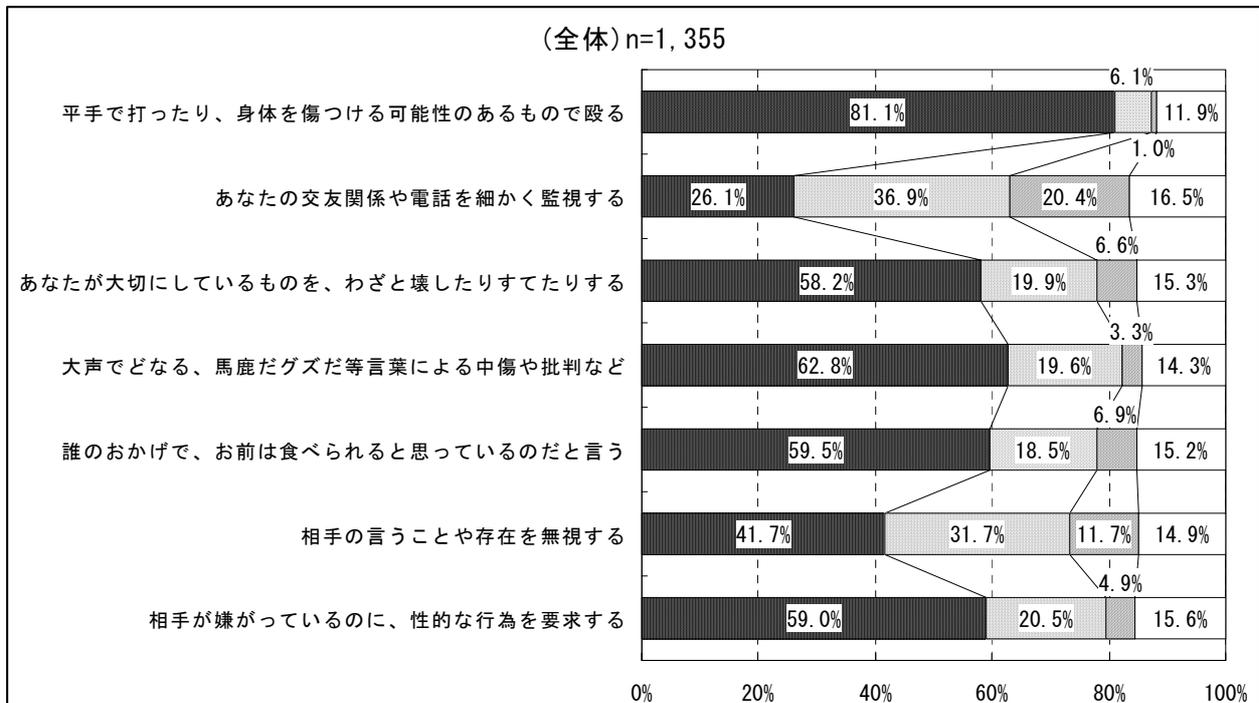


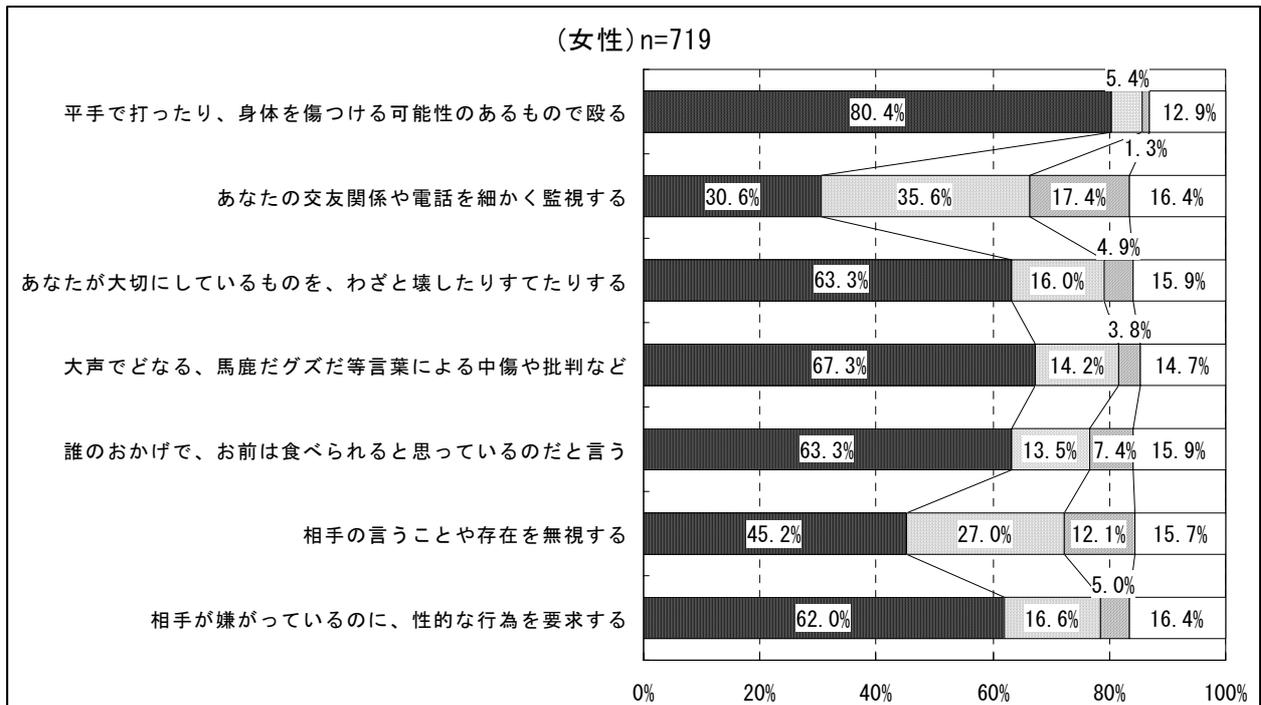
DVやつきまとい、セクシュアルハラスメント、売・買春など、法律で規制されている項目については、他の項目と比べ女性の人権が尊重されていないと感じる傾向が高くなっている。

(6) 夫婦間の暴力

【設問】あなたは、次のようなことが夫婦間（事実婚を含む）で行われた場合、それを暴力だと思いますか。あなたの考えに一番近いものを1～7のそれぞれについて、一つだけをつけてください。

■ 暴力だと思う □ 暴力の場合とそうでない場合がある ▨ 暴力にあたるとは思わない □ 無回答

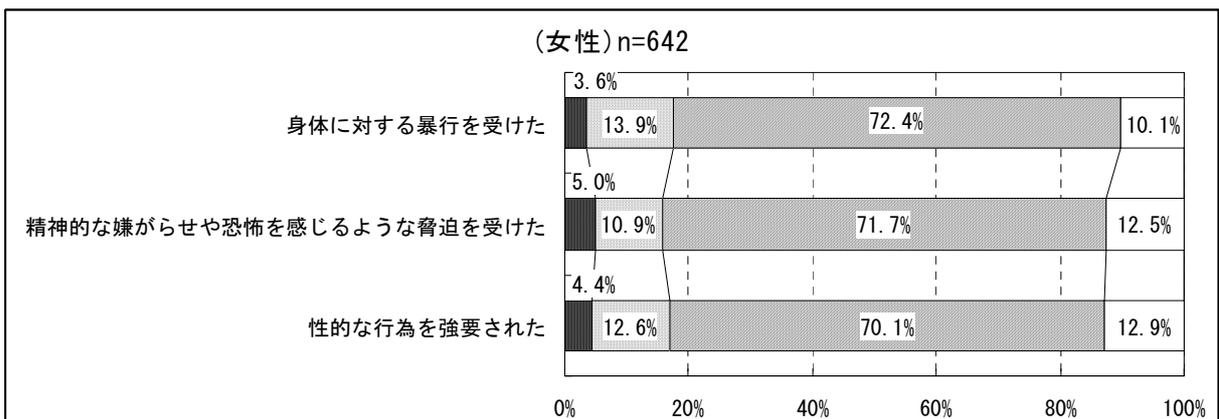
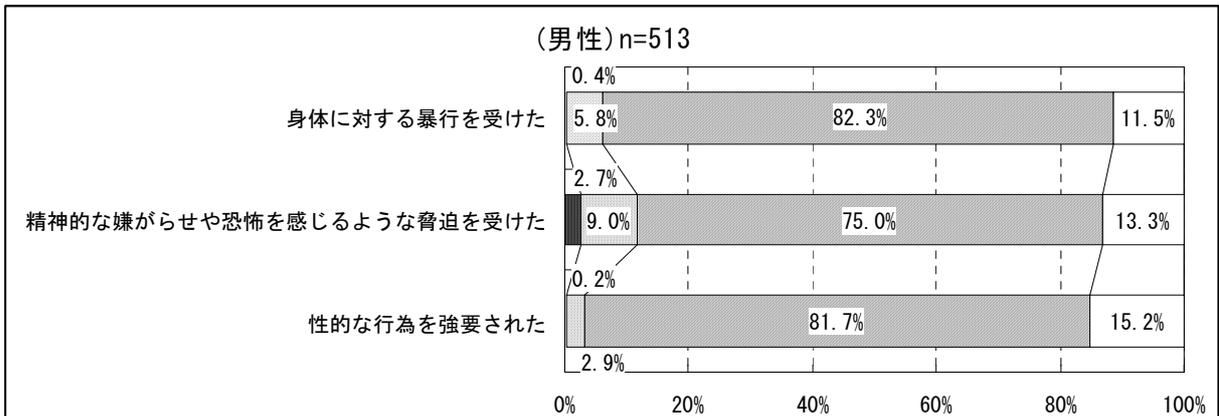
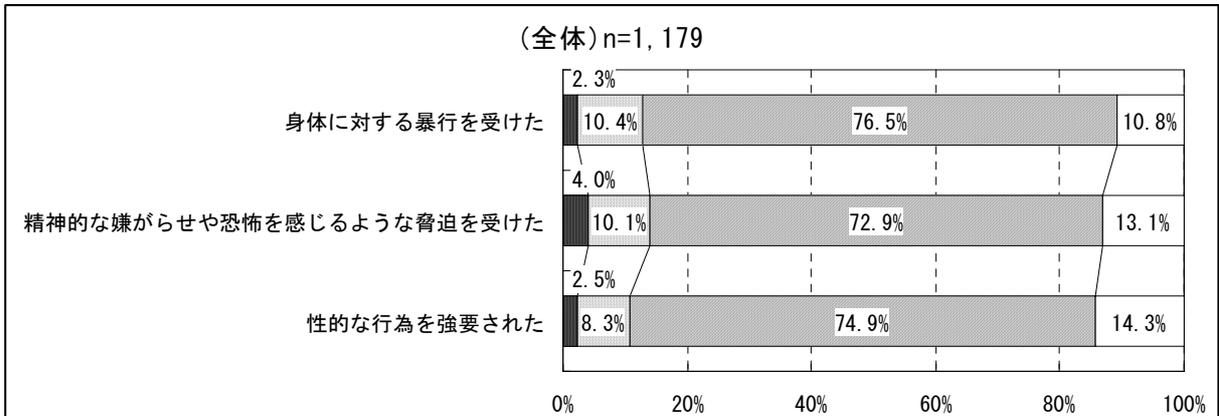




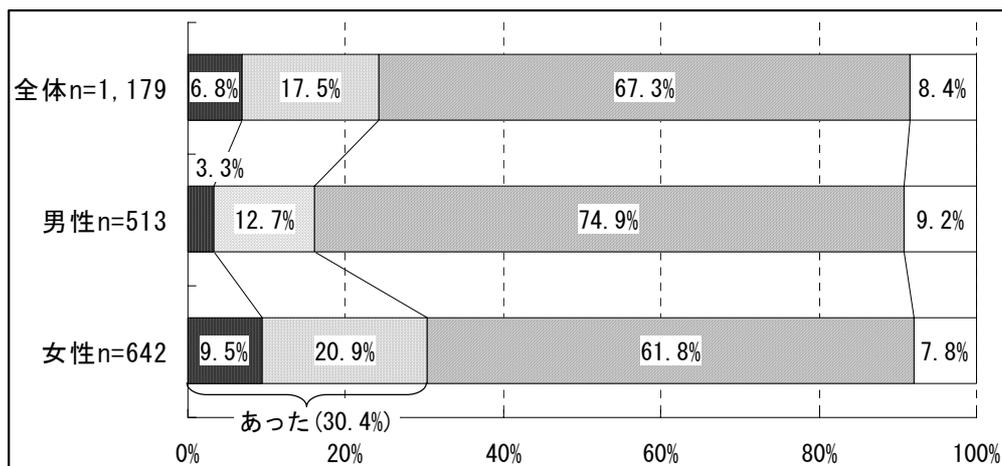
平手で打ったり、殴る行為については、多くの方が暴力と感じているが、「交友関係や電話を細かく監視する」行為は、暴力と感じている割合が他の項目と比べ極端に低くなっている。また、全般的に男性の方が女性と比べ暴力と感じている割合が低い傾向にある。

【設問】あなたは、夫婦間（元配偶者や事実婚を含む）で次のような暴力を受けたことがありますか。
1～3のそれぞれについて、一つだけ をつけてください。

■ 何度もあった □ 1、2度あった ■ まったくない □ 無回答



[身体的、精神的、性的暴力を1つでも受けたことがある人]

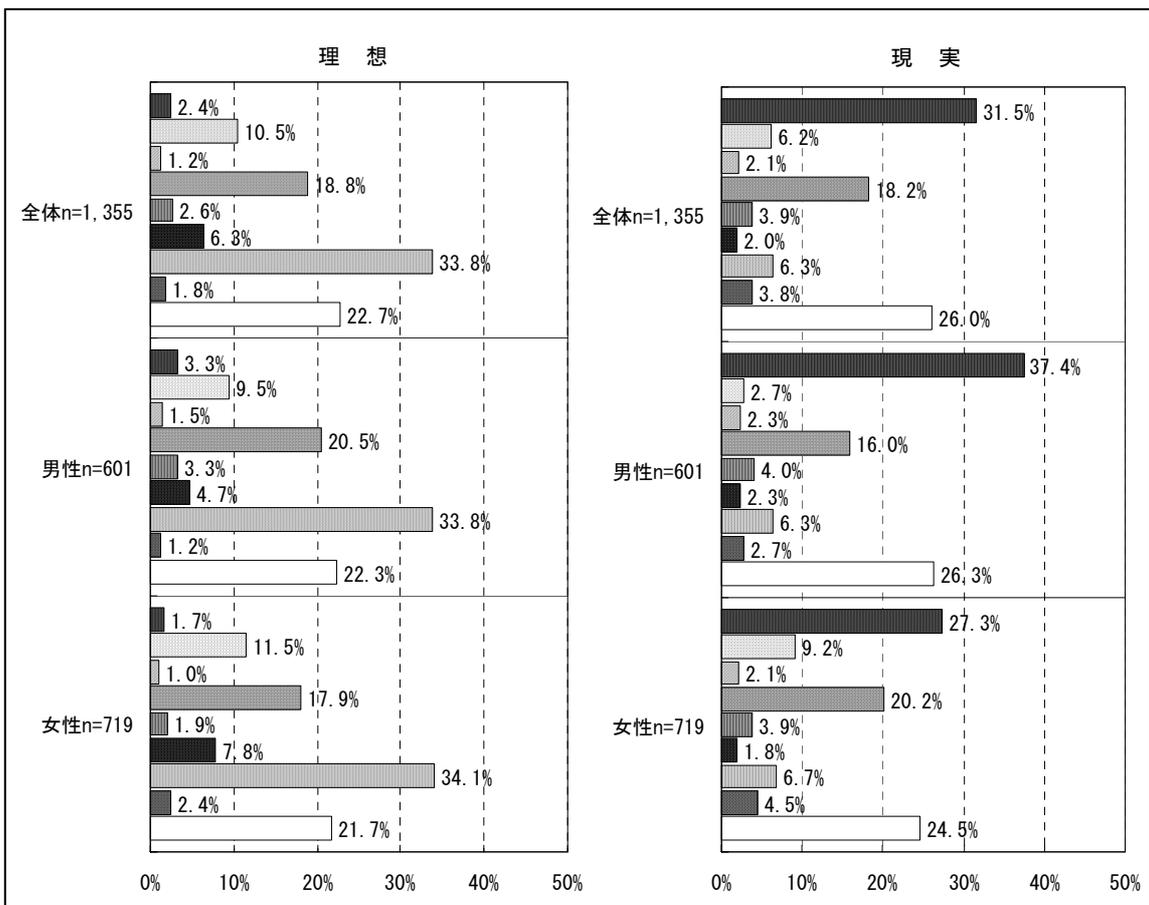


夫婦間で暴力を受けたことがある人は、男性と比べ女性の方が高い割合となっている。また女性は「身体的暴力」「精神的暴力」「性的暴力」のいずれかを1度でも受けたことがある人は30.4%と、約1/3の女性が夫婦間（元配偶者や事実婚を含む）で暴力を受けたことがあると回答している。

(7) 生活の中での優先度

【設問】生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活(地域活動・学習・趣味・付き合い等)」の優先度について、1～8のうちあなたが望ましい姿だと考えるものを一つ選び「理想」欄につけてください。また、あなたが実際に経験した状況に最も近いものを一つ選び「現実」欄につけてください。

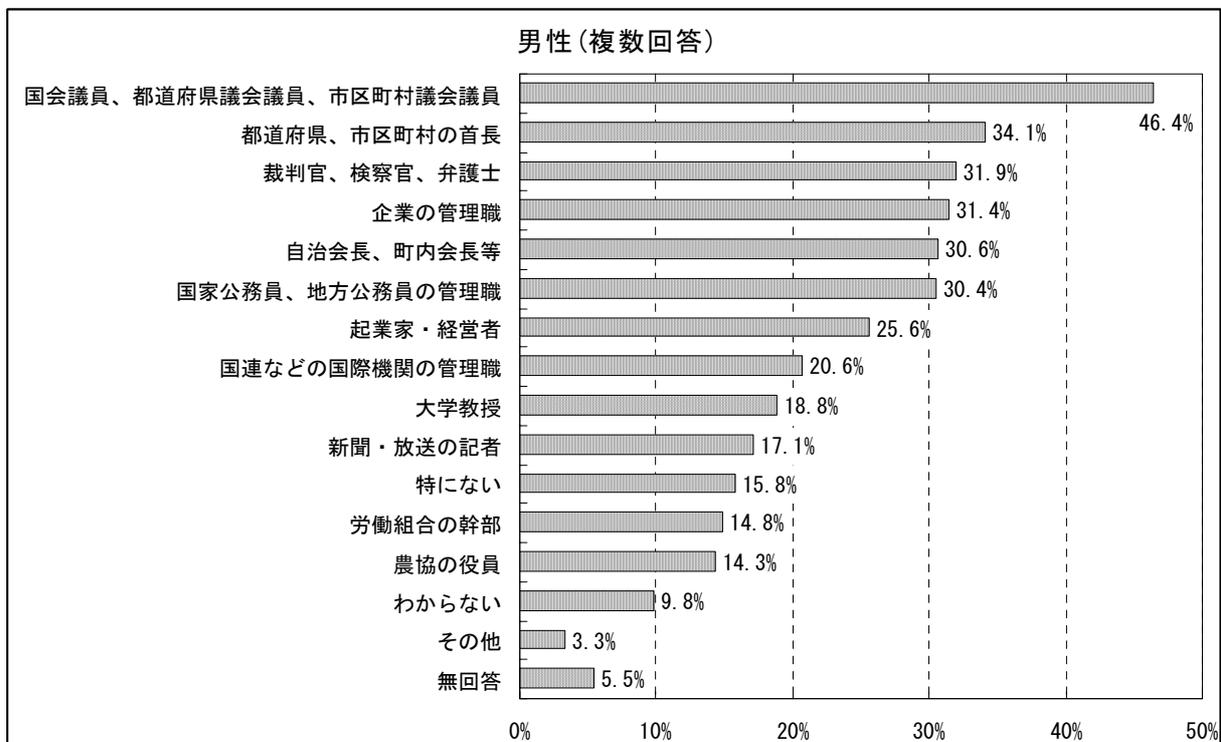
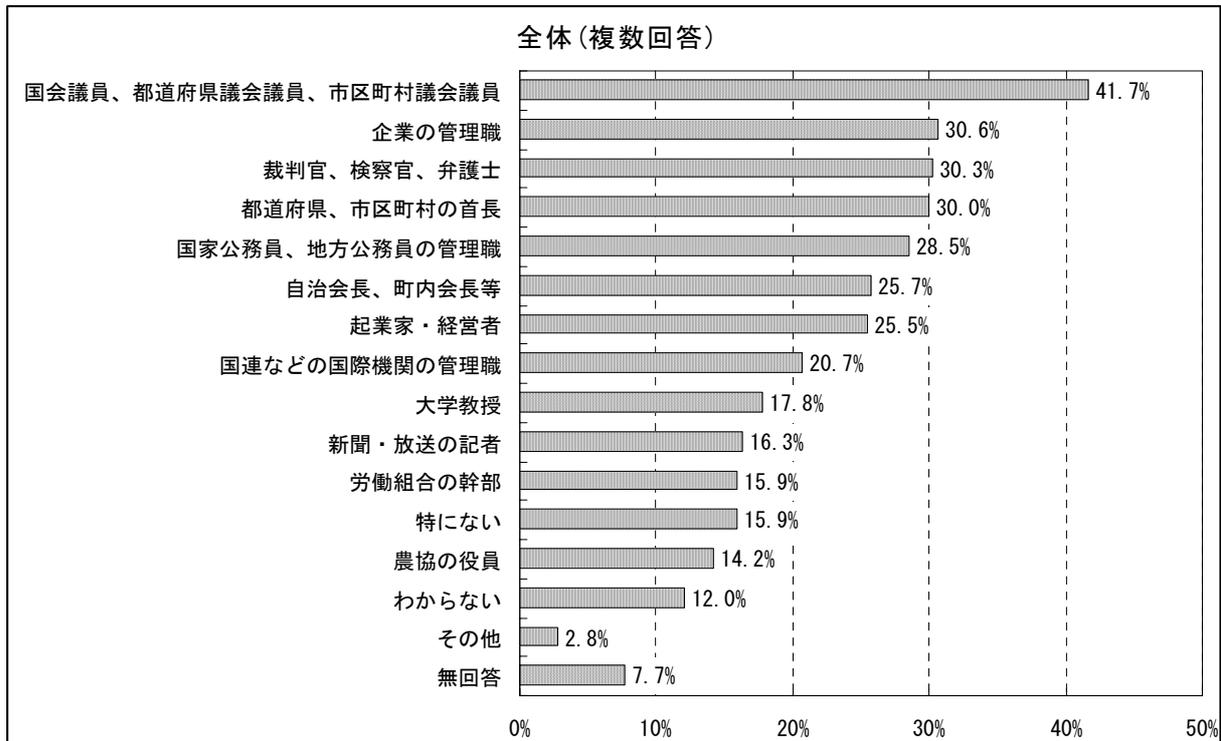
- 「仕事」を優先
- ▨ 「地域・個人の生活」を優先
- ▩ 「仕事」と「地域・個人の生活」を共に優先
- ▧ 「仕事」と「家庭生活」を共に優先
- ▦ 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」を共に優先
- 無回答
- 「家庭生活」を優先
- ▨ 「仕事」と「家庭生活」を共に優先
- 「家庭生活」と「地域・個人の生活」を共に優先
- わからない

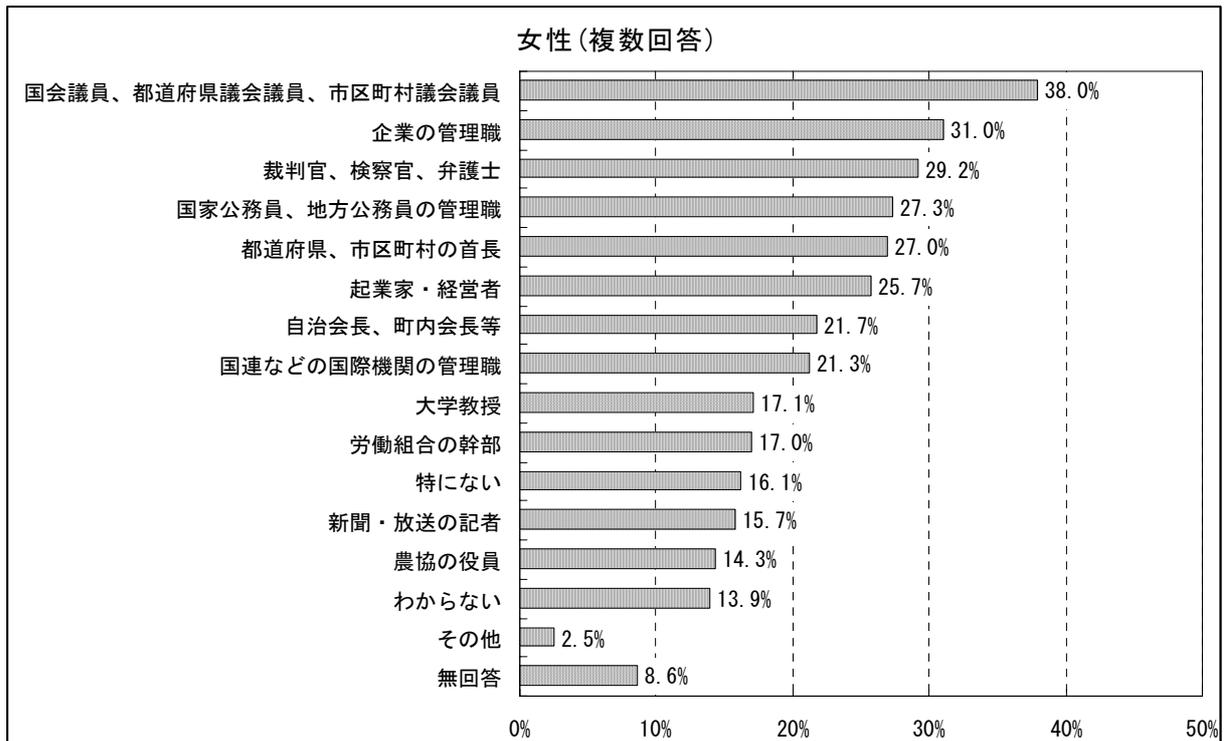


理想では男女共に「仕事と家庭生活と地域・個人の生活」を優先したい考えが最も高く、次いで「仕事と家庭生活」が高くなっている。しかし、現実では「仕事」が優先され、特に男性は「仕事」を優先している割合が他の項目と比べ高い傾向にある。

(8) 女性の進出を望む職業や役職

【設問】あなたが、次にあげるような職業や役職において今後女性がもっと増えるほうがよいと思うのはどれですか。あてはまるもの全てに をつけてください。



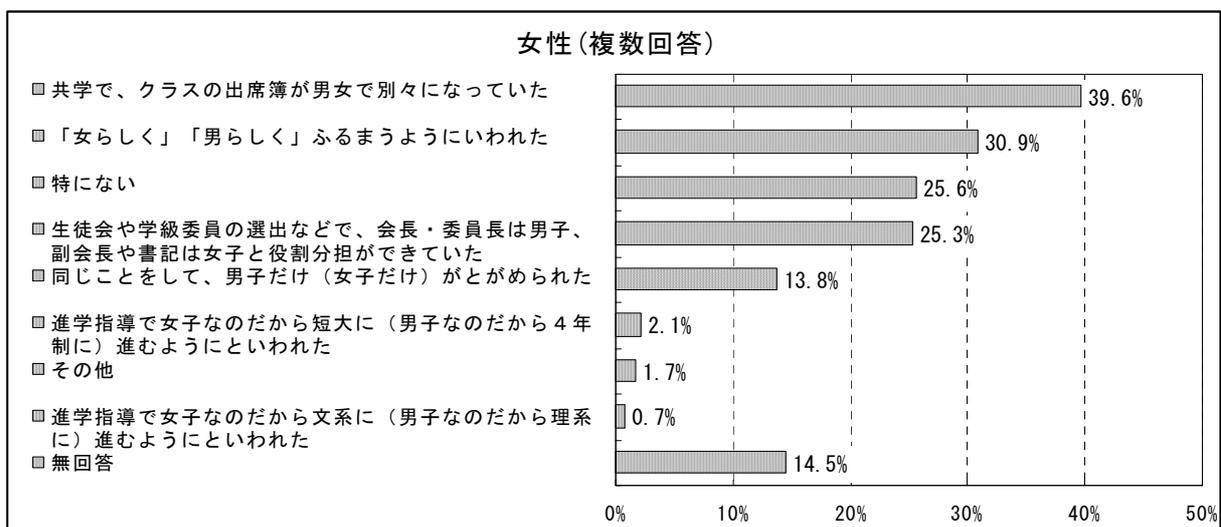
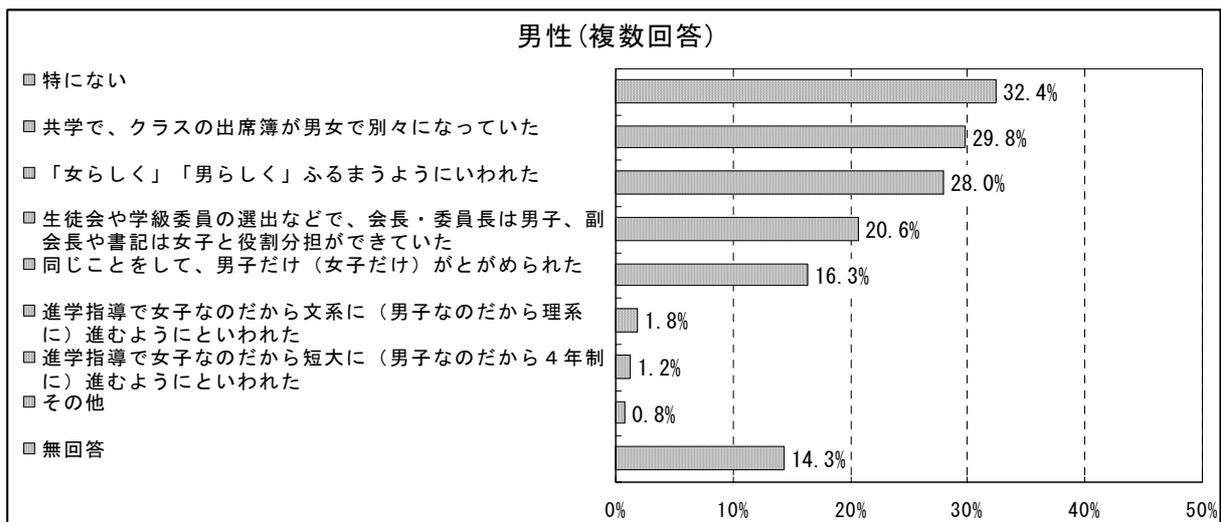
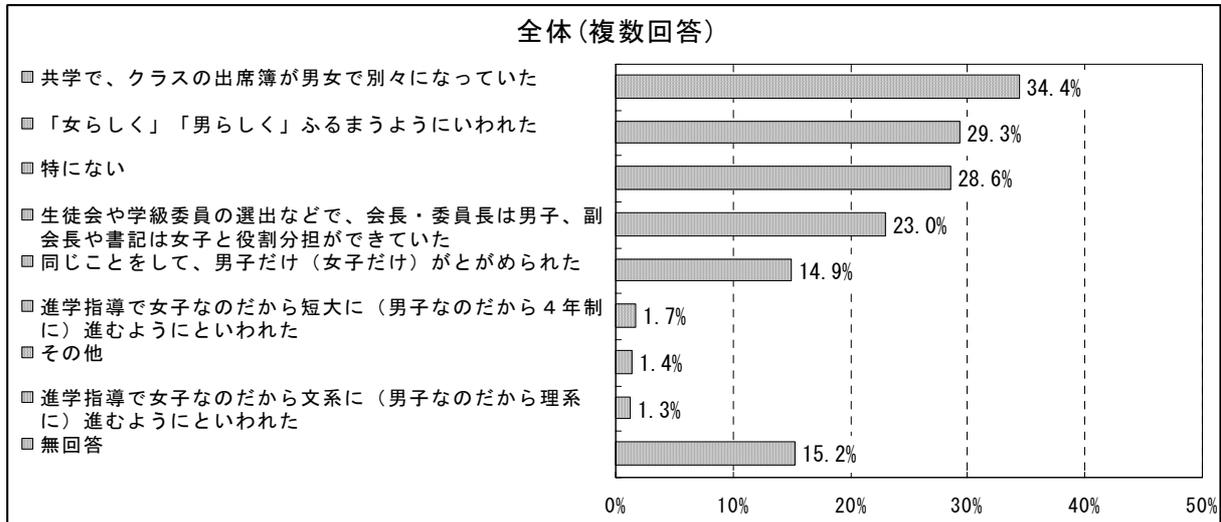


男女共に「国會議員、都道府県議会議員、市区町村議会議員」をはじめとする政治の分野へ女性の進出を望む回答が多く、法曹分野や企業の管理職などがこれに続く。

(9) 教育・男女平等

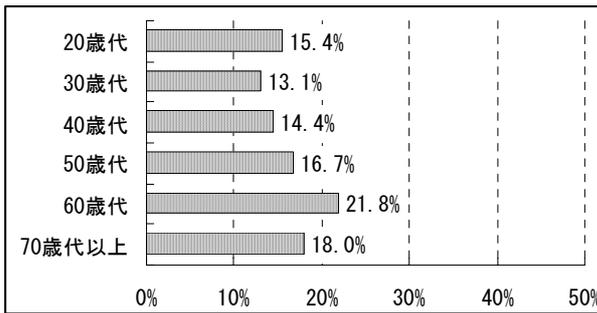
【設問】あなたは学校生活の中で、次のようなことを言われたり、経験したことがありますか。あてはまるもの全てに をつけてください。

[全年代]

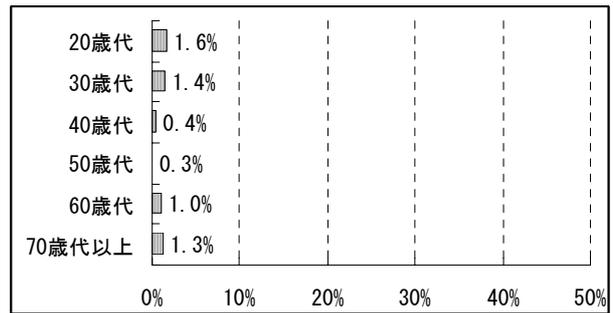


[設問毎の年代別]

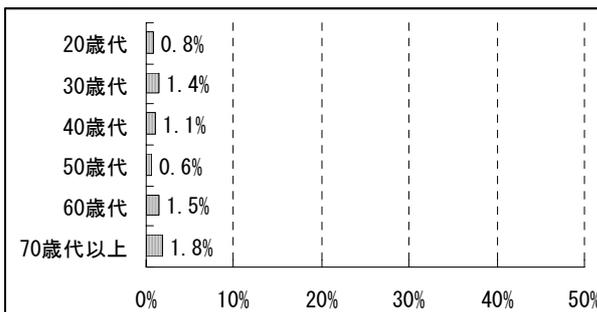
生徒会や学級委員の選出などで、会長・委員長は男子、副会長や書記は女子と役割分担ができていた



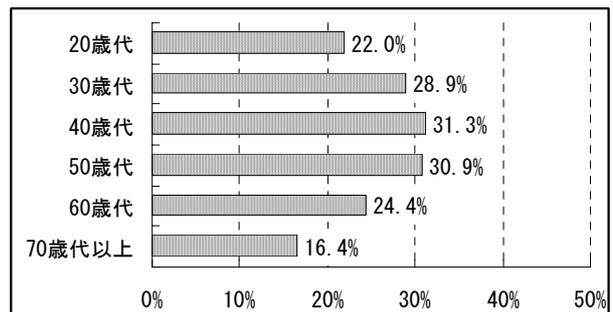
進学指導で女子なのだから文系に（男子なのだから理系に）進むようにといわれた



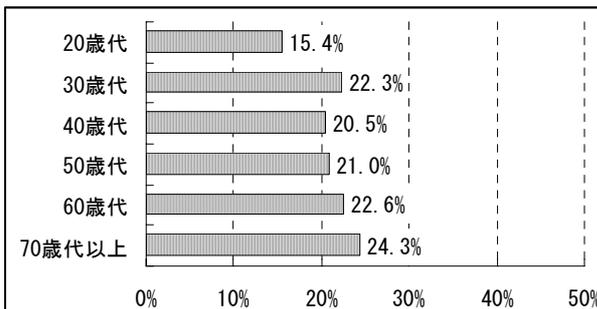
進学指導で女子なのだから短大に（男子なのだから4年制に）進むようにといわれた



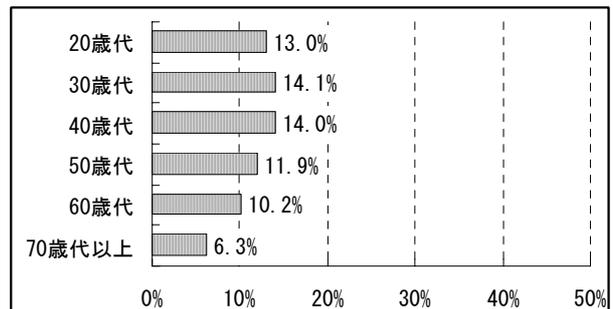
共学で、クラスの出席簿が男女で別々になっていた



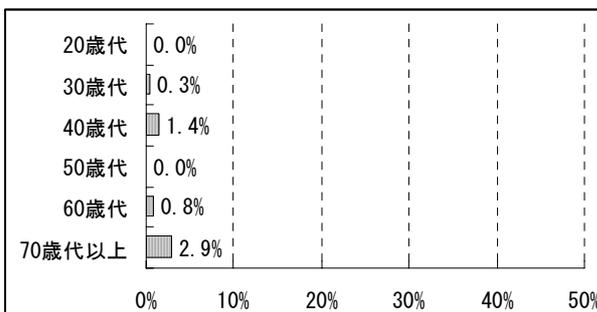
「女らしく」「男らしく」ふるまうようにいわれた



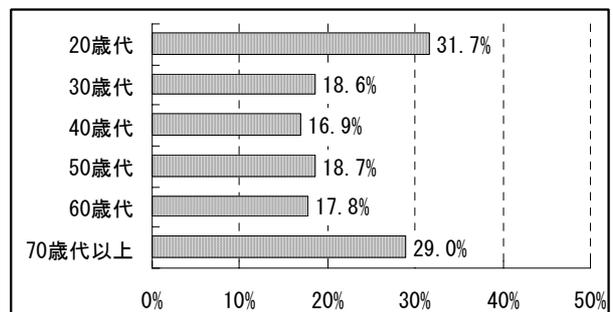
同じことをして、男子だけ（女子だけ）がとがめられた



その他



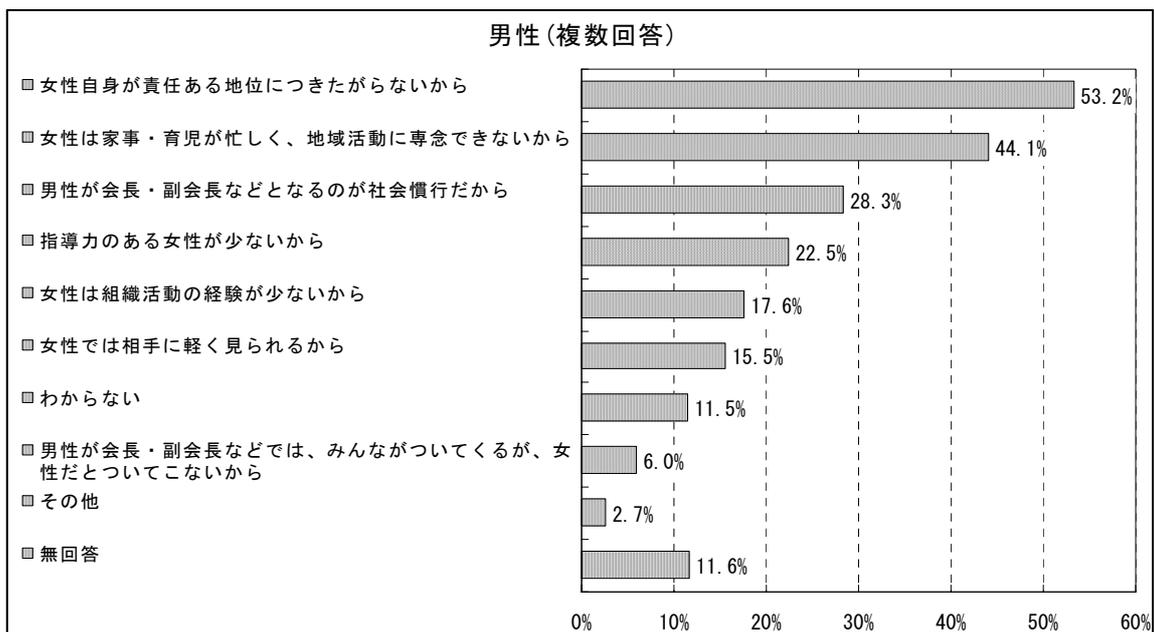
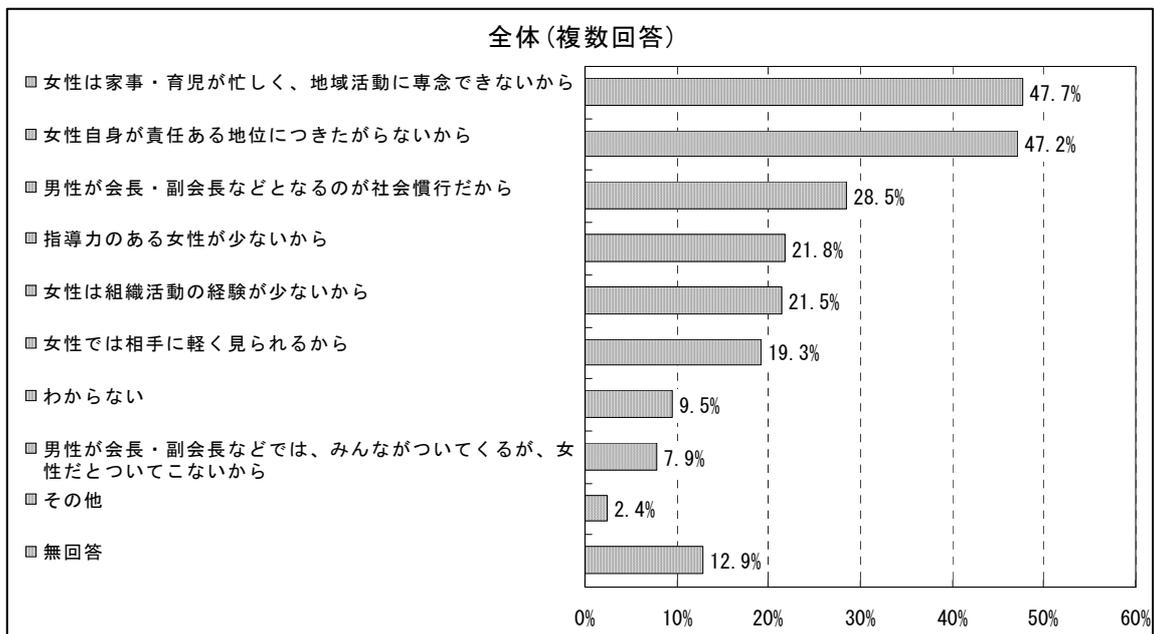
特にない

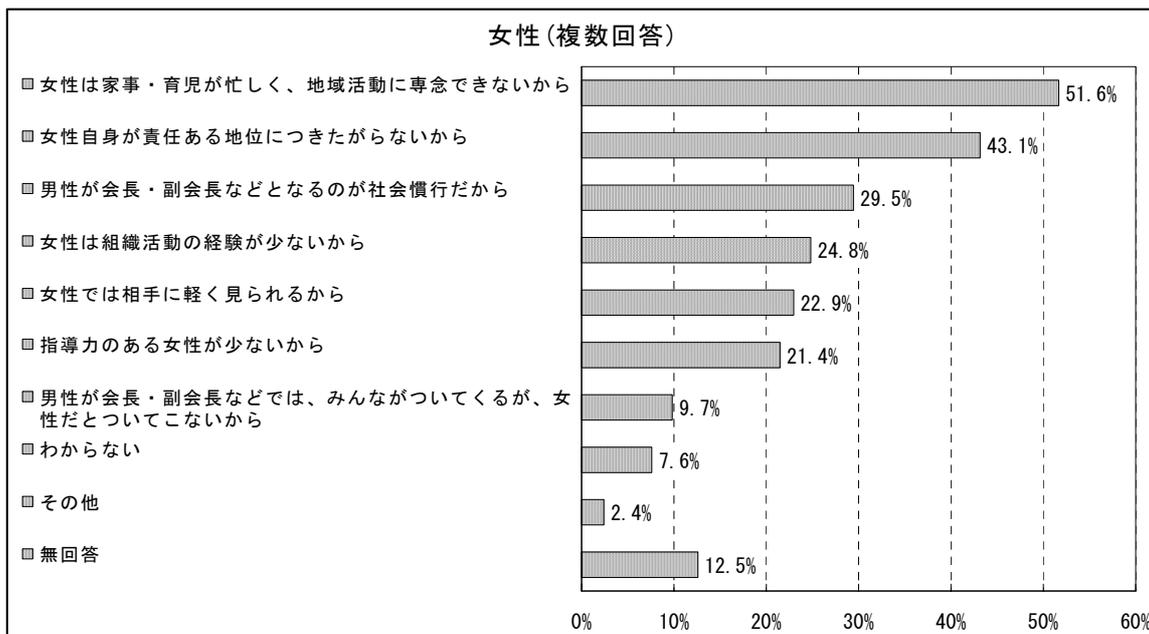


「共学で、クラスの出席簿が男女で別々になっていた」は40歳代をピークに、若年になるにつれ低くなっている。また、「女らしく」「男らしく」ふるまうようにいわれた」は、20歳代を除き全ての年代で20%を超えている。進学に関する項目はどの年代でも低い結果となった。なお、「特にない」は20歳代が特に高くなっていることから、学校での男女平等感は年々浸透している傾向にあるのではないかと考えられる。

(10) 地域リーダーに女性が少ない理由

【設問】PTAや町内会などの地域団体の役員の長に女性が就くことの妨げとなっている主な原因は何だと思いますか。主なもの3つを選んでをつけてください。



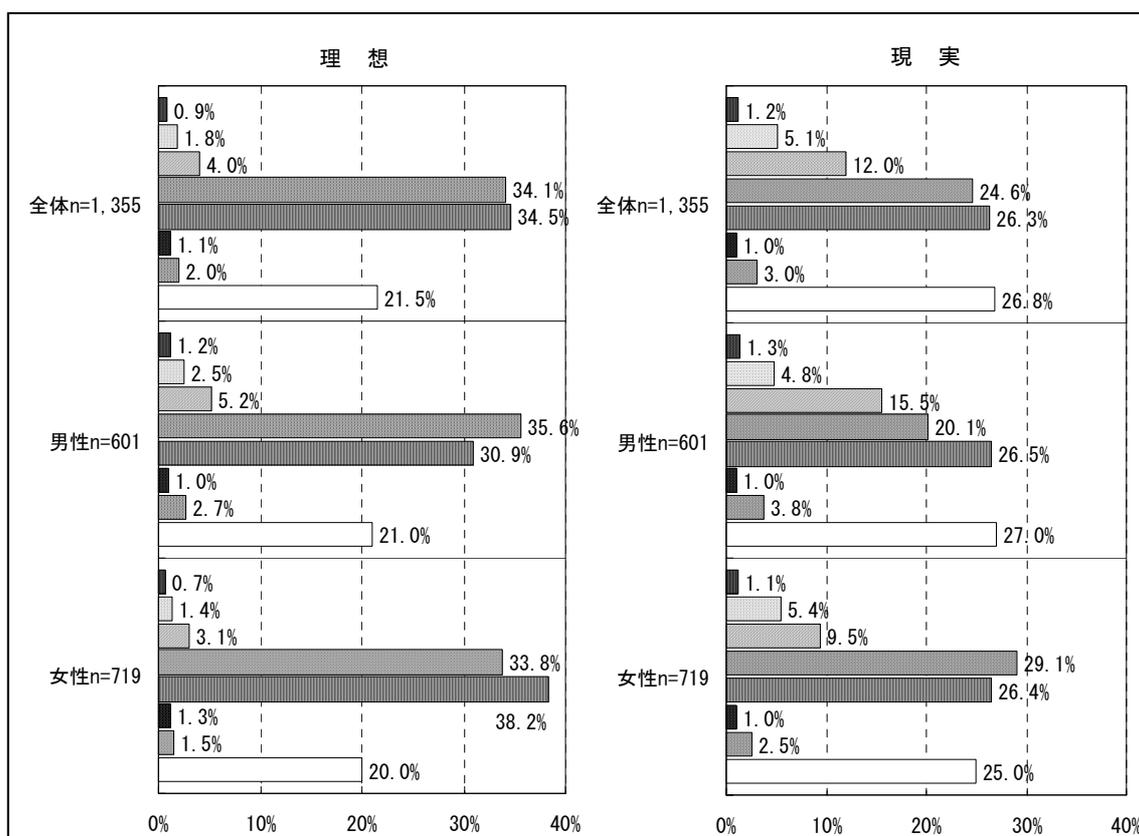


「女性は家事・育児が忙しく、地域活動に専念できない」、「女性自身が責任ある地位につきたがらない」の2つが他の項目と比べ高い値になっている。また、男女共に「男性が会長・副会長などとなるのが社会慣行だから」と回答する人が男性28.3%、女性29.5%と前回調査（男性29.6%、女性29.9%）とほぼ同じ値となり、地域においては、性別により役割分担を固定する意識の解消が進んでいない傾向にある。

(11) 職業観

【設問】女性が職業を持つことについて、1～7のうちあなたが望ましい姿だと考えるもの一つを選び、「理想」欄に をつけてください。また、あなたの経験や今後の予定、身近な女性で最も近いもの一つを選び、「現実」欄に をつけてください。

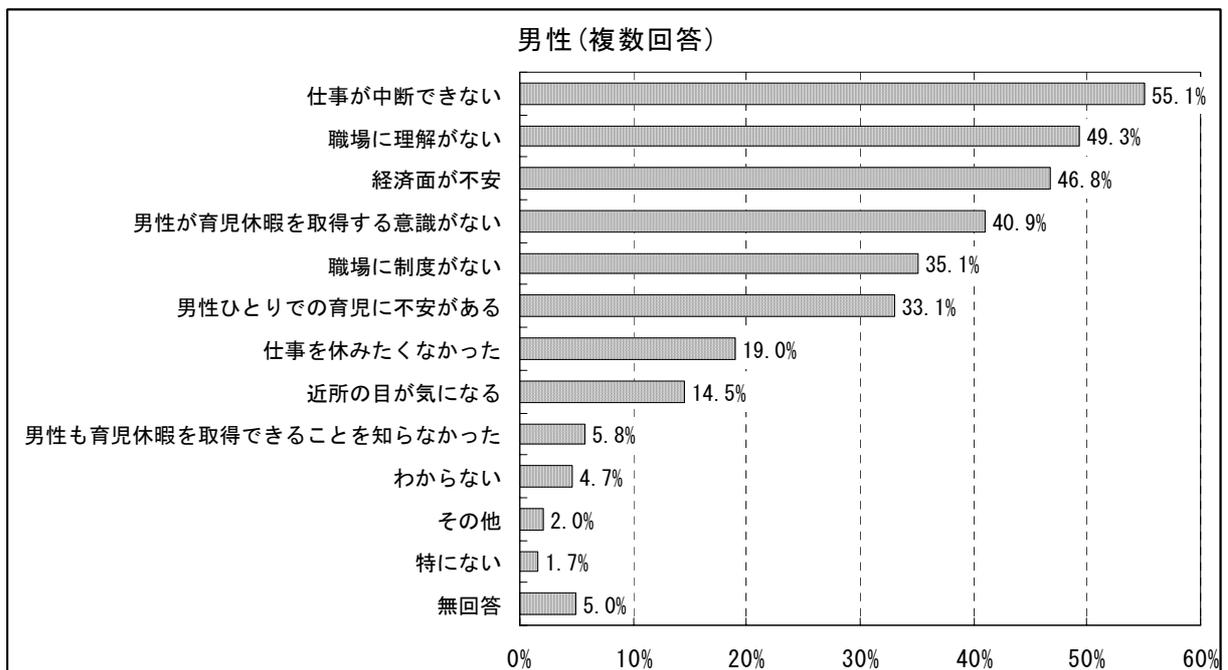
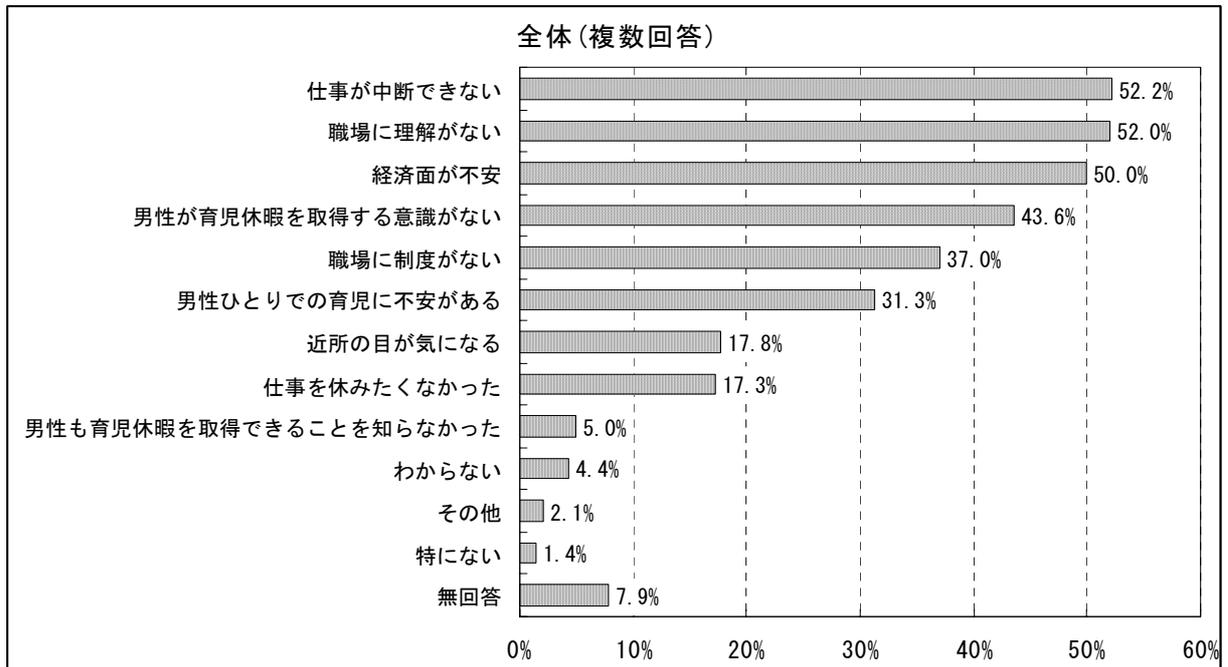
- 女性は職業を持たない
- 結婚するまでは、職業を持つ
- ▨ 子どもができるまでは、職業を持つ
- ▩ 子どもができて、ずっと職業を持つ
- ▧ 子どもができたら職業をやめ、育児が終わったら再び職業を持つ
- その他
- ▨ わからない
- 無回答

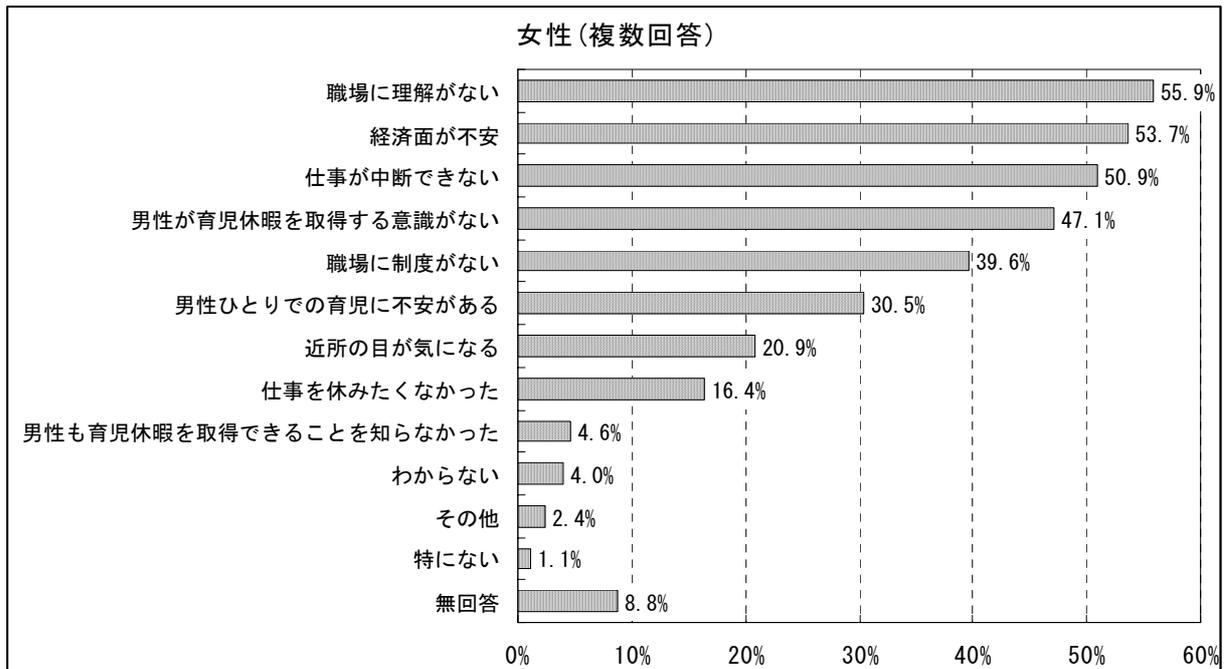


「理想」「現実」共に、「子どもができて、ずっと職業を持つ」と「子どもができたら職業をやめ、育児が終わったら再び職業を持つ」の2つが他の項目と比べ割合が高い。また、女性に着目すると、理想では「子どもができたら職業をやめ、育児が終わったら再び職業を持つ」が38.2%と高いが、現実では26.4%と11.8ポイント低くなっている。

(12) 男性が育児休暇を取得しづらい理由

【設問】男性が育児休暇を取得しづらい(しない)理由として考えられるもの全てに をつけてください。

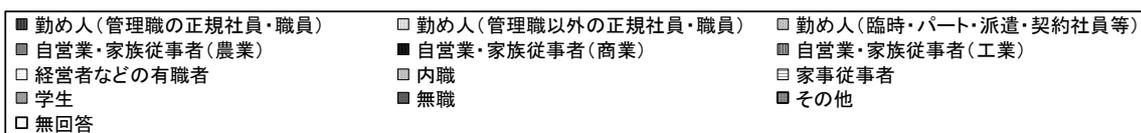




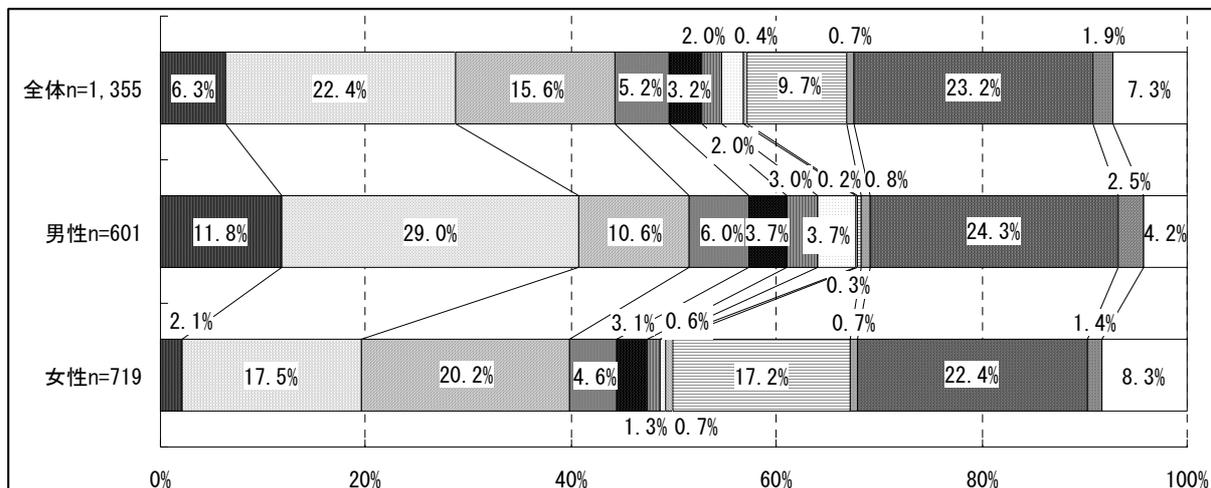
「仕事が中断できない」、「職場に理解がない」が50%を超えているほか、経済面の不安や制度の不備なども高い値となっていて、職場で男性が育児休暇を取得する意識・環境が整っていないことがうかがえる。また、「男性が育児休暇を取得する意識がない」が43.6%、「男性ひとりでの育児に不安がある」31.3%など、育児に対する消極的な意見も多くみられる。

(13) 就業状況

【設問】あなたは現在どのような職業にお就きですか。一つだけ選んで をつけてください。

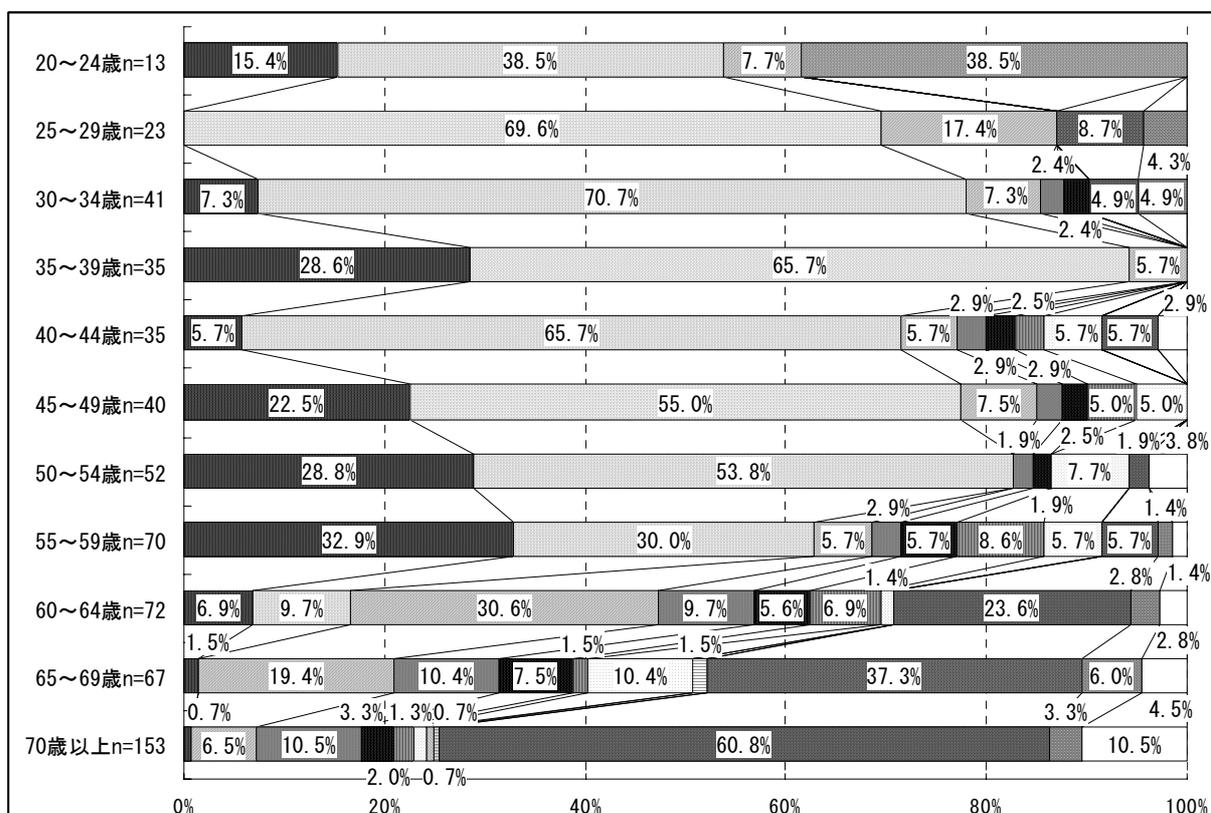


[就業状況]

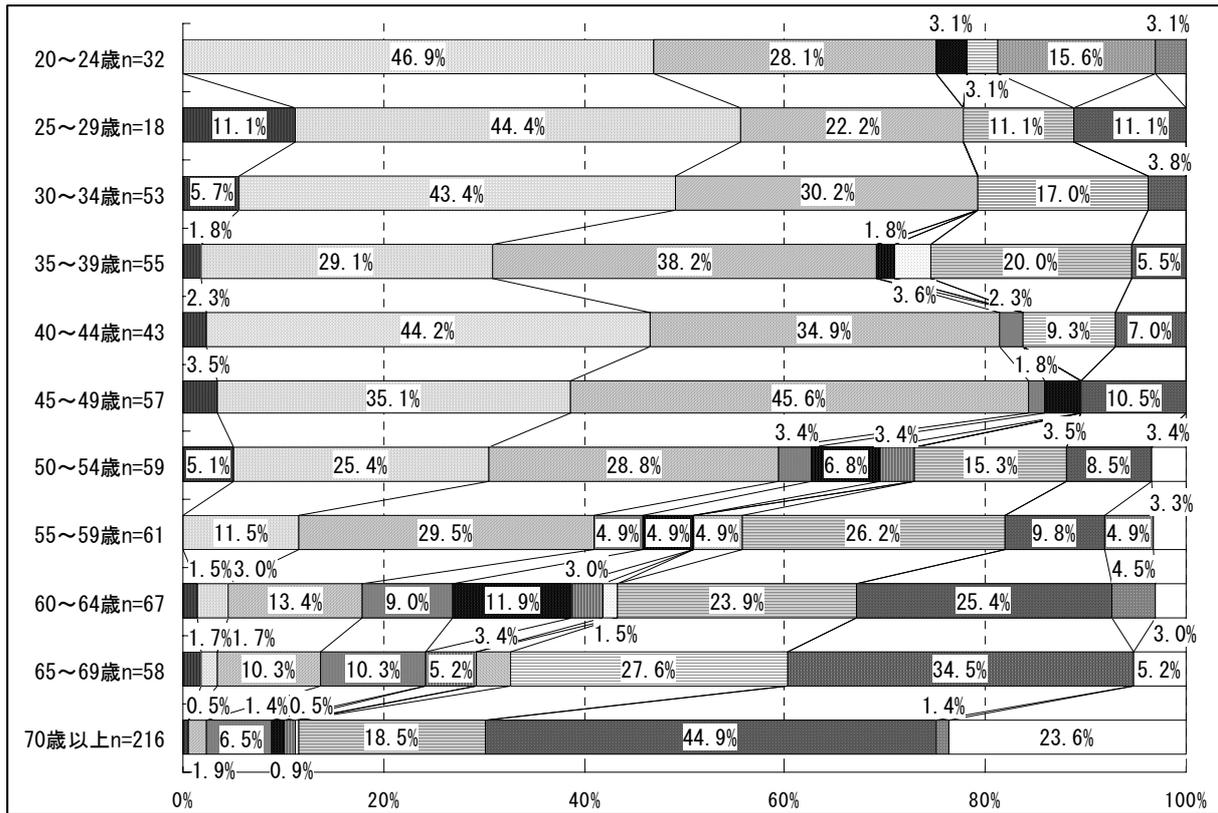


[就業状況 (年代別)]

(男性)



(女性)

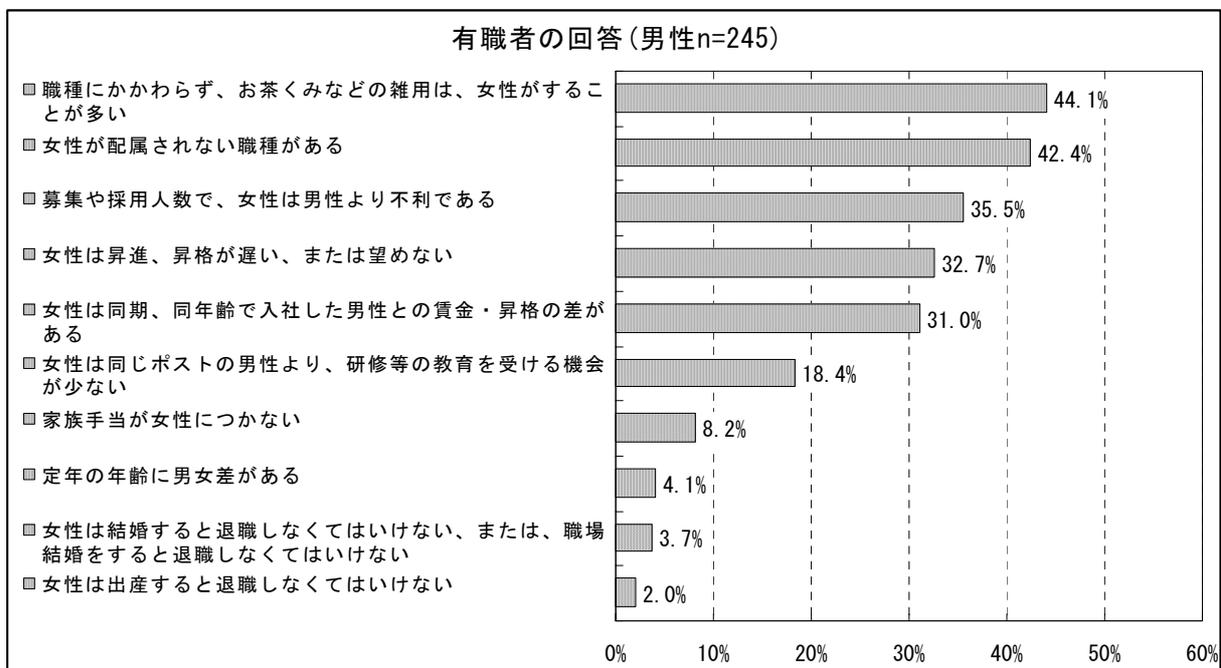
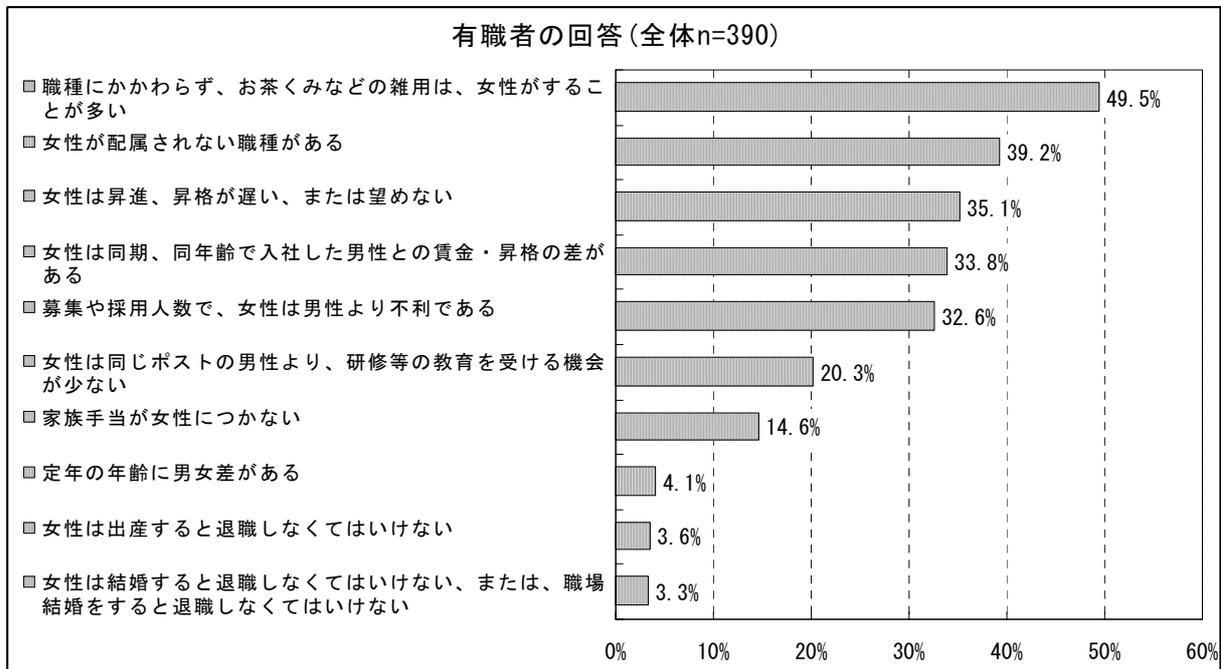


男性の25歳から59歳までは正規職員が60%以上を占めているが、女性では25歳から29歳の55.5%が正規職員としての最大値となっている。また、女性は30歳から39歳までの間で正規職員が減少し、家事従事者、無職又は、臨時・パートへの転職が増加している。その後40歳代から就労者が増加していることから、M字カーブ（女性は結婚、出産を機に退職し、子育てが落ち着いたところに再就職する人が多く、女性の労働力率が一時低下すること）の存在が確認できる。

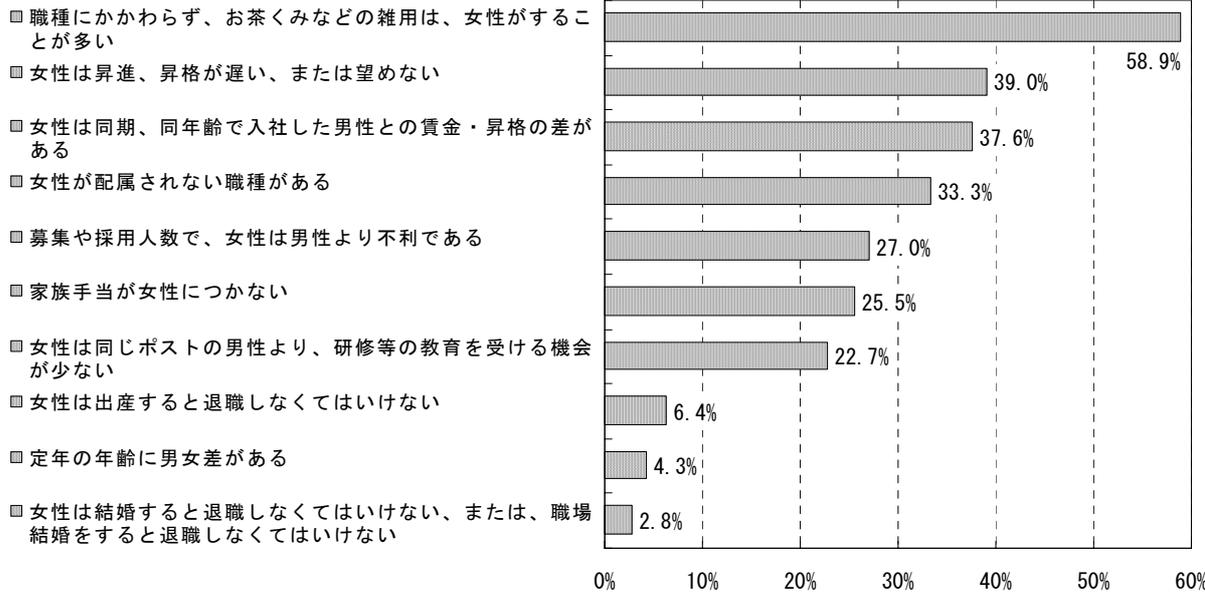
(14) 職場における男女平等

【設問】(勤め人(管理職の正規社員・職員、管理職以外の正規社員・職員)の方のみお答えください。)

あなたの職場では次のようなことがありますか。1～10までのそれぞれについて、一つだけをつけてください。



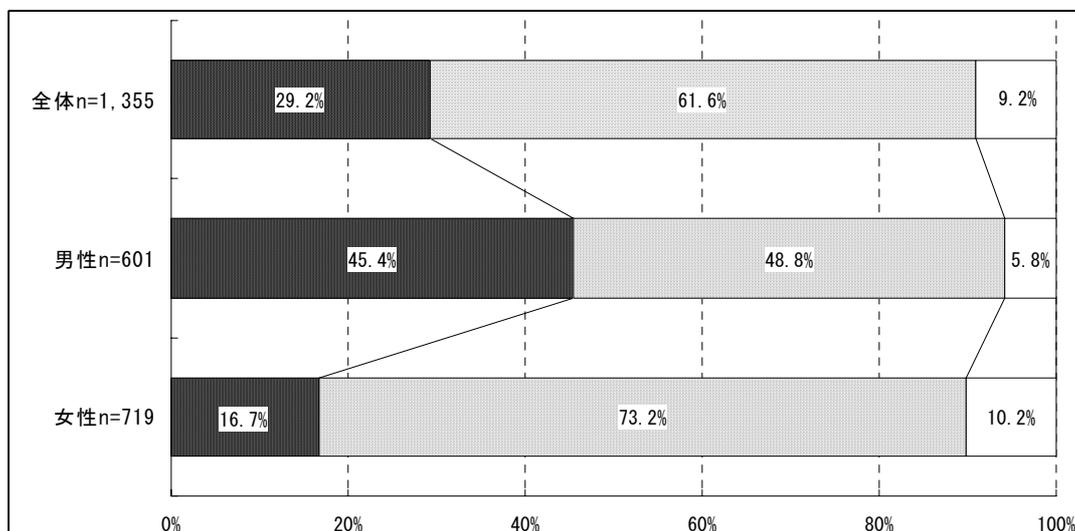
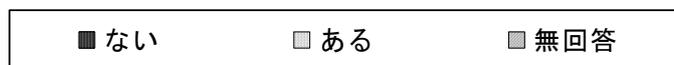
有職者の回答(女性n=141)



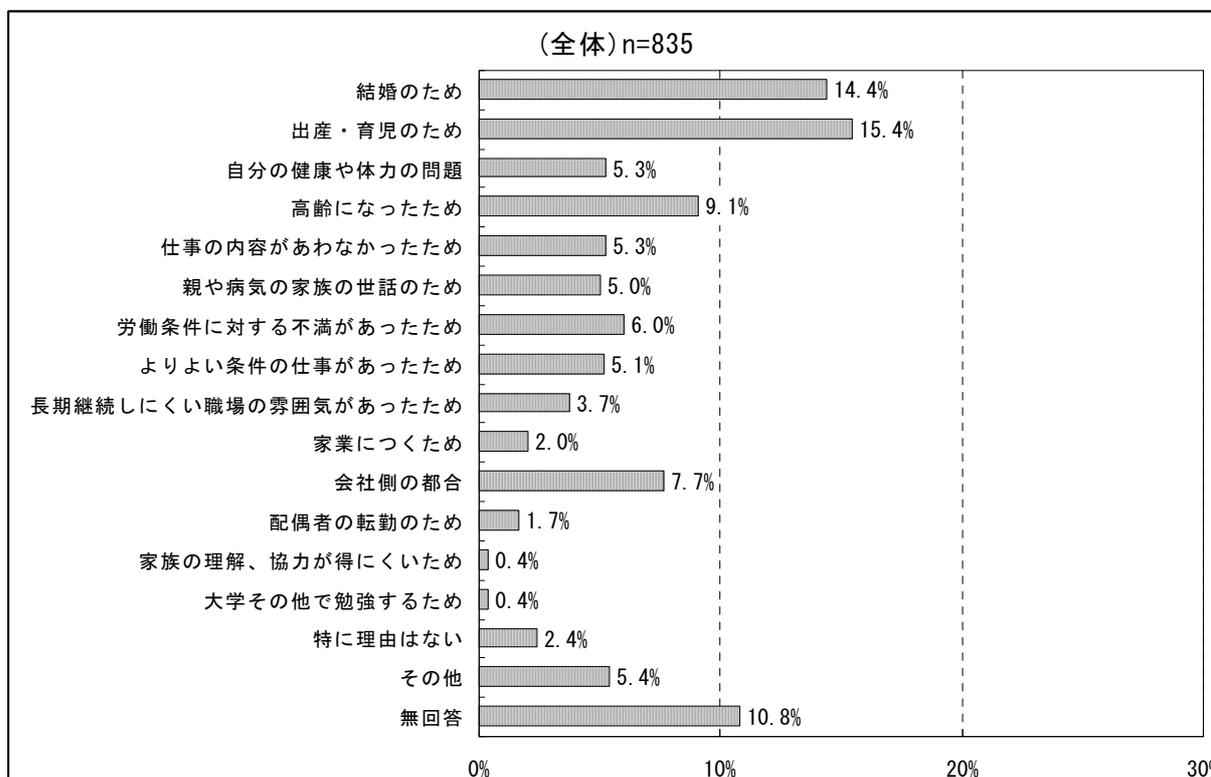
「職種にかかわらず、お茶くみなどの雑用は、女性がすることが多い」が49.5%と約半数を占めており、前回調査50.2%から0.7ポイント減少したが、職場では性別により役割分担を固定する意識が根強く残っていることがうかがえる。また前回調査と比べ「女性は出産すると退職しなくてはならない」が8.0%から3.6%へ4.4ポイント減、「女性は結婚すると退職しなくてはならない、または、職場結婚をすると退職しなくてはならない」が9.4%から3.3%へ6.1ポイント減とM字カーブの緩和が着実に進み、「結婚・育児＝退職」という労働環境は改善されてきている。

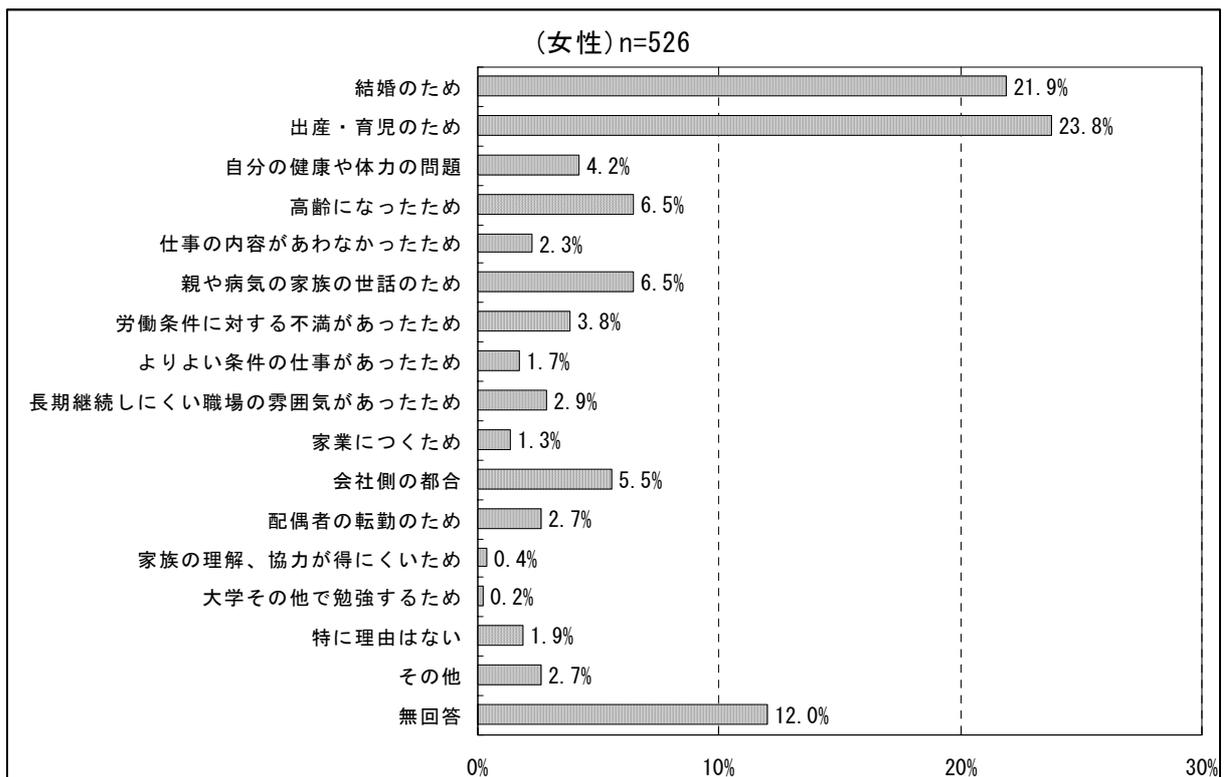
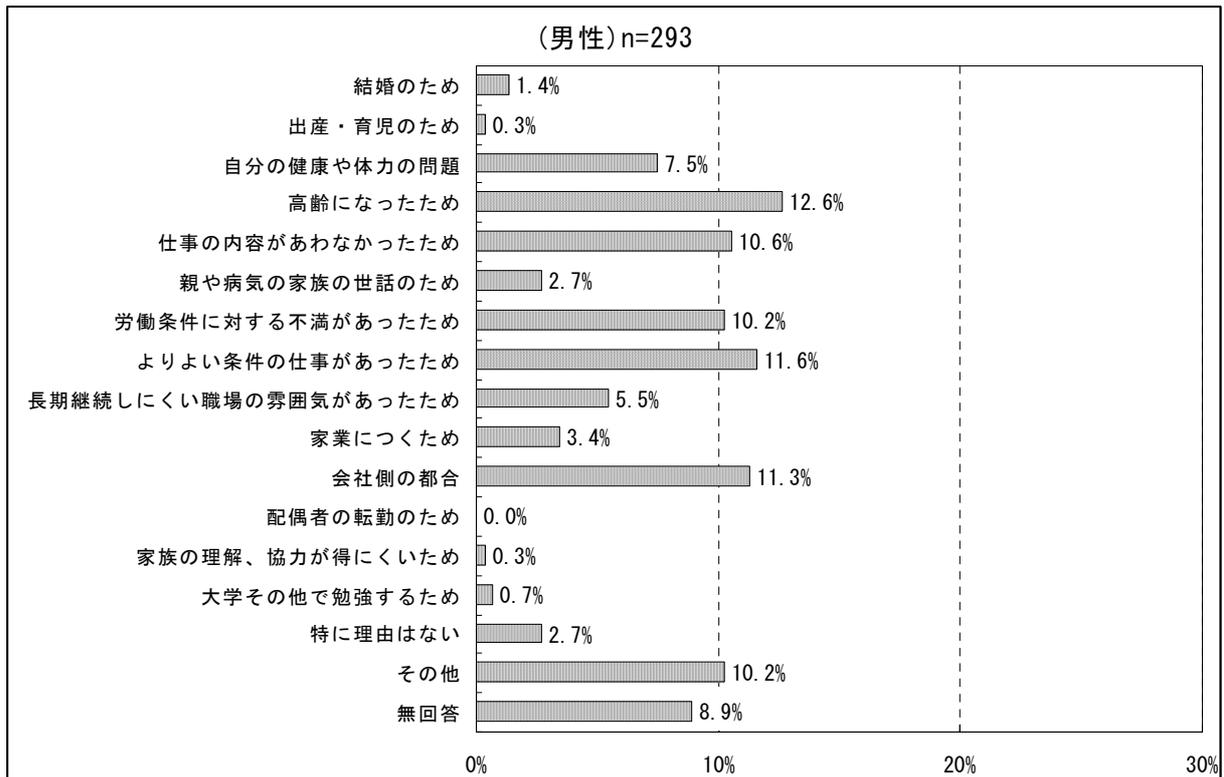
(15) 就労の継続

【設問】(全員の方がお答えください。)あなたは、今までに仕事を辞めたり中断したり、あるいは転職したことがありますか。また、その理由は何ですか。主なもの一つを選んでをつけてください。



[仕事を辞めた、中断した理由]



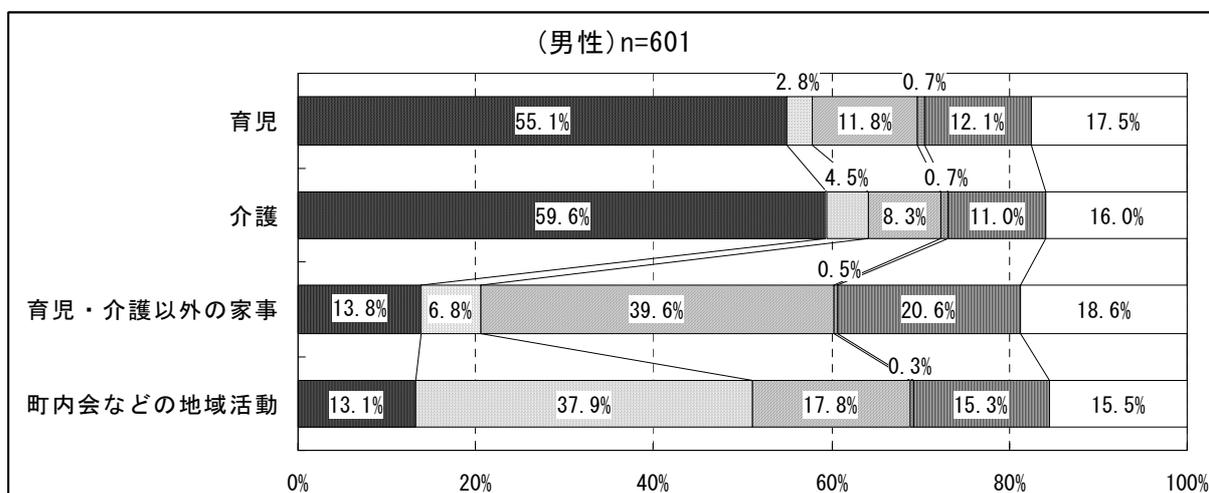
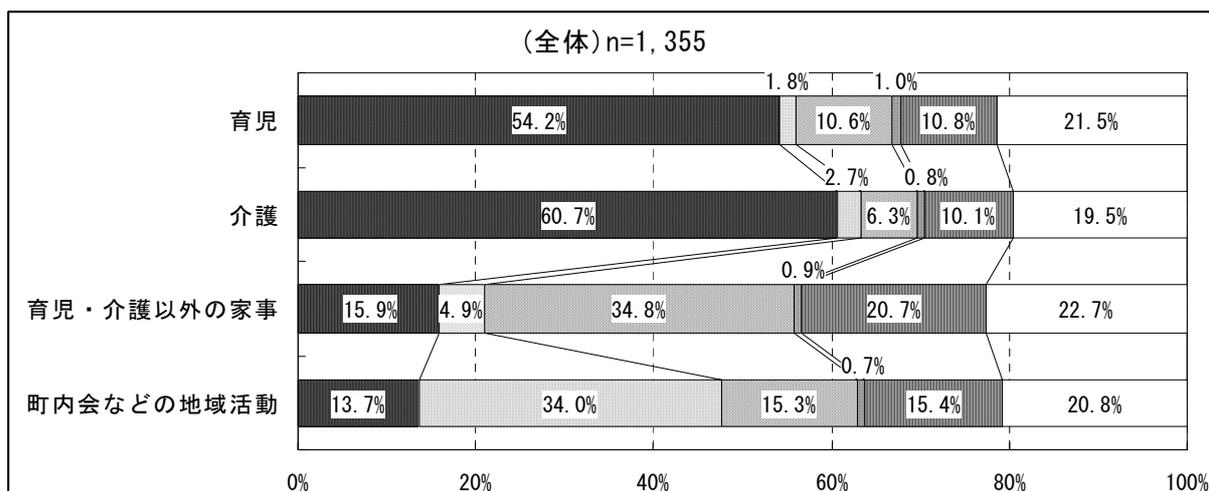


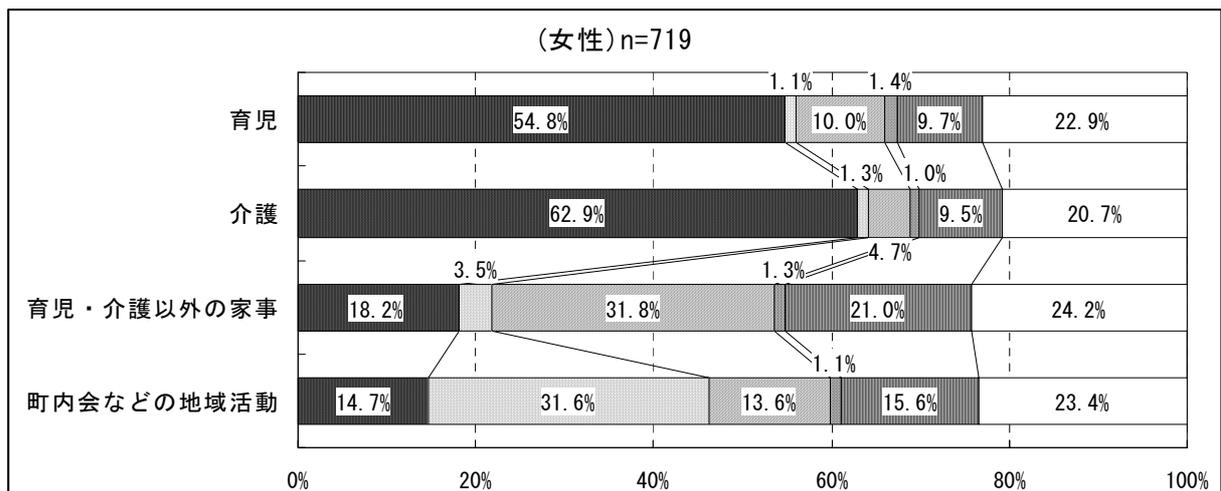
女性のうち73.2%が離職を経験しており、そのうち「結婚のため」と「出産・育児のため」で全体の45.7%となっている。また、「結婚のため」に離職した女性は前回調査と比べ13.5ポイントの大幅減少となり、「出産・育児のため」に離職した女性は5.6ポイントの減少となっている。

(16) 家庭での役割の評価

【設問】「育児・介護などの家庭で担われている役割は社会的にも重要であるため、社会全体で評価していこう」という考えがありますが、あなたは具体的にどのような形で評価する必要がありますか。1～5までのそれぞれについて、一つだけをつけてください。

- | | |
|----------------------------|-----------------|
| ■ 手当の支給や税制上での優遇などで経済的に評価する | □ 表彰などで社会的に評価する |
| ▨ 経済的・社会的に評価する必要はない | ■ その他 |
| ■ わからない | □ 無回答 |

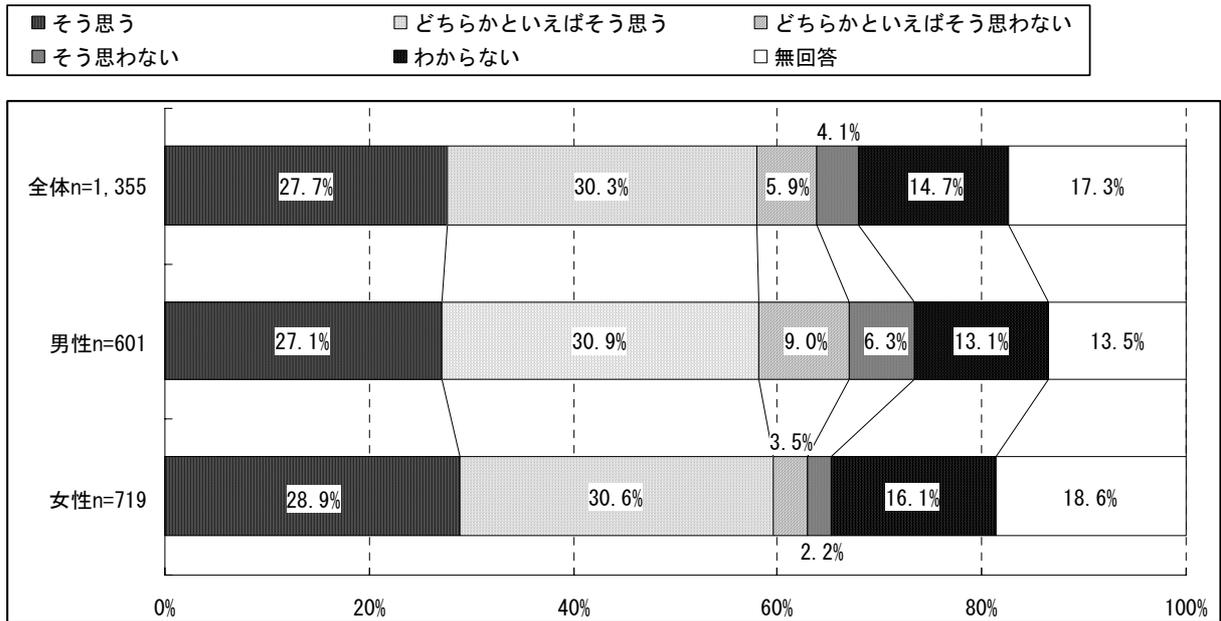




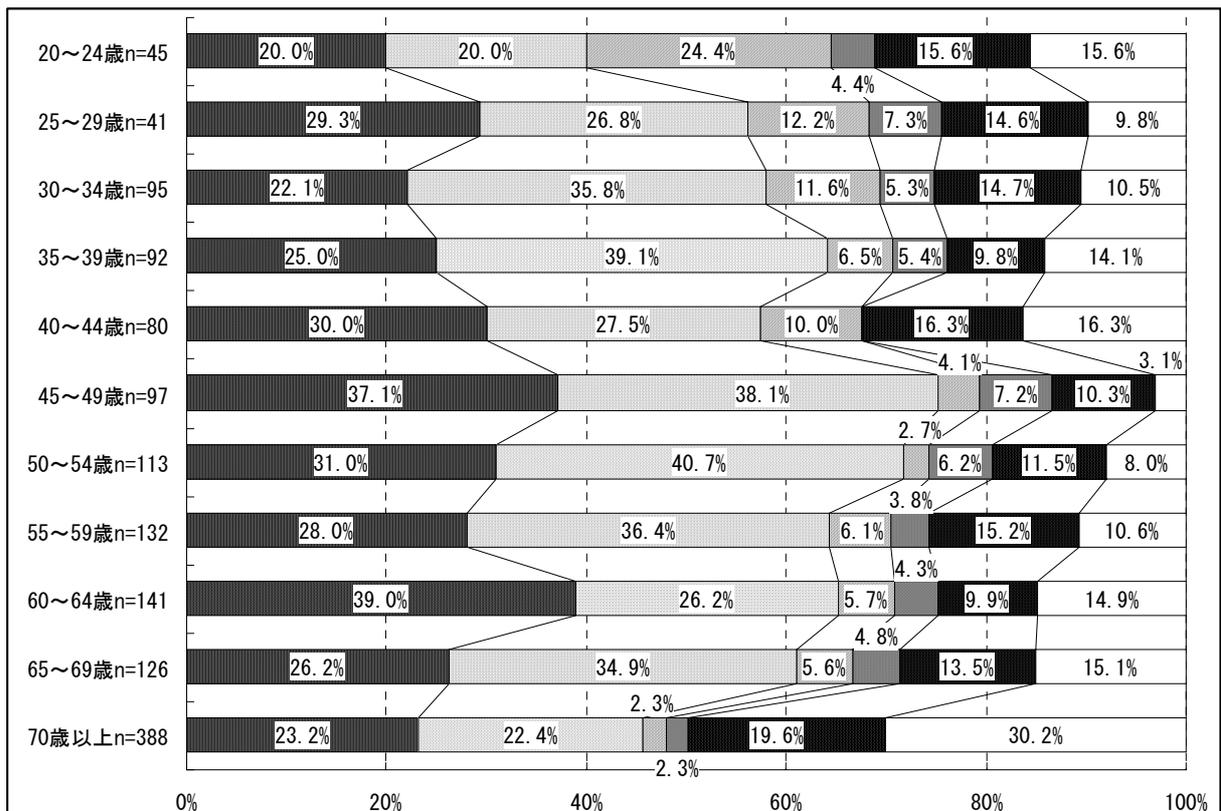
「育児」や「介護」では、過半数以上が「手当の支給や税制上での優遇などで経済的に評価することが必要と感じているが、「育児・介護以外の家事」は「経済的・社会的に評価する必要はない」が 34.8%と最も高くなっている。「町内会などの地域活動」は「表彰などで社会的に評価する」が 34.0%と最も高くなっている。

(17) メディアにおける性・暴力表現

【設問】あなたは、テレビ、新聞、雑誌、インターネット、コンピュータゲームなどでのメディアにおける性・暴力表現について、問題があると思いますか。

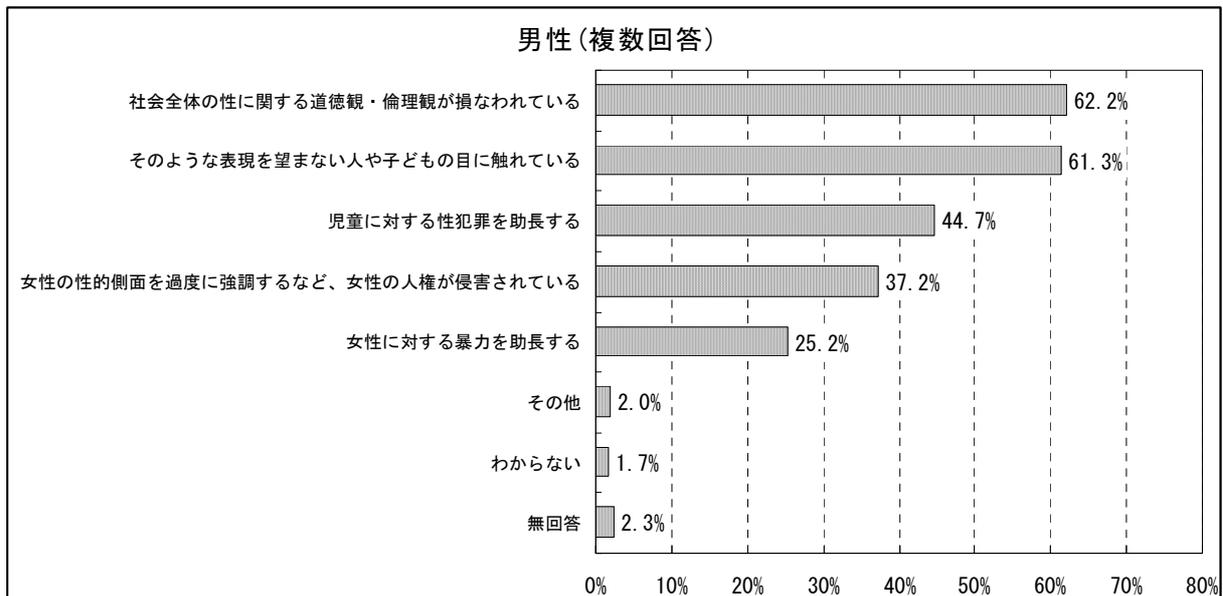
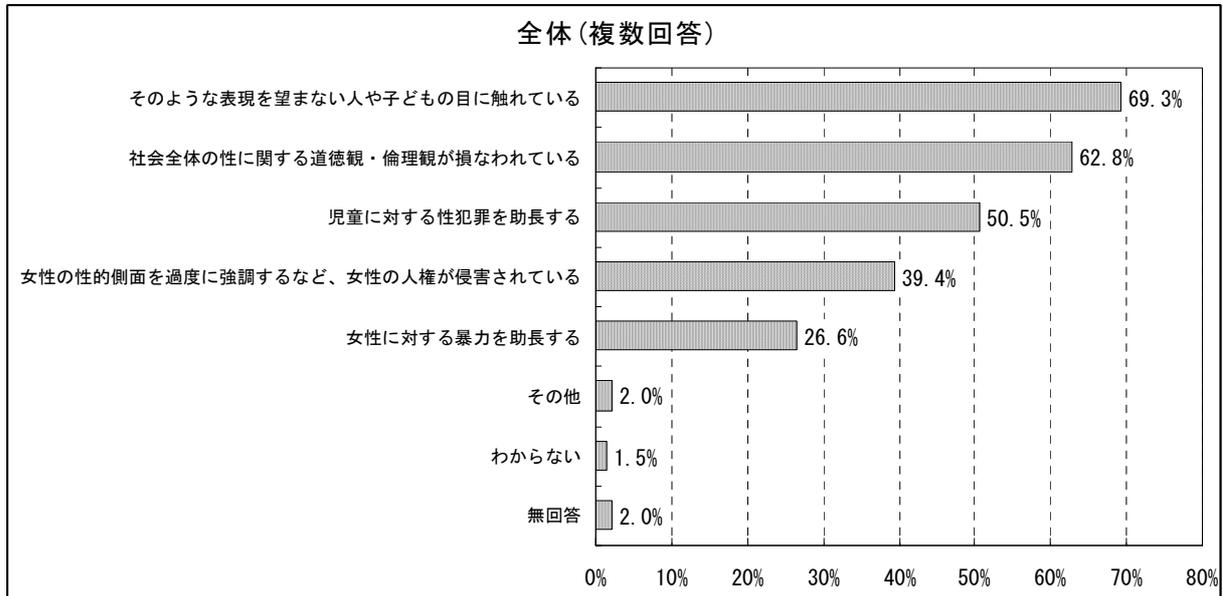


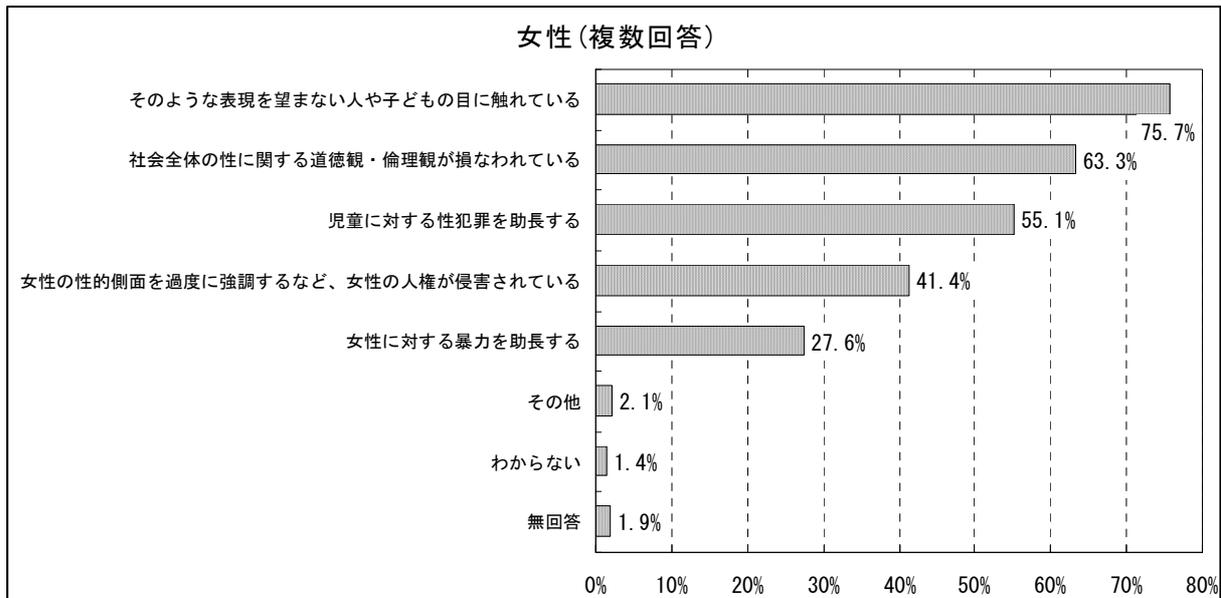
[年代別]



男女共に「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の回答が約60%に達している。ただし、年代別では20~24歳が40%と他の年代と比べ性・暴力表現についての意識が低くなっている。

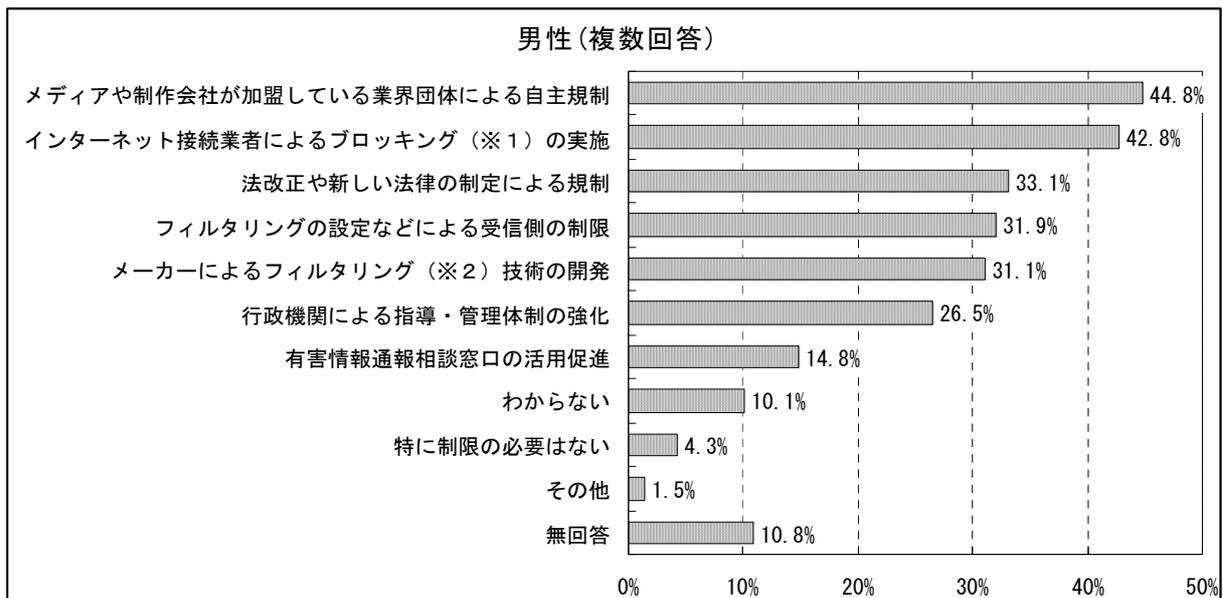
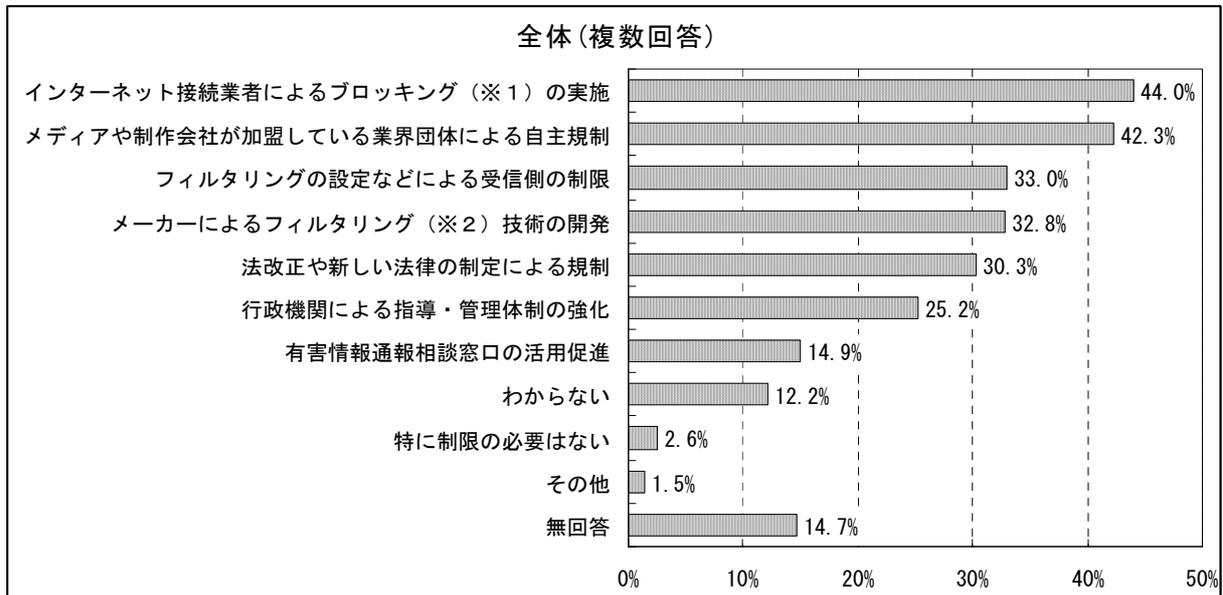
【設問】(前問の問いに対して「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」とお答えされた方のみお答えください。) テレビ、新聞、雑誌、インターネット、コンピュータゲームなどでのメディアにおける性・暴力表現について、どのような点で問題があると思いますか。あてはまるもの全てに をつけてください。

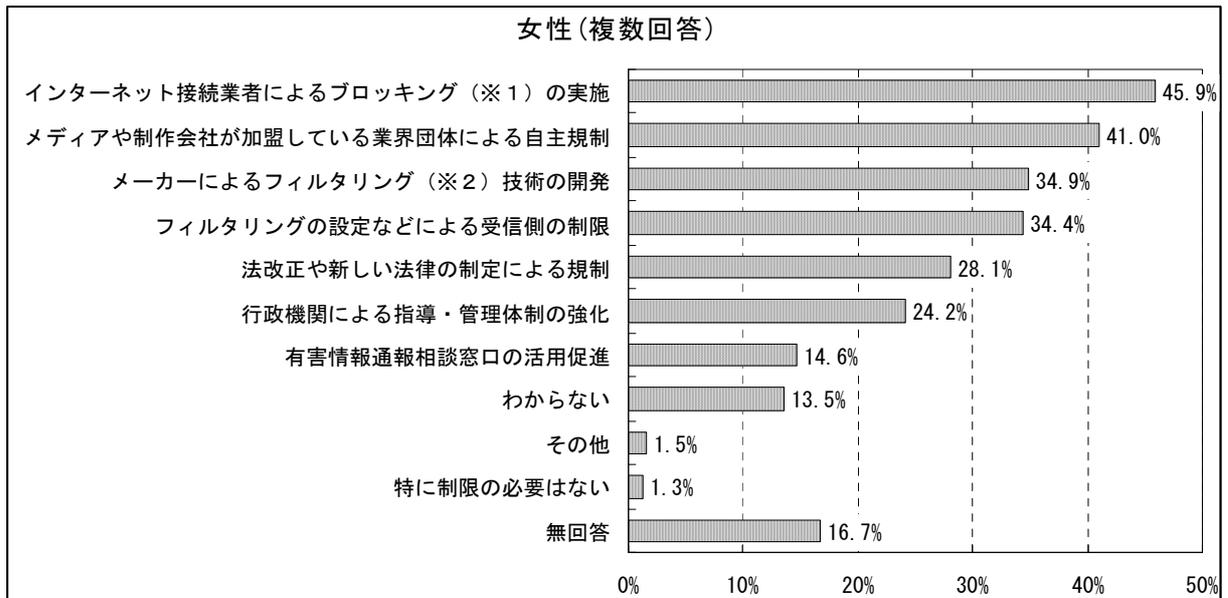




全ての項目が25%を超え、メディアにおける「性・暴力表現」について問題があると感じている。特に、女性の「そのような表現を望まない人や子どもの目に触れている」が75.7%と高い値となり、無差別に提供される「性・暴力表現」への問題意識が高い結果となっている。

【設問】(全員の方がお答えください。) テレビ、新聞、雑誌、インターネット、コンピュータゲームなどのメディアにおける性・暴力表現について制限をする場合、どのような方法で制限するのがよいと思いますか。あてはまるもの全てに をつけてください。



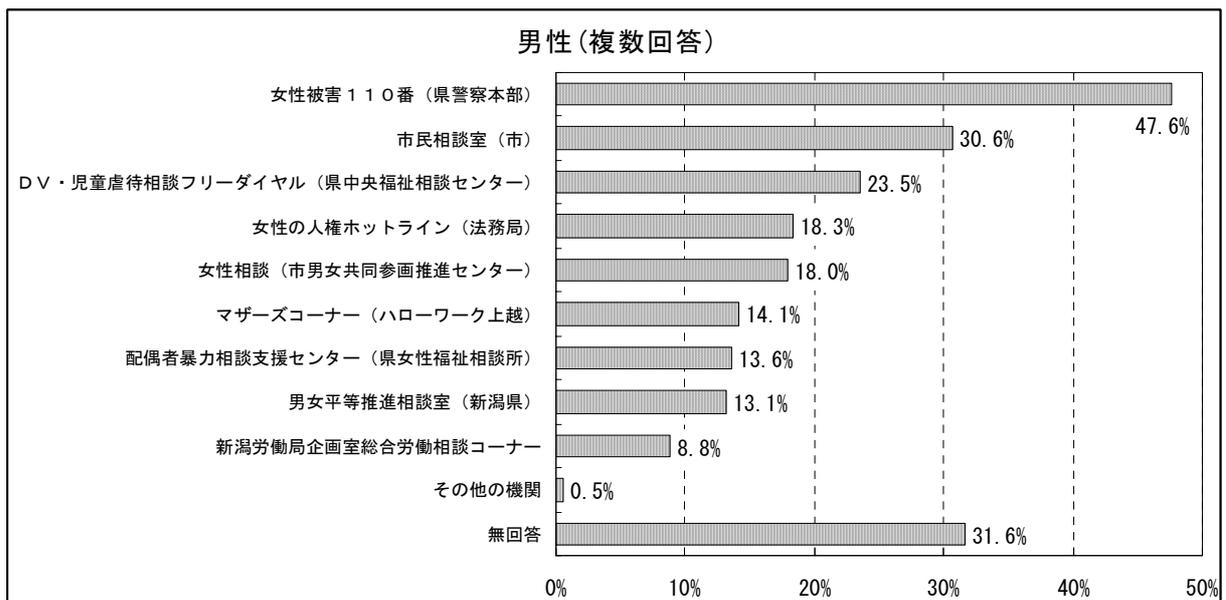
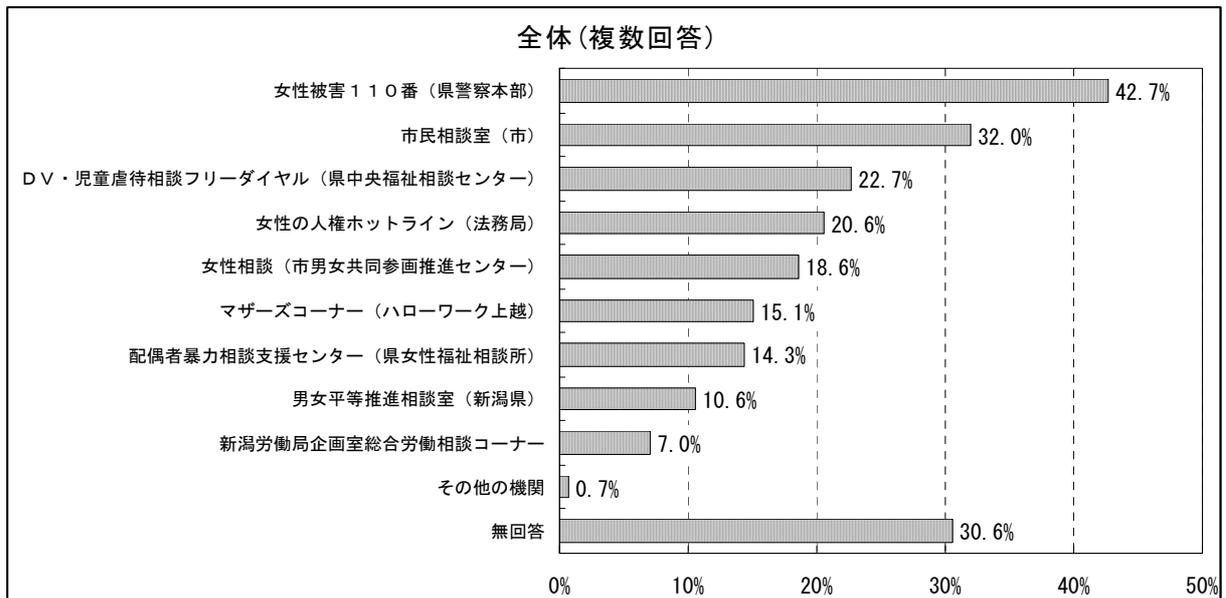


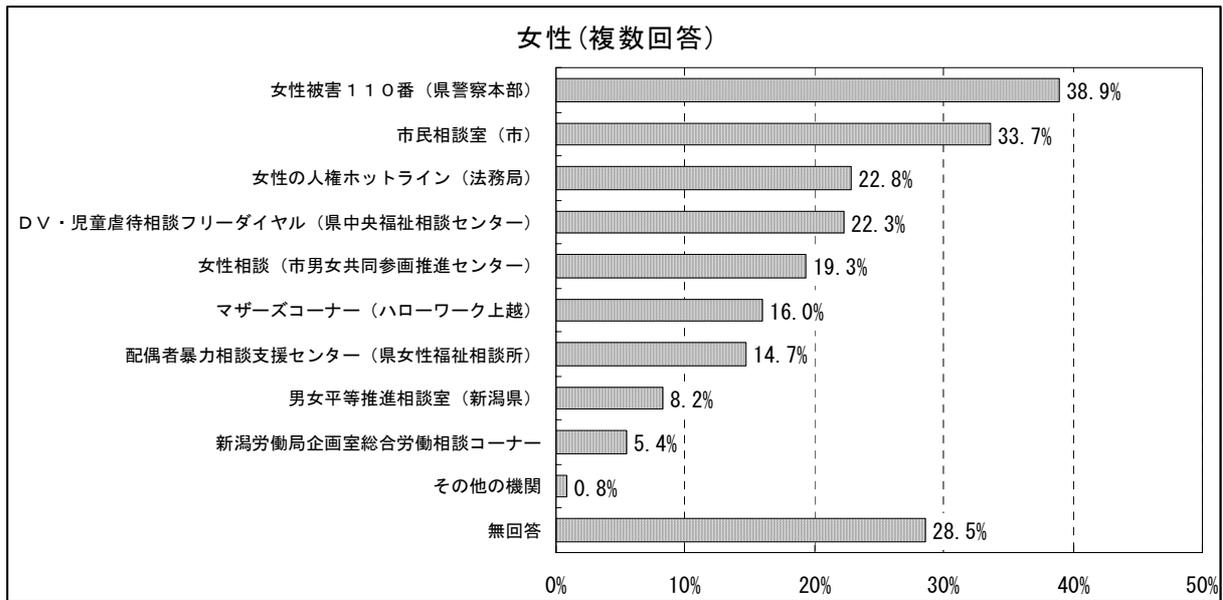
- 1 「ブロッキング」とは、インターネットにアクセスするためのサービスを提供している接続業者において、有害なサイトへのアクセスを遮断する手法です。
- 2 「フィルタリング」とは、携帯電話やパソコンなどでインターネットを利用する際に、有害なサイト(インターネット上で情報が掲載されている場所)へのアクセス(接続)を制限する機能です。

「インターネット接続業者によるブロッキングの実施」、「メディアや制作会社が加盟している業界団体による自主規制」が40%を超え、情報発信側の規制を求める意見が多い。

(18) 女性に関する相談機関の認知度

【設問】女性が抱えている悩みを相談するところについて、ご存知の機関全てに をつけてください。



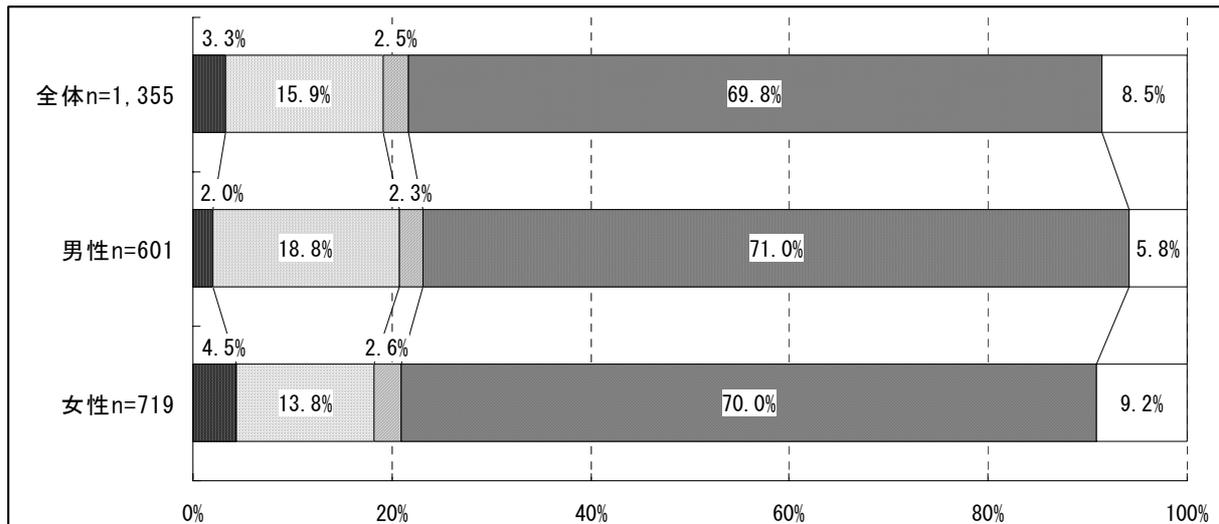


「女性被害 110 番 (県警察本部)」の認知度が男女問わず最も高いが、全体で 42.7%と過半数に達していなく、女性では 38.9%の認知度にとどまっている。

(19) 地域推進員の認知度

【設問】上越市では、各小学校区に2人ずつ男女共同参画地域推進員を委嘱しています。このことについて、一つだけ をつけてください。

- 地域推進員の役割や、自分の地域の推進員が誰かを知っている
- ▨ 地域推進員の役割は知っているが、自分の地域の推進員が誰かは知らない
- 地域推進員の役割は知らないが、自分の地域の推進員が誰かは知っている
- 全く知らない
- 無回答

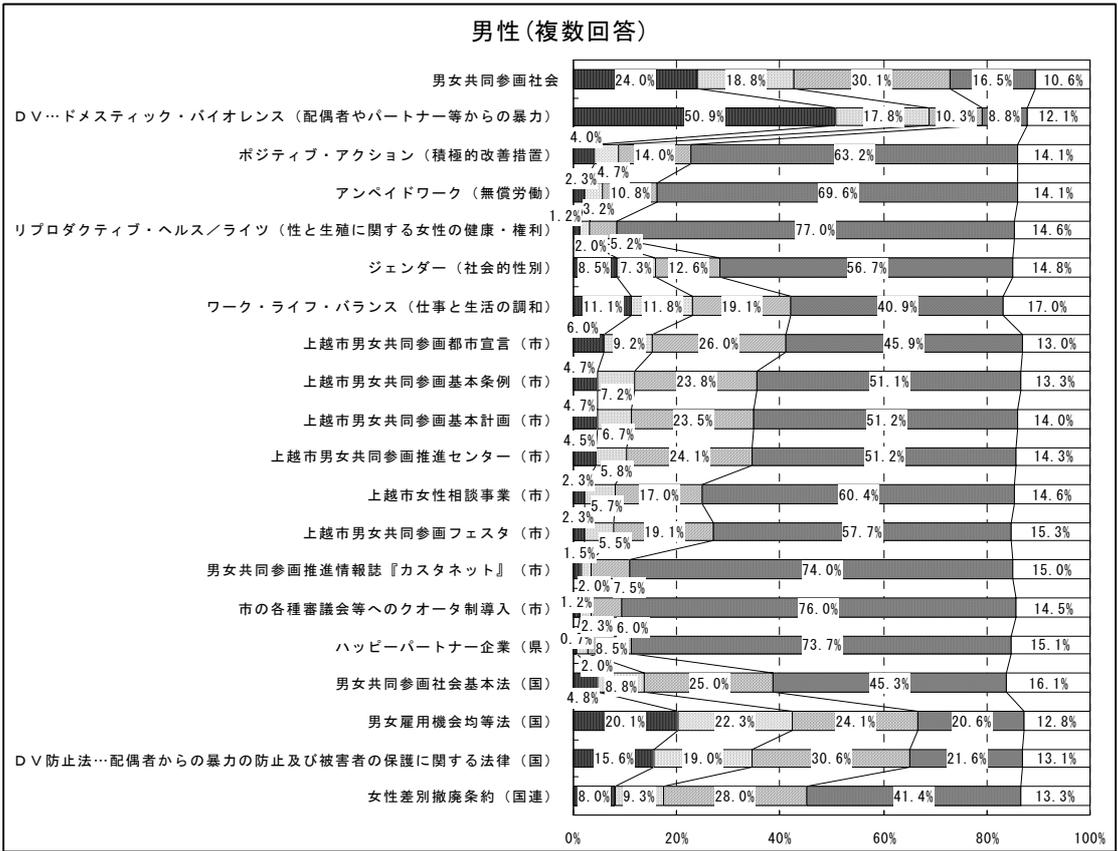
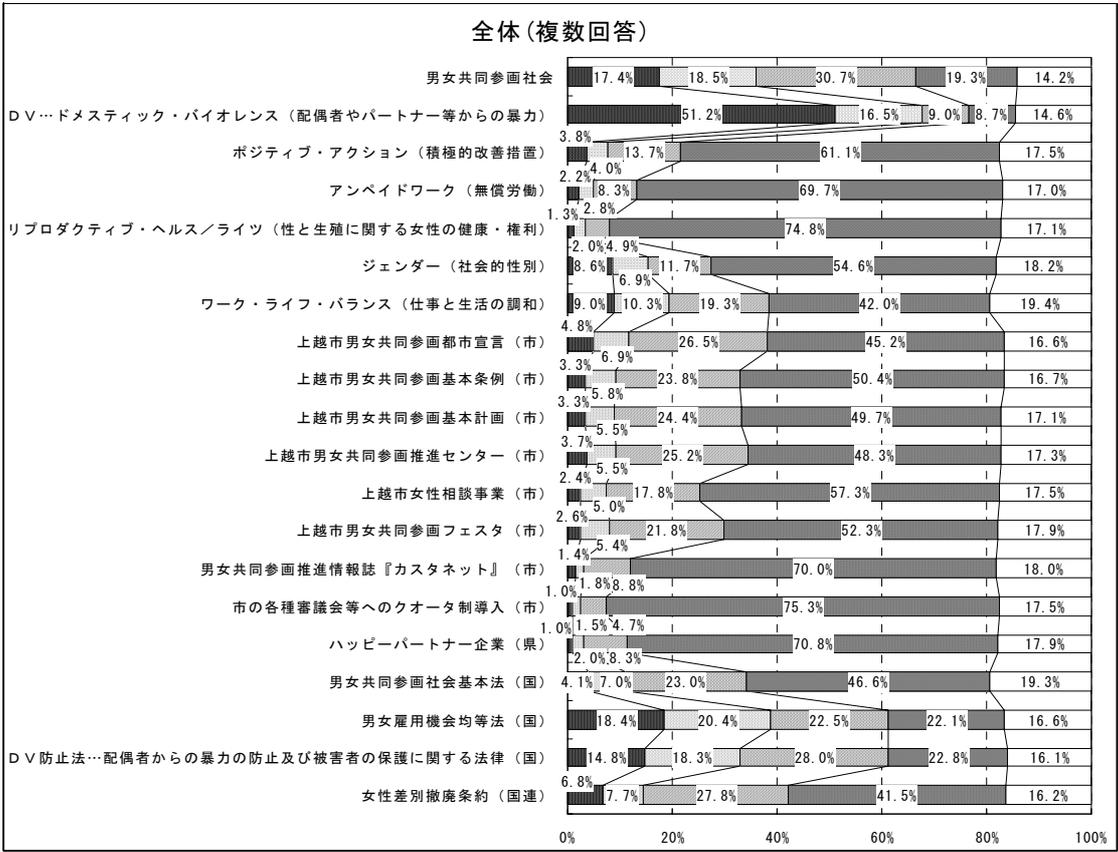


男女共同参画地域推進員自体を知らないが約70%を占めており、認知度の低さが明らかになった。また、「地域推進員の役割は知っているが、自分の地域の推進員は知らない」も全体で15.9%にとどまり、地域における認知度の低さも顕著となっている。

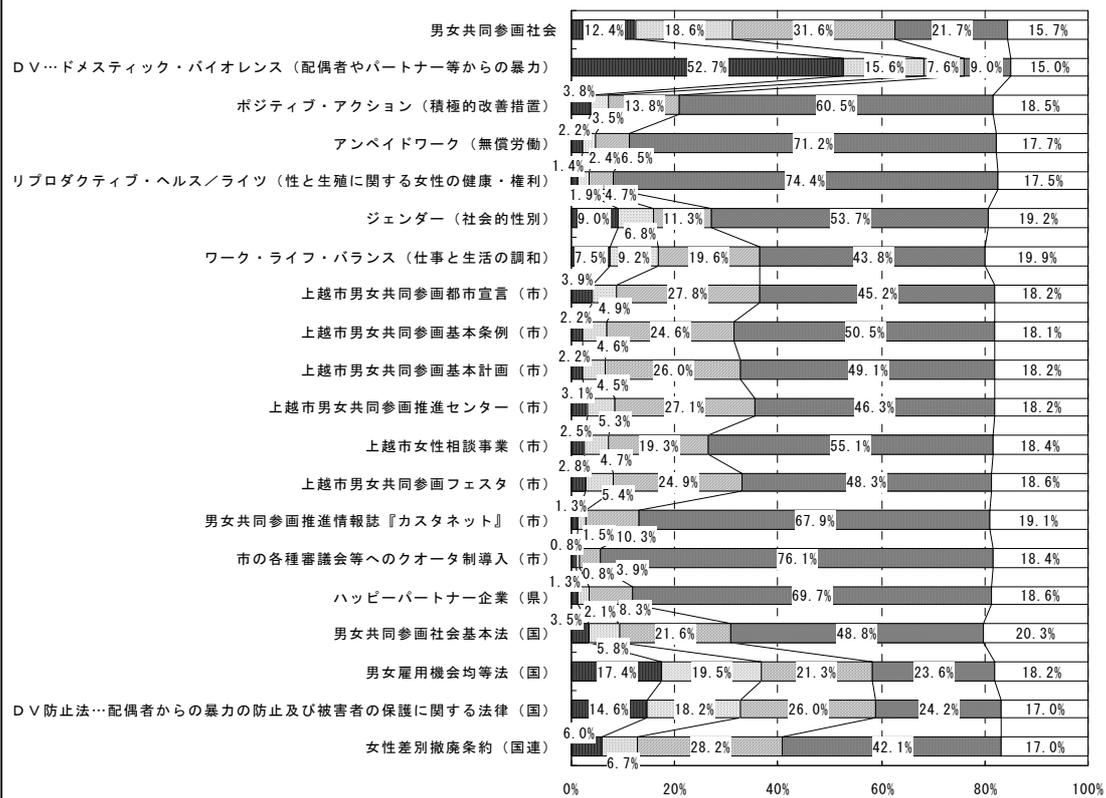
(20) 男女共同参画に関することば及び国・県・市の取組の認知度

【設問】あなたは、次に掲げるものの名称やことばについてご存知ですか。1～20のそれぞれについて、一つだけ をつけてください。

■言葉も内容も知っている □言葉と一部の内容を知っている ▨言葉は知っている ■知らない □無回答



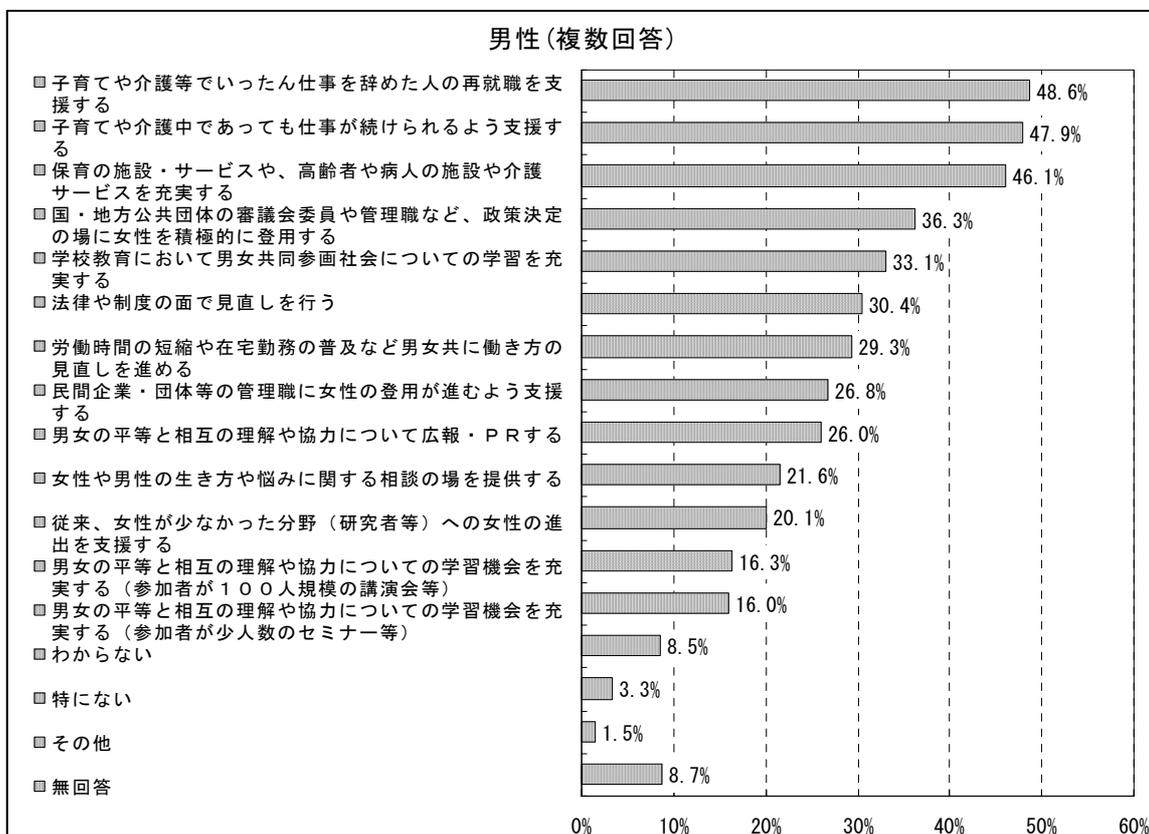
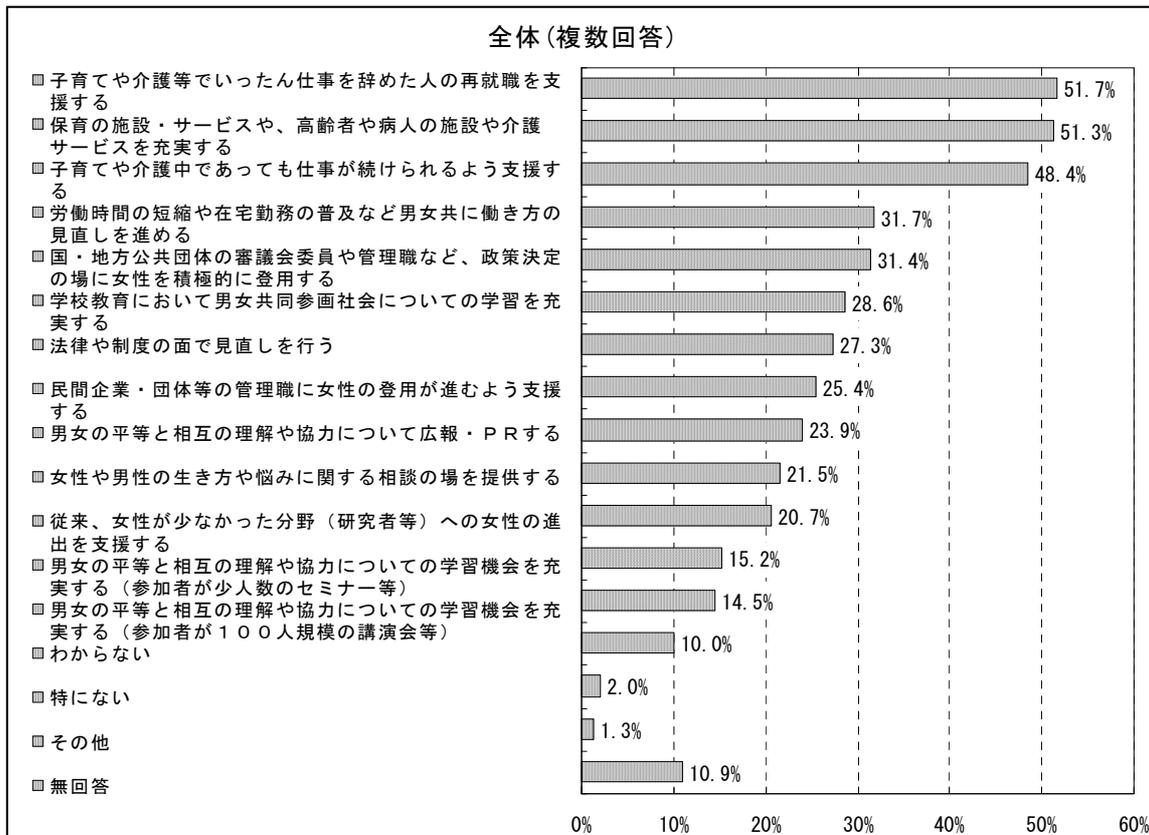
女性(複数回答)

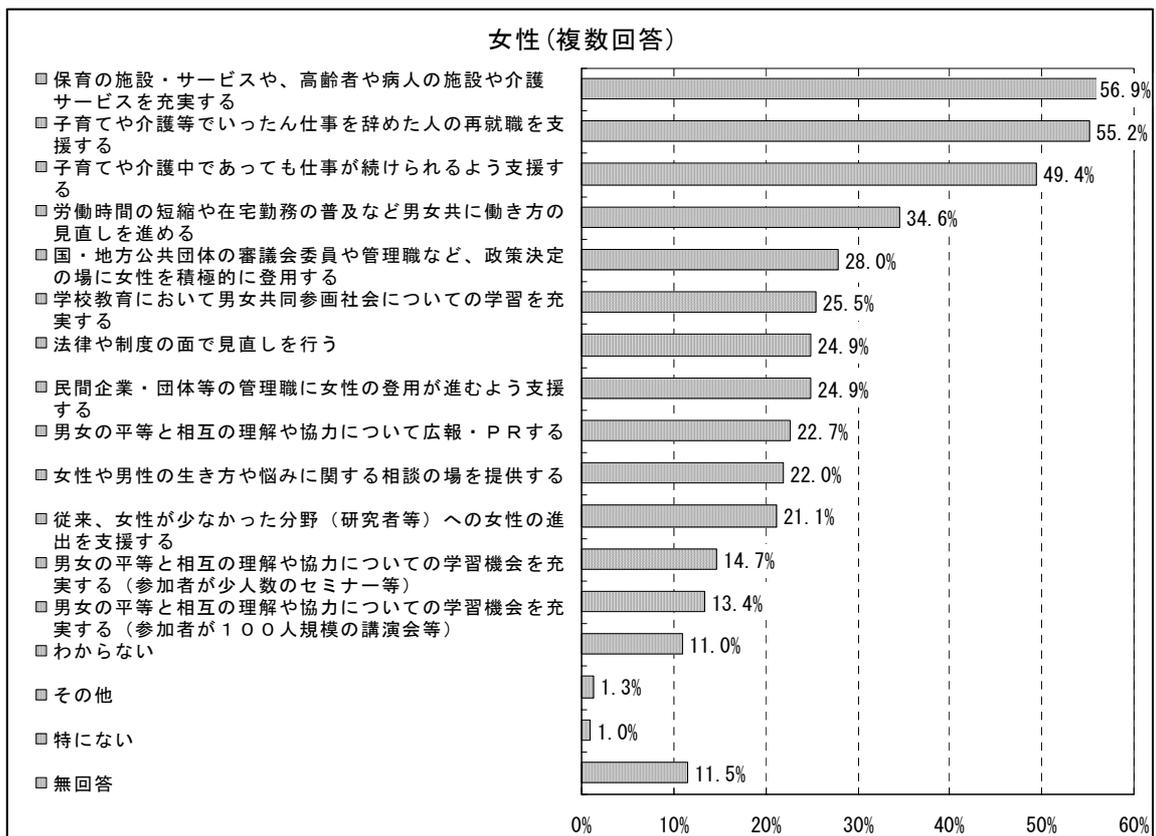


当事業で目指している「男女共同参画社会」について、「言葉も内容も知っている」、「言葉と一部の内容を知っている」と答えた割合が合わせて35.9%と、社会的に認知されていないことがうかがえる。また、関連する言葉や事業についても、「知らない」との回答が50%を超えるものも多く、認知度の低さが目立つ。

(21) 行政の今後の取組

【設問】「男女共同参画社会」を実現するために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。あてはまるもの全てに をつけてください。

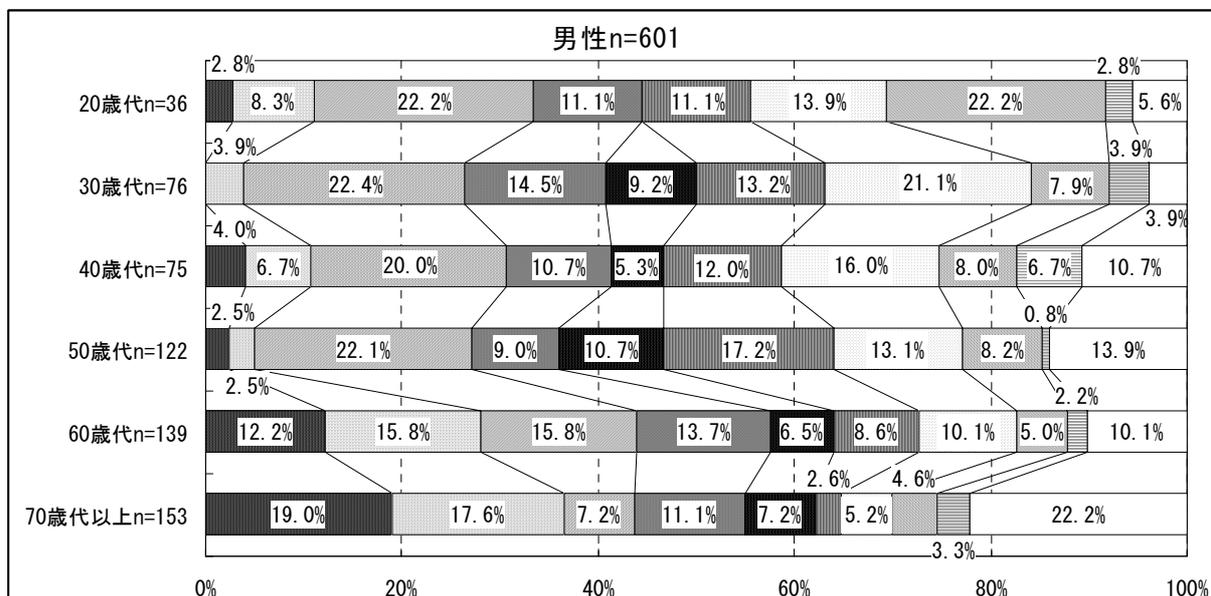
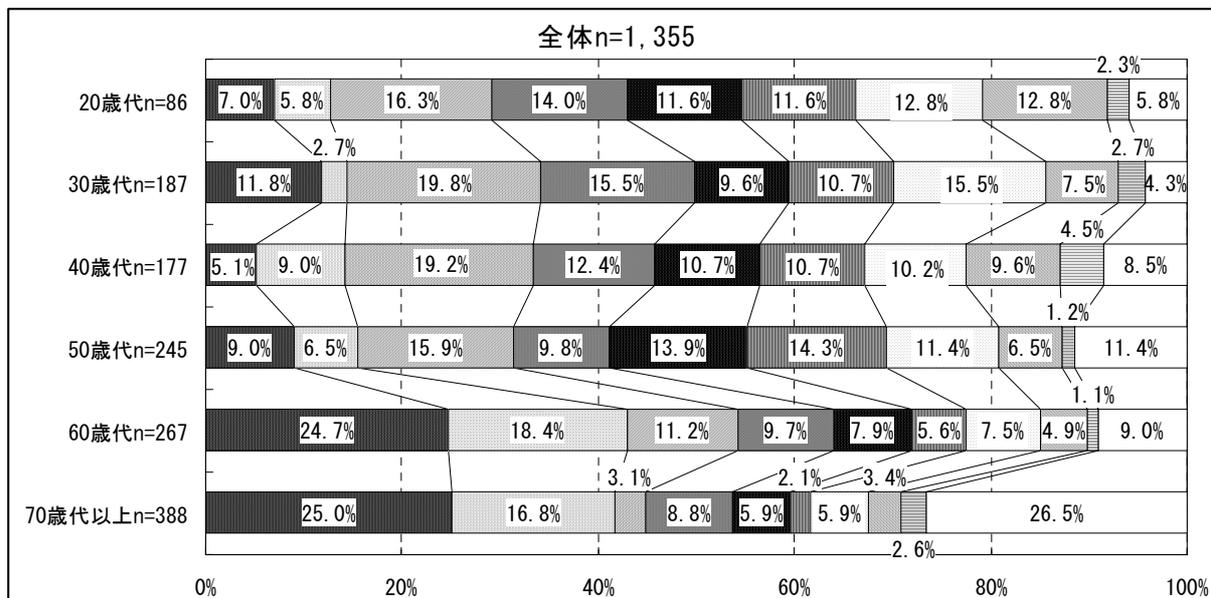
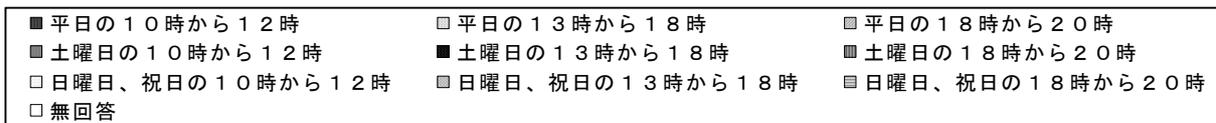


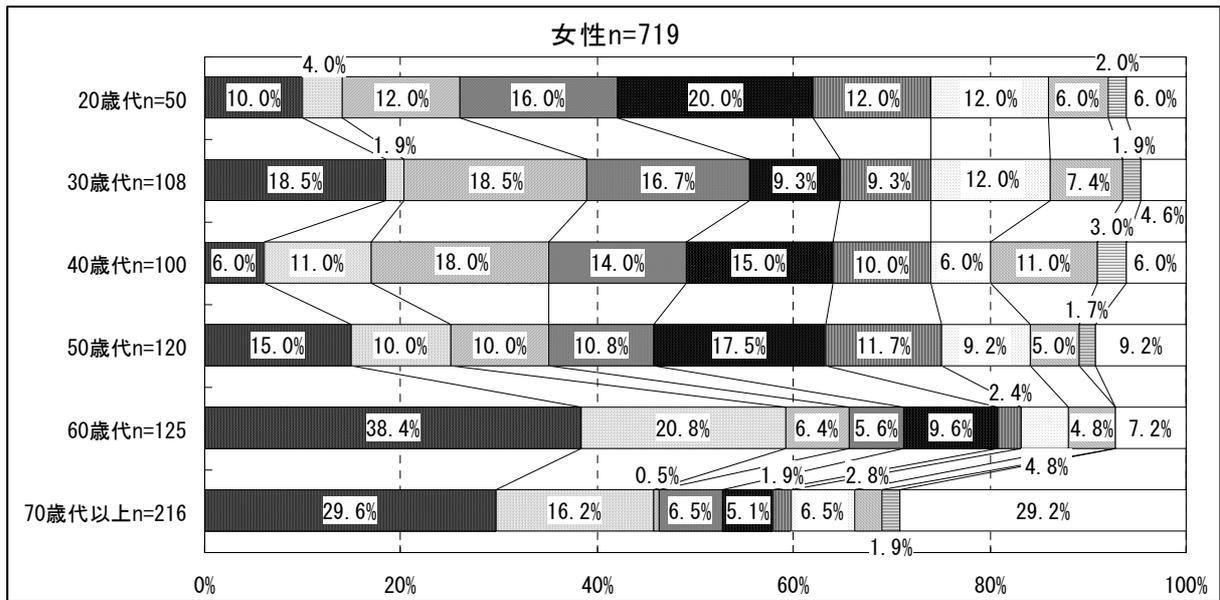


子育て、介護、仕事の両立や再就職の支援を求める意見が多い。また、セミナーや講演会などの学習機会の充実については10.0%~14.5%と他の項目と比べ低い結果となった。意識啓発よりも行政サービス、支援の充実や拡充を求める意見が多い。

(22) 講演会等の開催日時

【設問】講演会等を行う場合に、あなたが最も参加しやすいと思う日時について、一つだけをつけてください。

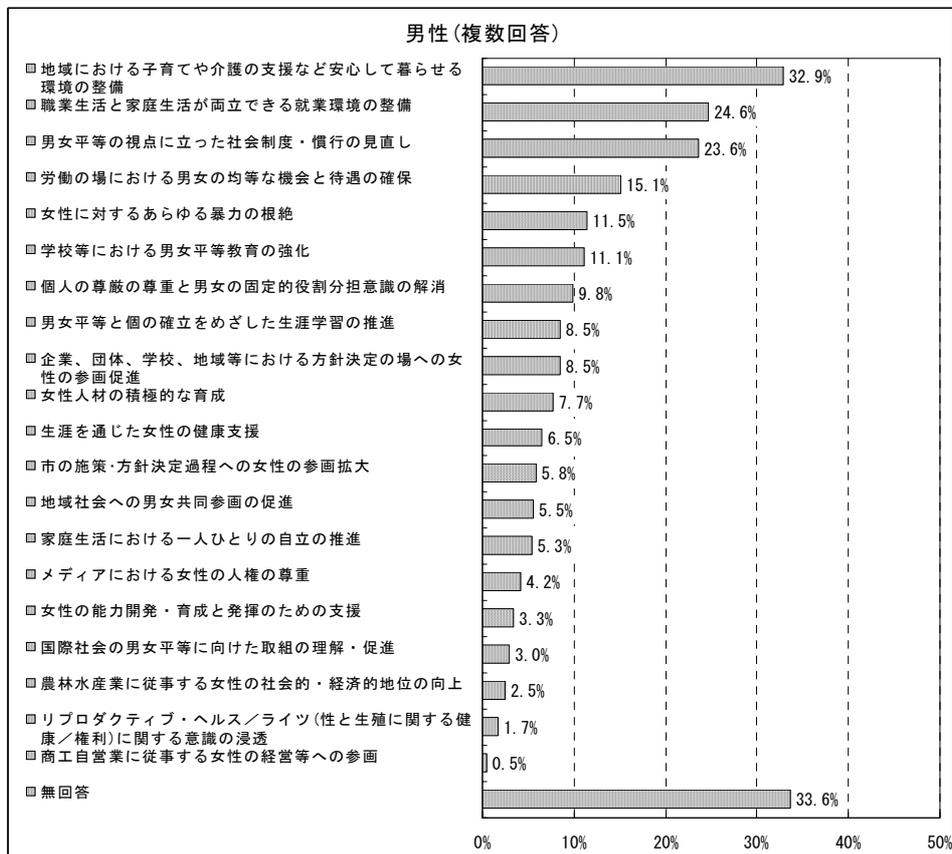
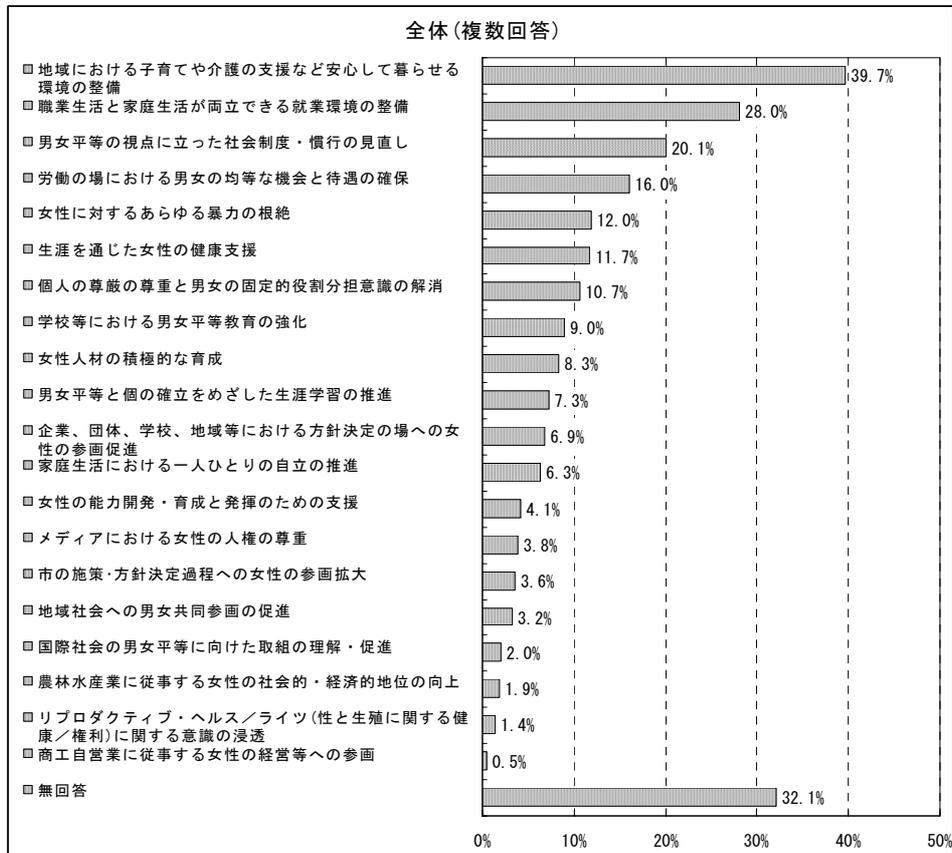


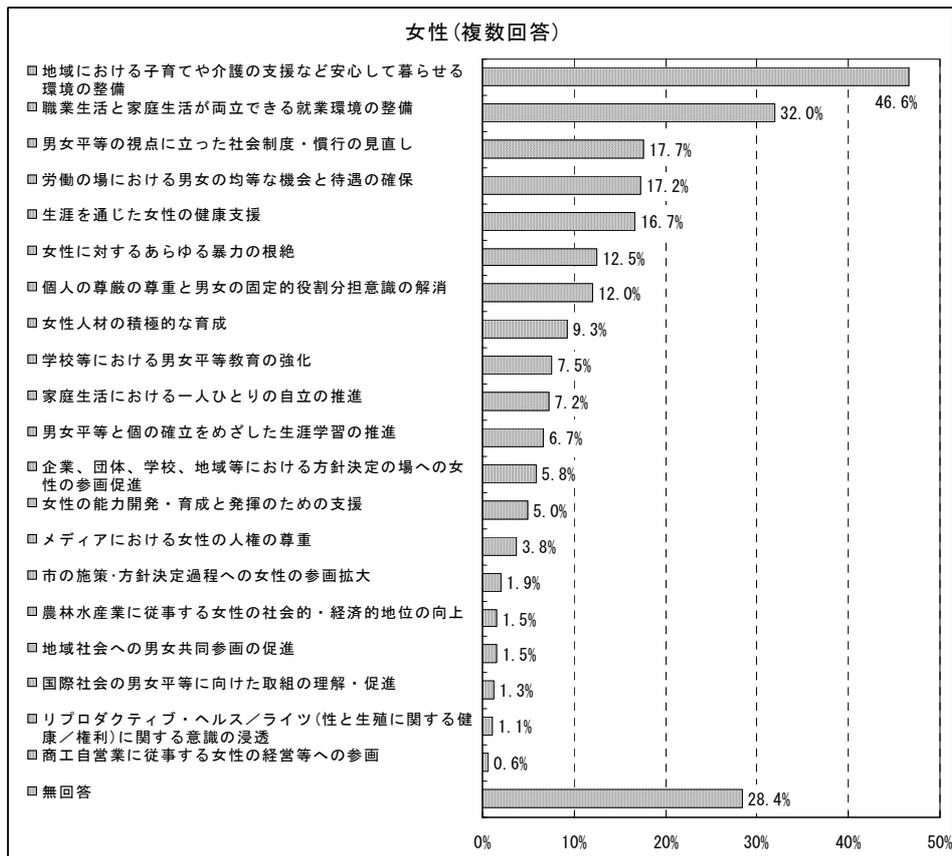


男女共に、20歳代から50歳代は平日の18時から20時まで、60歳代以上は平日の10時から18時の間が比較的多い傾向にある。女性の20歳代から50歳代はこれに加え土曜日の10時から18時までとする回答も多い。

(23) 市の取組について

【設問】上越市では、男女共同参画基本計画を策定しています。基本計画は、22年度において第1次計画が終了し、第2次計画の策定を行うこととしていますが、第1次計画に引き続きより一層推進することが必要と思うもの3つに をつけてください。





「地域における子育てや介護の支援など安心して暮らせる環境の整備」を必要とする回答が39.7%と最も高く、10%を超えた項目は20項目中7項目となった。就業環境や慣行の見直し、待遇や意識面での改善など、性差に関する広範な分野での推進が求められていると考えられる。

(24) その他、自由記入など

【問10】家庭での夫婦の役割分担について、どうあるべきだと思いますか。

(理想)

お住まい	回答	性別	年齢	世帯	職業
牧区	夫も妻も仕事をして手のあいた方が家事をする。	女性	60～64歳	親と子	自営(商業)
大潟区	夫、妻のいずれかが外で働き、他の一方が家で働くのが良い。	男性	60～64歳	親と子	自営(商業)
合併前上越市	夫が主に仕事をし、夫婦で家事等をする。	女性	40～44歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	夫も妻も仕事をし、使用人が家事をする。	女性	40～44歳	親と子	無職
合併前上越市	得意とする事を話し合って担当する	女性	50～54歳	親と子	管理職の勤め人
合併前上越市	お互いの特性を生かした仕事、家事の分担を	女性	50～54歳	親と子	家事従事者
合併前上越市	子どもの躾・教育は両親の義務	女性	70歳以上	家族なし	-
-	夫は主に仕事をし、共に家事等をする	男性	25～29歳	家族なし	管理職以外の勤め人

(現実)

お住まい	回答	性別	年齢	世帯	職業
牧区	夫も妻も仕事をし、夫と妻の出来に家事を分担する。	男性	50～54歳	親と子と孫	管理職の勤め人
大潟区	同居している妻の母親が主に家事をしている	男性	35～39歳	親と子	パートなど
三和区	学生なのでまだ現実感がないです。	男性	20～24歳	その他	学生
名立区	祖母が家事をする	女性	40～44歳	親と子	管理職の勤め人
合併前上越市	女性が求める社会的地位を、現実には女性が希望していない。	男性	40～44歳	親と子	経営者など
合併前上越市	夫も妻も仕事しないで、共に家事等をする。	男性	55～59歳	その他	無職
合併前上越市	学校の行事などは協力してくれる	女性	40～44歳	その他	パートなど

【問12】あなたが、女性の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなときでしょうか。

お住まい	回答	性別	年齢	世帯	職業
大島区	行事・祭事あった時。女性ばかり立ち働かなくてはいけない時。正月等、女性だけゆっくりできない。	女性	45～49歳	家族なし	管理職以外の勤め人
柿崎区	会議上で女性の発言権(指名しない、時間を与えない)。日曜のテレビ番組や当主討論での社民党党首の扱い。	女性	70歳以上	家族なし	無職
大潟区	わからない	女性	40～44歳	親と子	管理職以外の勤め人
大潟区	賃金	女性	45～49歳	親と子	パートなど
大潟区	雇用	女性	45～49歳	親と子	パートなど
頸城区	「女のくせに」と言う言葉	女性	55～59歳	その他	管理職以外の勤め人
板倉区	選挙(女は参加できないから)	男性	40～44歳	親と子	管理職以外の勤め人
板倉区	設問がおかしいのでは?男女関係なく同じような事がなされた場合、男性の人権も尊重されていないのでは?又、当事者の意識したいなのではないか?	女性	50～54歳	親と子と孫	自営(商業)
清里区	最近の女性は肌を露出しすぎるスタイルだから特に良くない。もっとつつましく女性らしく。男を自らさそうような服装は良くない。	女性	70歳以上	親と子	家事従事者
三和区	人権が尊重されているかでなく、総じて権利を主張し、理解が欠如している。	男性	70歳以上	親と子と孫	無職
合併前上越市	会社での出世	男性	20～24歳	その他	学生
合併前上越市	給与の差、昇進等、就職率、就職体系	男性	30～34歳	親と子と孫	管理職以外の勤め人
合併前上越市	職場等の待遇	男性	35～39歳	親と子	管理職の勤め人
合併前上越市	職場内の出世等	男性	35～39歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	「女性の人権が尊重されていない」と声高きに叫ぶ人を見たとき	男性	40～44歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	質問自体が女性側からの質問で馬鹿げている。	男性	40～44歳	-	パートなど
合併前上越市	社会的な場はほとんどが男女平等になっているが、日本古来の風習等で男尊女卑のものも残っている。	男性	50～54歳	親と子	管理職の勤め人

お住まい	回答	性別	年齢	世帯	職業
合併前上越市	仕事場のお客様から女には仕事を任せられないと断られる。(年配の男性より)	女性	20～24歳	その他	管理職以外の勤め人
合併前上越市	男性の暴力行為、偉そうな態度	女性	30～34歳	家族なし	管理職以外の勤め人
合併前上越市	法事等でのお茶くみ・配膳。悲しみの頂点の方(つれあいを亡くされた)なのに、葬式中参列者にお茶を用意しているとき	女性	30～34歳	夫婦のみ	家事従事者
合併前上越市	女性は嫁として家に入るべき、嫁は労働力と夫の母、親戚から言われるとき。夫婦別姓がみとめられていないこと。	女性	30～34歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	共働きであっても、家事は女性がするものという風潮があったり、そういったことを感じたりする時。	女性	30～34歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	男性と同等収入の職が少ない	女性	30～34歳	親と子	パートなど
合併前上越市	出産などが会社内にて当たり前の事として思われていない。	女性	30～34歳	親と子	無職
合併前上越市	仕事で、女性のくせに……みたいな態度をとられる	女性	35～39歳	家族なし	パートなど
合併前上越市	産休・育休取得にかかわる職場の地位、子育て中にかかわる年休や休暇取得の不利益と周囲の理解不足	女性	40～44歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	目に入ってくるものは現代の中で仕方がなく、個人の道德の問題だと思います。	女性	40～44歳	その他	管理職以外の勤め人
合併前上越市	今の世の中は男性の方がやりにくいところが目立つ様に思う。1～8の事柄も女性が武器に女性がそうさせている様に思う。	女性	45～49歳	親と子	パートなど
合併前上越市	老人の男尊女卑の考え方	女性	50～54歳	親と子	パートなど
合併前上越市	女性ほど同性に対し非常に厳しい。	女性	50～54歳	親と子	自営(農業)
合併前上越市	夫婦でいるのに、妻を無視してしゃべる男性に会った時	女性	60～64歳	夫婦のみ	家事従事者
合併前上越市	夫の反社会的行為をその妻のせいにする風潮がある	女性	70歳以上	夫婦のみ	無職
合併前上越市	職場、家庭内でもまだまだ不平等が多すぎる。女性にも反省してもらいたい。	女性	70歳以上	夫婦のみ	-
合併前上越市	言葉遣い=女のざまして。女のくせに。女みたいな奴だ。女になんか負けてたまるか。	女性	70歳以上	親と子と孫	無職
合併前上越市	集会等で主義主張する女性を敬遠する男性が多い	女性	70歳以上	親と子と孫	その他
合併前上越市	昔ながらの風習による発言	女性	70歳以上	その他	無職
合併前上越市	よその扱い	-	50～54歳	家族なし	無職

【問16】今後女性がもっと増えるほうがよいと思う職業や役職をお教えてください。

お住まい	回答	性別	年齢	世帯	職業
柿崎区	現場の仕事にも進出すべき	男性	60～64歳	夫婦のみ	パートなど
柿崎区	男性女性の問題でなく、それぞれの特性、個別の能力によるものだと思う。	男性	70歳以上	夫婦のみ	無職
大潟区	白バイは?!	男性	25～29歳	その他	その他
大潟区	医師	男性	60～64歳	その他	無職
頸城区	女性だろうと、男性だろうと実力とやる気がなければダメ!!。増えるほうがいいとか考えが違ふと思う。	男性	40～44歳	親と子	自営(工業)
板倉区	質問に疑問を感じる。	男性	55～59歳	親と子	管理職の勤め人
清里区	ここ一番となる決断力はやはり男性の方が冷静になれると思うのでどんな場合でも。	女性	70歳以上	親と子	家事従事者
三和区	女性が増えるほうがいいとはかぎらない。	男性	40～44歳	親と子と孫	管理職以外の勤め人
三和区	人格、識見が優れて入れば、上記の職種、職業、役職に進出する2は望ましい。数の問題ではない。	男性	70歳以上	親と子と孫	無職
合併前上越市	医者。特に女性患者の多い分野	男性	20～24歳	その他	学生
合併前上越市	適していれば本人の自由	男性	30～34歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	女性の社会進出は様々な面で望ましいことだと思う。家庭や地域とのバランスが難しいが。	男性	30～34歳	親と子と孫	管理職以外の勤め人
合併前上越市	どんな職業でも男女が偏っているのはおかしい。	男性	35～39歳	親と子	管理職の勤め人
合併前上越市	・どの職業も男女の差は無くし、女性の多くが役職に就いても良い。 ・役職に就くのは責任も付くのであるから、男女の差はなくなる。	男性	60～64歳	その他	管理職以外の勤め人

お住まい	回答	性別	年齢	世帯	職業
合併前上越市	野球、特に高校野球	男性	65～69歳	親と子と孫	パートなど
合併前上越市	カウンセラーアドバイザーなど、女性、ママ目線で。	女性	20～24歳	その他	管理職以外の勤め人
合併前上越市	企業の人事課	女性	25～29歳	夫婦のみ	家事従事者
合併前上越市	一般企業	女性	35～39歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	全てにおいて男女に差をつけるべきではない。能力があれば能力に見合った役職に就くべき。	女性	35～39歳	親と子	家事従事者
合併前上越市	全体的に色々な職種において増えていけばよいと思う。	女性	35～39歳	親と子	無職
合併前上越市	能力のある人間ならNo.6～12全てにおいて、女性も増えるべきだと思う。	女性	40～44歳	親と子	家事従事者
合併前上越市	医師	女性	40～44歳	親と子と孫	パートなど
合併前上越市	校長	女性	50～54歳	親と子と孫	管理職以外の勤め人
合併前上越市	長として上に立つ方は、昔も今も男性が望ましいと思います。その下の補佐は女性がいればいいと思います。	女性	65～69歳	親と子と孫	管理職の勤め人
合併前上越市	女のお医者さん	女性	70歳以上	家族なし	無職
合併前上越市	男女共に同じ様にしたい	女性	70歳以上	親と子	-
合併前上越市	女性が先頭に立って1から12迄の仕事をするとう家庭がだめになる原因。	女性	70歳以上	親と子と孫	無職
合併前上越市	小・中・高等学校の校長	女性	70歳以上	親と子と孫	無職

【問17】あなたは学校生活の中で、男女で差別するようなことを言われたり、経験したことがありますか。

お住まい	回答	性別	年齢	世帯	職業
牧区	時代がちがってわからない	女性	70歳以上	夫婦のみ	自営（農業）
柿崎区	高校進路を選ぶ時母親に女子だから、洋裁を身につけなさいと言われた。	女性	60～64歳	親と子と孫	自営（商業）
大潟区	性教育を男女別に受けた	女性	45～49歳	親と子	パートなど
頸城区	小1の1学期だけ男女で、あとは別。	女性	70歳以上	家族なし	無職
板倉区	戦争中で無我夢中で学生時代を過ごしました。	女性	70歳以上	家族なし	-
清里区	男子の次ぎ女子と名簿があってもいいと思う。特にこだわる必要なし。	女性	70歳以上	親と子	家事従事者
合併前上越市	性の指導など、内容によっては別々にした方（区別した方）がいい場合もある。	男性	30～34歳	親と子と孫	管理職以外の勤め人
合併前上越市	金がなく進学出来なかった	男性	70歳以上	夫婦のみ	無職
合併前上越市	戦時中なので男は専ら軍事教練のみ食事のことなど全くしない。現在料理等不可。	男性	70歳以上	親と子と孫	無職
合併前上越市	「女子はこの教室から出て行きなさい！」と突然高校教師に言われた。	女性	40～44歳	親と子と孫	自営（農業）
合併前上越市	廊下に立たされた。忘れものはとりにやられた。	女性	60～64歳	親と子と孫	その他
合併前上越市	昔の事なので	女性	60～64歳	その他	無職
合併前上越市	昭和初期の教育を受けている者で何も言えない	女性	70歳以上	家族なし	-
合併前上越市	昭和20年～30年代の世相として仕方が無かったと思う。	女性	70歳以上	親と子と孫	その他
合併前上越市	初経教育は女子のみが集合して授業を受けました	-	70歳以上	夫婦のみ	家事従事者

【問18】PTA や町内会などの地域団体の役割の長に女性が就くことの妨げになっている主な原因は何だと思いますか。

お住まい	回答	性別	年齢	世帯	職業
浦川原区	他地域で育ってきている。文化、風習が違う。	男性	60～64歳	親と子と孫	パートなど
柿崎区	妨げになっていない。女性自身がやりたがらないと思う。	男性	45～49歳	親と子	管理職以外の勤め人
柿崎区	人柄、特性を適切、正当に判断できる社会になっていないこと。	男性	70歳以上	夫婦のみ	無職
大潟区	封建的な世界と考えが多いから	男性	30～34歳	親と子	管理職の勤め人
大潟区	その様な事はないと思っている。	男性	50～54歳	親と子と孫	管理職以外の勤め人

お住まい	回答	性別	年齢	世帯	職業
大潟区	女性が役員の仕事を優先しようとする、職場や家族から文句を言われる。	女性	45～49歳	親と子	パートなど
大潟区	現在はむしろ女性の方が役員になりたがっているように見えるが？	女性	60～64歳	親と子	自営（農業）
中郷区	女が出てくる場所ではないように町内会長がいう。出て行きづらく役は男ばかり。その町内会長も自分のいうことを通そうとする。	女性	30～34歳	親と子	パートなど
清里区	夜の会合など男性は何から何まで体力があると思う。	女性	70歳以上	親と子	家事従事者
三和区	男性はどこかで女性を自分より下に見ている部分があると思う。	男性	45～49歳	その他	管理職以外の勤め人
三和区	町内会について、若年層は子育て、仕事で忙しく、仕事をしていない老人中心で運営されている。高齢者は男女平等の観念がずれている。	女性	45～49歳	親と子	パートなど
合併前上越市	組織をまとめる力が基本的にないから。（社会経験がある人が少ないためか？）	男性	30～34歳	夫婦のみ	管理職以外の勤め人
合併前上越市	「男性が長」という考えが根強いから。	男性	30～34歳	親と子と孫	管理職以外の勤め人
合併前上越市	本質的に女性よりも男性の方が長に向いているから。こういうことを言うと男女差別とすぐ批判する風潮が逆に怖い。女性は男性よりも弱い。それなのに男女平等といって無理に長をさせることが問題。	男性	40～44歳	-	-
合併前上越市	女性は感情が先にくる事が多い	男性	55～59歳	その他	管理職以外の勤め人
合併前上越市	日本の民族的歴史から来ている。今後はこのような障害無いようにしていかななくてはこの問題を問う皆様の機関でも同じ事をしていますよ。	男性	60～64歳	その他	管理職以外の勤め人
合併前上越市	まだ全体的に男性優先になっている	男性	65～69歳	親と子と孫	-
合併前上越市	今後ますます細やかな配慮が必要になってくるので、女性の長が必要と思う。	男性	70歳以上	夫婦のみ	その他
合併前上越市	今は女の方も増えてきているように思います。（PTAは）	女性	20～24歳	その他	管理職以外の勤め人
合併前上越市	男性の側に女性に任せると意識がないから	女性	30～34歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	女性が役員の長になることができる状況にない。配慮が足りない。（会合の時間や仕組み）	女性	35～39歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	女性が長につくと、男性が協力しない。バカにすることがある。	女性	40～44歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	年配男性の理解が乏しかったりする場合がある。出来る範囲や分担で女性も長になり、まとめる事が出来る。	女性	40～44歳	その他	管理職以外の勤め人
合併前上越市	時間がない場合もあると思います。	女性	70歳以上	親と子	無職
合併前上越市	学歴もなく、指導力もないので無理	女性	70歳以上	その他	無職

【問19】女性が職業を持つことについて、望ましい姿だと考えるものを教えてください。

（理想）

お住まい	回答	性別	年齢	世帯	職業
柿崎区	5において「やめる」間の収入保障がある。	男性	70歳以上	夫婦のみ	無職
大潟区	子育て期間は休職でき、子育てが終わったら復職できるとよい。	女性	60～64歳	親と子	自営（農業）
頸城区	共働きをしなくても良い状況（経済面）であれば家事、育児をする。	女性	45～49歳	親と子	管理職以外の勤め人
頸城区	本人の意志（育児に専念したいか、仕事を続けたいか）	女性	55～59歳	親と子と孫	家事従事者
三和区	子どもができたなら育児休業又は時間短縮で仕事をする。	女性	45～49歳	親と子	パートなど
合併前上越市	夫婦で相談して決める。	男性	35～39歳	親と子	管理職の勤め人
合併前上越市	その女性が選べる（仕方なく働く、仕方なく退職するとならない方がいいな）	男性	35～39歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	働く気があれば働けばいい。そうでなければ働かなくてもよい。	男性	40～44歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	本人の意志のままに	男性	55～59歳	その他	管理職以外の勤め人
合併前上越市	育休が3歳まであり、会社に保育園が設立されている。	女性	20～24歳	その他	管理職以外の勤め人
合併前上越市	本人の希望	女性	50～54歳	親と子	無職

お住まい	回答	性別	年齢	世帯	職業
合併前上越市	4. に完全な子育てサポート体制があること	女性	60～64歳	夫婦のみ	家事従事者
合併前上越市	子どもは母の愛情が大事	女性	70歳以上	親と子と孫	無職

(現実)

お住まい	回答	性別	年齢	世帯	職業
安塚区	現在育児中で無職	男性	35～39歳	親と子	管理職以外の勤め人
中郷区	いったん辞めたら、今の世の中就職困難となる。	女性	60～64歳	その他	無職
合併前上越市	仕事がない	男性	35～39歳	その他	管理職の勤め人
合併前上越市	就業に対する、女性自身の考え方	男性	40～44歳	親と子	経営者など
合併前上越市	新婚ですが、就活しても「お子さんの予定は？」と聞かれ、落ちる。	女性	25～29歳	夫婦のみ	家事従事者
合併前上越市	その時々環境により変化する。育児、介護等家族構成により変化。	女性	50～54歳	親と子	家事従事者
合併前上越市	子どもがいなく、職業を続けた。	女性	55～59歳	夫婦のみ	無職

【問20】男性が育児休暇を取得しづらい(しない)理由として考えられるものを教えてください。

お住まい	回答	性別	年齢	世帯	職業
浦川原区	職場環境が整っていないのではないか。	男性	65～69歳	その他	無職
柿崎区	とても大変な子育てをしたがらない。	女性	70歳以上	夫婦のみ	無職
大潟区	取っても本当に元の職場に戻れるか不安。代わりに来た人の扱いは？	男性	55～59歳	親と子	管理職以外の勤め人
大潟区	職場に制度があっても取りやすい環境になっていない。	女性	45～49歳	親と子	パートなど
大潟区	現実として、男性は育休を取れない。公務員以外の場合、育休を取れば退職せざるを得ない。	女性	60～64歳	親と子	自営(農業)
頸城区	意思がない	男性	40～44歳	親と子	自営(工業)
板倉区	世話としてくれる人がない時は、夫に休みを取ってもらってもよいと思います。	女性	70歳以上	親と子	家事従事者
清里区	男女平等と云えども基本はやはり母親の細やかな配慮で育児をすべし。今の母親は相手を頼りすぎる。	女性	70歳以上	親と子	家事従事者
三和区	授乳のことは？母親がとる方が望ましい。	女性	45～49歳	親と子	パートなど
合併前上越市	会社内の目	男性	25～29歳	その他	管理職以外の勤め人
合併前上越市	制度があっても、会社の雰囲気や慣例が影響すると思います。	男性	25～29歳	その他	管理職以外の勤め人
合併前上越市	「育児は女の仕事」という考えが根強いのではないか。	男性	30～34歳	親と子と孫	管理職以外の勤め人
合併前上越市	取得復帰後の職場	男性	35～39歳	親と子	管理職の勤め人
合併前上越市	現実的に一般企業、特に中小企業では無理です。国、県、自治体で認めて、当たり前にならなければ全体的に無理です!!	男性	45～49歳	親と子	管理職の勤め人
合併前上越市	男性は女性と違って体が違うので乳汁がでない。	男性	65～69歳	夫婦のみ	パートなど
合併前上越市	職場ではだれも取っていないから	男性	65～69歳	夫婦のみ	パートなど
合併前上越市	子どもができたなら職業をやめ、育児が終わったら再び職業を持つ	男性	65～69歳	親と子	無職
合併前上越市	子どもがなく経験がない。	男性	70歳以上	親と子と孫	無職
合併前上越市	上司がまだ男性も育休を取得する世代ではないので、職場環境的にも取得しづらいのではないかと思います。	女性	20～24歳	その他	管理職以外の勤め人
合併前上越市	社内の目が気になる	女性	35～39歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	育児能力に不足がある	女性	35～39歳	その他	家事従事者
合併前上越市	年寄り(同居してなくても)の理解がない。	女性	40～44歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	男女共に不安や慣れない時の支援体制が整っていれば精神的にずっと楽に育児が出来るし、経済的なバックアップがあれば尚ゆとりも出てくると思われます。	女性	55～59歳	家族なし	パートなど
合併前上越市	母性本能のある女性の方が、子どもの感性を育むのにむいているので、あえて男性ではなく女性優先が望ましい。	女性	60～64歳	家族なし	その他
合併前上越市	男性の本音として取得したくないのでは？	女性	70歳以上	家族なし	無職
合併前上越市	男性の育児に対する研究不足。男性は育児は女性ときめつけている。	女性	70歳以上	夫婦のみ	無職

【問 2 3】仕事を辞めたり、中断したり、あるいは転職した理由は何ですか。

お住まい	回答	性別	年齢	世帯	職業
安塚区	自分の意志	男性	65～69歳	その他	その他
大潟区	会社の無知	男性	30～34歳	親と子	管理職の勤め人
大潟区	会社の経営を整理した為	男性	55～59歳	その他	管理職の勤め人
頸城区	親の世話をするため帰ってきた	男性	40～44歳	親と子	自営（工業）
頸城区	Jターンのため	男性	50～54歳	親と子	管理職以外の勤め人
頸城区	収入額の為	男性	60～64歳	夫婦のみ	パートなど
板倉区	疎開のため印刷局を昭和20年7月にやめて、板倉へ移住。	女性	70歳以上	家族なし	-
清里区	3ちゃん農業から会社へ	女性	70歳以上	親と子	家事従事者
合併前上越市	やりたい仕事に就職できた。	男性	25～29歳	その他	管理職以外の勤め人
合併前上越市	職場の経験が必要なため	男性	30～34歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	家庭の都合	男性	35～39歳	親と子	管理職の勤め人
合併前上越市	キャリアアップ	男性	35～39歳	親と子	管理職の勤め人
合併前上越市	自身の向上のため	男性	40～44歳	親と子	経営者など
合併前上越市	賃金が少なかつたため	男性	40～44歳	その他	パートなど
合併前上越市	Uターン	男性	50～54歳	親と子	管理職の勤め人
合併前上越市	前の会社が倒産したため	男性	50～54歳	その他	管理職以外の勤め人
合併前上越市	定年を前に嫌がらせにあつて	男性	55～59歳	夫婦のみ	その他
合併前上越市	金のため、生活のため	男性	55～59歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	人間関係	男性	55～59歳	その他	管理職の勤め人
合併前上越市	会社倒産による	男性	55～59歳	その他	管理職以外の勤め人
合併前上越市	独立し起業	男性	65～69歳	夫婦のみ	経営者など
合併前上越市	東京都千代田区に35年前居住。娘が小児ぜんそくなり、会社の重役を振って帰郷。	男性	65～69歳	親と子と孫	その他
合併前上越市	会社設立、社長、会長、顧問	男性	70歳以上	家族なし	その他
合併前上越市	自営の為	男性	70歳以上	親と子	無職
合併前上越市	仕事は好きだったが、いくら頑張っても昇進、昇格が望めなかつた為	女性	30～34歳	夫婦のみ	管理職の勤め人
合併前上越市	公務員で結婚のため、他県へ行くことになったため。	女性	40～44歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	短時間正社員制度がない。正社員に戻れる制度がない。	女性	40～44歳	親と子	家事従事者
合併前上越市	会社が自分の信念に合わなかつたため。子どもと過ごす時間が重要だと考えたため。	女性	40～44歳	親と子と孫	自営（農業）
合併前上越市	職場がつぶれたから	女性	40～44歳	その他	パートなど
合併前上越市	会社が倒産	女性	55～59歳	親と子	無職
合併前上越市	新潟で日本舞踊の道に入った為	女性	70歳以上	家族なし	無職
合併前上越市	バブル閉所	-	50～54歳	家族なし	無職

【問 2 4】「育児・介護などの家庭で担われている役割の評価」について、あなたは具体的にどのような形で評価することが必要だと思いますか。

お住まい	回答	性別	年齢	世帯	職業
大潟区	(育児、介護) 1、2項目に対しては保育園やデイケアなど支援体制を整える	女性	45～49歳	親と子	パートなど
頸城区	(育児、介護) 経済的な事より、もっと精神的な支援等が充実すれば良いと思います。	女性	55～59歳	夫婦のみ	家事従事者
頸城区	(育児、介護、育児・介護以外の家事、町内会などの地域活動) 孤立してしまう傾向があるので、連携できるような体制づくりをする。	女性	55～59歳	親と子と孫	家事従事者
頸城区	(育児、介護、育児・介護以外の家事) 育児や介護を税制・手当とするのではなく、場所を増やしてその費用を無料に近くする。	女性	70歳以上	家族なし	無職

お住まい	回答	性別	年齢	世帯	職業
板倉区	(町内会などの地域活動) 4について色々ありすぎて...	女性	50～54歳	親と子と孫	自営(商業)
三和区	(育児・介護) 育児、介護は当然しなければならないし、表彰されなくてもやめないよう努力が必要なことである。	男性	35～39歳	その他	管理職以外の勤め人
三和区	(育児・介護) 1,2では全国一律に確実に実施できる制度の確立と環境づくり、4においては感謝状的な表彰	男性	70歳以上	親と子	パートなど
合併前上越市	(育児・介護以外の家事) 家族が理解してくれていれば、別に社会的になど必要ない。	男性	35～39歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	(育児・介護以外の家事) 家事などはどのように評価するのか? 平等な評価は望めない	男性	35～39歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	(町内会などの地域活動) 地域活動は個人の生きがいと社会に対する還元	男性	65～69歳	夫婦のみ	無職
合併前上越市	(育児・介護) 育児、介護は手当の支給は必要なく、社会が子育て、介護に施設等、福祉に充実すべき。	男性	65～69歳	親と子と孫	無職
合併前上越市	(育児・介護以外の家事) 町内会の回覧板などで広く地域に知らせて、身近な人たちが評価していく。	女性	20～24歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	(介護) ヘルパーの定期的無償派遣等サポート的なことで	女性	20～24歳	その他	管理職以外の勤め人
合併前上越市	(町内会などの地域活動) 地域活動への参加時間が負担になっているのが現実。地域活動に力を入れすぎないでほしい。	女性	30～34歳	親と子	パートなど
合併前上越市	(育児・介護以外の家事) 家庭内で何かする。労いの言葉をかけたり、贈り物をしたりなど。	女性	35～39歳	親と子	無職
合併前上越市	(育児・介護以外の家事、町内会などの地域活動) 3・4は評価するよりも周りの人から感謝されたり、地域行事に参加したり協力し合ったりすることでいいと思う。	女性	40～44歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	(育児、育児・介護以外の家事、町内会などの地域活動) 育児中の休暇取得を取りやすい制度と周囲の理解を絶対なものにする。特別休暇を制定する。	女性	40～44歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	(育児、介護、育児・介護以外の家事、町内会などの地域活動) お金や名誉で評価できない価値ある仕事という価値観を子どものうちから浸透させて社会全体の意識を変える。	女性	40～44歳	親と子と孫	自営(農業)
合併前上越市	(育児) ・育児は自分の子どもを自分で育てるのが当たり前で、社会的評価を求めてできるものではない。 ・育児、介護は親と同居していたもので、親の介護は自分の仕事として思っていたし、自分の子ども達を見ていただいたので、恩返しのつもりでやりました。	女性	60～64歳	夫婦のみ	家事従事者
合併前上越市	(町内会などの地域活動) 表彰まではしなくても、多少の手当ては地域住民の気持ちとして妥当と思う	女性	60～64歳	親と子	家事従事者
合併前上越市	(育児・介護以外の家事) 家庭観での評価意識が重要。	女性	60～64歳	親と子と孫	家事従事者
合併前上越市	(育児) 育児は家族ができる一個の単位で、家族で育てるのが望ましいと思います。	女性	65～69歳	親と子	自営(農業)

【問26】テレビ、新聞、雑誌、インターネット、コンピュータゲームなどでのメディアにおける性・暴力表現について、どのような点で問題があると思いますか。

お住まい	回答	性別	年齢	世帯	職業
柿崎区	殺伐としている番組が多すぎる	女性	60～64歳	親と子と孫	無職

お住まい	回答	性別	年齢	世帯	職業
柿崎区	社会的に影響のあるテレビや広告に携わる者については薬（ヤク）犯罪のように追放すべき。ある方の全裸事件は直ぐに許されたのは何故？芸術性のカケラもなしに。	女性	70歳以上	家族なし	無職
大潟区	犯罪に繋がるようなゲームやインターネットがある	女性	45～49歳	親と子	パートなど
頸城区	何でもかんでも騒ぎすぎ!!。情報を流せばいいなんておかしい。	男性	40～44歳	親と子	自営（工業）
板倉区	女性に対してのみでなく、全般的に暴力や犯罪を助長する。	男性	25～29歳	その他	管理職以外の勤め人
板倉区	企業等の収益向上に向け性的表現が過度になっている。	男性	60～64歳	親と子と孫	自営（農業）
合併前上越市	子どもの育成環境としてよくない。	男性	30～34歳	親と子と孫	管理職以外の勤め人
合併前上越市	男性に対する暴力を助長する（なぜこの選択肢がないのですか？最近、増えていますよ。男性差別ですか？）	男性	40～44歳	-	-
合併前上越市	見えないところで犯罪が増える。働かない人間、精神的に内にこもっている人間の管理、外に出て人に関わる事により犯罪は減ると思う。	女性	40～44歳	その他	管理職以外の勤め人
合併前上越市	男女に関わらず、メディアで冗談の一部としての性表現が、現実でも「何をやってもいい」という錯覚をおこさせ、真剣に悩む人を「空気が読めない」「自意識過剰」と批判する風潮がある。	女性	45～49歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	男子への刷り込み的な表現。「女とはこんな物」	女性	50～54歳	親と子	パートなど
合併前上越市	毎日のように殺人事件がおきているが、テレビ（特に民放）のドラマで殺人事件が多すぎる。どうにかならないかと思う。	女性	50～54歳	親と子	自営（農業）
合併前上越市	報道が過大すぎる。騒ぎ立てすぎる。価値観を押しつけない。	女性	60～64歳	家族なし	その他

【問27】テレビ、新聞、雑誌、インターネット、コンピュータゲームなどでのメディアにおける性・暴力について制限をする場合、どのような方法で制限するのがよいと思いますか。

お住まい	回答	性別	年齢	世帯	職業
浦川原区	情報が溢れている中であって、規制は難しい。情報善悪の判断を出来る教育が必要。	男性	65～69歳	その他	無職
大潟区	有害サイトの規制	女性	45～49歳	親と子	パートなど
頸城区	面白おかしく騒ぎすぎ!!	男性	40～44歳	親と子	自営（工業）
頸城区	道德教育の充実	男性	50～54歳	親と子	経営者など
板倉区	行政が規制するしかない が正解	男性	40～44歳	親と子	管理職以外の勤め人
名立区	子どもの時より学校や地域活動の中で教育を行う社会風土を作る。	男性	55～59歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	規制してもしなくても犯罪の全体的総量は変わらない	男性	35～39歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	家庭にて	男性	50～54歳	夫婦のみ	管理職以外の勤め人
合併前上越市	モラルの向上	男性	50～54歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	無理	男性	50～54歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	倫理、道德教育の充実	男性	60～64歳	夫婦のみ	その他
合併前上越市	書き込みなど、身元を分かるようにする。	女性	20～24歳	その他	管理職以外の勤め人
合併前上越市	子どもの目につきやすい、又子ども向けの本で性的表現が多すぎる。青年誌の子どもをターゲットとした性的表現（ロリコン）も犯罪への推進剤となる分は制限すべき。	女性	35～39歳	親と子	家事従事者
合併前上越市	難しい問題なので市民、有識者、海外の例など議論が必要	女性	40～44歳	親と子	家事従事者
合併前上越市	不特定多数の人々が出入りするコンビニエンスストア・スーパーマーケットなどのトイレ前やマンガ雑誌棚で成人マンガ表紙が当たり前のように人の目にとまるように並べられているのは不快です。	女性	55～59歳	家族なし	パートなど
合併前上越市	欲しくも求めもしない情報が多すぎる。判断力の無い子どもや若者は必要ない。	女性	60～64歳	家族なし	その他
合併前上越市	受け手側のレベルが上がリ、そういうものに興味を示さなくなったり、無視したりするようになるのが理想。喜んで見ている人が大勢いるうちは無理。やはり家庭教育・学校教育だと思う。	女性	70歳以上	家族なし	-

お住まい	回答	性別	年齢	世帯	職業
合併前上越市	メディアの進化についていけない、自己管理できる人間になること・育てること（親、学校、社会）	女性	70歳以上	夫婦のみ	無職

【問28】女性が抱えている悩みを相談するところについて、ご存知の機関を教えてください。

お住まい	回答	性別	年齢	世帯	職業
柿崎区	病院の婦人科の受付に置いてある手引で以前拝見したことがある。	女性	60～64歳	親と子と孫	自営（商業）
合併前上越市	市役所子育て支援課	女性	20～24歳	その他	管理職以外の勤め人
合併前上越市	いのちの電話	女性	70歳以上	親と子	無職

【問31】「男女共同参画社会」を実現するために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。

お住まい	回答	性別	年齢	世帯	職業
柿崎区	子育てや介護中の成人男女に休業中の身分、給与の保障と再復帰の保障を法制化する。職業と経済の保障のない事が「男女共同参画社会」実現を阻害しているのでは。	男性	70歳以上	夫婦のみ	無職
柿崎区	海外の様子や見聞をひろめること。日本人の偏見については学童のホームステイや旅行、留学によって一変される。	女性	70歳以上	家族なし	無職
頸城区	本人の意識が高まらなければ、何をやってもムダ!!	男性	40～44歳	親と子	自営（工業）
合併前上越市	パネルディスカッションなど、意見交換会	男性	30～34歳	親と子と孫	管理職以外の勤め人
合併前上越市	実現しているので、特に行政が行う事はないし、行政が介入する事柄ではない。	男性	35～39歳	親と子	管理職の勤め人
合併前上越市	男女共同参画社会の実現にどちらかといえば賛成できない。	男性	70歳以上	家族なし	その他
合併前上越市	子育ても家庭問題も全て一緒に考えられる環境に	女性	20～24歳	その他	管理職以外の勤め人
合併前上越市	悪い事件はかりをニュースにしない。良いイメージとも前に出す。	女性	40～44歳	その他	管理職以外の勤め人
合併前上越市	人生全般に行き届く配慮（心）が大切にされる構造づくりに力点を！	女性	55～59歳	家族なし	パートなど
合併前上越市	今の働く若い世代の人より、無職（退職者等）の学習機会を細かい地域ごと等で行った方が参加しやすい。	女性	60～64歳	親と子	家事従事者
合併前上越市	男女児の教育は平等に受けさせる。	女性	70歳以上	親と子と孫	無職
合併前上越市	地域推進員の活動をもっと地域において発揮しPRして欲しい。現在では知らない人が多数いると思う。	女性	70歳以上	親と子と孫	その他

【問34】今後、男女共同参画を推進していくためには、どのように取り組んでいけばよいか、ご意見・ご要望・ご提案などご記入ください。

お住まい	回答	性別	年齢	世帯	職業
安塚区	男女共同という名の割には女性側のアンケート内容ばかりである事が疑問である。	男性	40～44歳	その他	管理職以外の勤め人
安塚区	女性の参画意志を高めること	男性	65～69歳	その他	その他
安塚区	明るい希望の持てる上越市にして下さい。山村の雪対策もお願いします。	女性	70歳以上	夫婦のみ	家事従事者
安塚区	年よりの男性1人暮らしがかわいそう。もう少し外へ出て話を聞いた方がいいように思います。	女性	70歳以上	親と子と孫	-
浦川原区	男女平等と云う制度とか教育意識を解消しないと女性が共同参画しにくいと思う。門口を広げないといけないと思う。男性にはないパワーが有るし、能力もはるかに男性と異なる力がある。	男性	70歳以上	親と子と孫	パートなど
浦川原区	ジェンダーとセックスを混同すべきではないと思う。「らしさ」は大切な概念なので消す必要はないと思う。	女性	20～24歳	その他	パートなど
浦川原区	夫婦間で理解し合っても同居老人や近所の老人の昔ながらの固定的な考えが変わらないとむずかしいと思う。嫁のくせにとか、夜家をあける、家事をしない等があると話のタネにされてしまう。	女性	55～59歳	親と子	パートなど

お住まい	回答	性別	年齢	世帯	職業
浦川原区	高齢者へのアンケートとして文字の大きさ、分量、内容の難しさとも不適切と思われる。市の担当者が地域の老人会等の集まりにちょっと顔を出し直接声を聞いていかれるとよい。	女性	70歳以上	親と子	パートなど
大島区	メディアを通じPRの浸透。小さな自治体に女性を役職化させる。	男性	70歳以上	夫婦のみ	無職
牧区	入院費が高すぎます。年をとりお金がかかりすぎるとこまります。	男性	60～64歳	その他	管理職の勤め人
柿崎区	男女平等とは何ですか？男と女が全く同じことをするのが平等ではない。男女には性差がある。個人差もあるが、それぞれが得意なことを成しとげることが大切だ。あくまでも「権利」としての平等をすすめて欲しい。	男性	55～59歳	親と子	自営（農業）
柿崎区	よくわからない	男性	60～64歳	夫婦のみ	管理職以外の勤め人
柿崎区	今迄の社会の慣例から、社会（職場を含む）への女性参加は徐々に向上してきてはいるが、まだまだこれからの面が多いと思います。更に試行錯誤して、社会及び企業への進言を進めて下さい。	男性	60～64歳	夫婦のみ	パートなど
柿崎区	カタカナを使わない。日本語を使う。 男女の雇用を保障する。生活が保障されないで、このような事業を推進するなどんでもないこと。 希望する者、すべて正規職員とする。 「共生まちづくり課」をすみやかに解散し、市民の望むものに取り組んでほしい。市民意識とかなり離れている。税金の無駄遣い。	男性	65～69歳	親と子	無職
柿崎区	男女の平等とはどういうことなのか。そもそも「平等である」とは何がどういう状態になることをいうのか。男女共に生きる。よりよく生きることとか関わらせて固定的、短絡的な考え方にならないよう配慮しながら語り合う、考え合う場を持つ必要が、現今こそ必要。男女の特性に応じた平等とはどうあればよいか、視点を明確にして対処すべきであろう。	男性	70歳以上	夫婦のみ	無職
柿崎区	女性はお産・子育て・介護等、女性は働く場（会社）が制限される。どうしても女性は男性と違い、働けないことが多い。子どもを預る施設の不足。 家事・子育て等、女性の役割が多い。 女性は休むことが多くなる（学校・子どもの成長に連れて）	男性	70歳以上	親と子	パートなど
柿崎区	特にありません。	女性	25～29歳	その他	無職
柿崎区	難しく答のでないものもありました。	女性	60～64歳	親と子	自営（農業）
柿崎区	現に共働き夫婦が多くなっていますが、平等という事をどう解釈するかということが問題だと思います。男女それぞれ自分の考えをしっかりと持っている事だと思います。	女性	60～64歳	親と子と孫	無職
柿崎区	・男女平等観の育成は家庭にあります。家族が円満に暮らす中で、その資質の大半は形成されます。親の親たる教養や、その親の見本があること。従って、核家族よりも3世帯位の同居家族が最適に思われます。 ・学校教育の中で培われるもの、それは男女平等そのものです。進学率も高く、将来の女性の登用や進出は当然のものとなります。国際的にも通用する人材育成については少なくともマイクを向けられたら物おじせず応答できるような自信のある人間づくりを所望します。 ・組織の中で活躍する段階では、自己の確立、企案の作製（単発、命じられたまま）、最も留意すべきは感情的に自我を通そうとすること。時や機会を経て、調整力を練ることが大切に思います。私の反省でもあります。	女性	70歳以上	家族なし	無職
柿崎区	男女共、自立した人材育成が基盤	女性	70歳以上	家族なし	無職
柿崎区	説明文章などもう少し分かりやすい言葉を使い誰でも理解出来るような内容で案内をしてほしいです。それでないとい何を言っているのか、何が言いたいかが分かりません。一生懸命色々な事をされてもなかなか一般の方々には理解されません。	女性	70歳以上	夫婦のみ	無職
柿崎区	高齢者には難しく思います。	女性	70歳以上	親と子	家事従事者

お住まい	回答	性別	年齢	世帯	職業
柿崎区	アンケートはもう少し若い人の意見を取り上げて下さい。私は75歳以上にあてはまります。	女性	70歳以上	親と子	無職
大潟区	市、区の議員、組織他にいつまでも年寄りのおやじがいるのではなく、男女比半々、いろいろな年代の人がいて、いろいろな意見をかわせるようにならないと、いつまでもつまらないしがらみばかりで共同参画につながらないと思います。	男性	30～34歳	親と子	管理職の勤め人
大潟区	男女共同参画に関するPRをもっと各個人に浸透させるようなセミナーなどをもっと行った方が良いと思う。	男性	35～39歳	親と子	パートなど
大潟区	・女性は出産という重要なことを担っている。男女共同参画を真に実のあるものにするためには、そのことを中心に考えなくてはいけないと思います。少子化対策も睨んでのことです。 ・産休・育休制度を拡充、充実させること、子育て支援の充実、職場復帰後の身分保障等を全職場に取り入れさせる施策を講ずることが基本で最重要視しなければならない。 ・教育の場で男女平等の理解を徹底して教え込むカリキュラムの新設（既存の科目の強化）が急務である。 ・性暴力、性犯罪を一掃させるには若年層のうちから教育していく必要があると考えるが、大人に対する啓蒙も本当は必要。昨今あまりにも大人による性からむ事件が多く、危惧している。何とか地域と行政の力で犯罪をなくす方法はないものか。	男性	55～59歳	夫婦のみ	管理職の勤め人
大潟区	原則、国民の意識が変わらなければダメでしょう。法律や規則で上から押し付けてもダメです。変わるには大義名分が必要。経済的な裏付けがあれば変わる。こうすれば得たとなれば変わる。金を出さないで行動を変えるには100年掛けて意識が変わるのを待つしかないでしょう。	男性	60～64歳	夫婦のみ	自営（工業）
大潟区	人間の歴史の中で、男女共同参画でなかった歴史なんてあるのでしょうか。男優先社会というのは本当に男が考え出して作ってきたものなんでしょうか？ケンカに負ける男の子は女子にも馬鹿にされるのが普通だったし、若い頃、女子社員によく見られた意見で「わがままな私をびしっと抑えてくれる頼もしい男がよい」などという話しをよく聞かされたものです。社会や時代をリードする男子たれ！というのが男女を問わず男の理想とされてきたのではないですか。	男性	60～64歳	親と子	自営（商業）
大潟区	男の馬鹿より女の利口。あなた方の回りにもいるでしょう。	男性	70歳以上	親と子	-
大潟区	・保育施設に対して要望します。土曜日の保育時間を17:00から18:00までにして下さい。保育園は働いている人のための施設であり、土曜日も5時まで働いているので、5時には迎えに行けません。（同居していた祖父母は他界）。合併前の大潟町の時は6時まで保育してくれました。 ・いろいろな窓口を広げて女性の負担になる事を行政が補助してくれることを強く望みます。	女性	40～44歳	親と子	管理職以外の勤め人
大潟区	女性にとっては、出産～幼児期に一番ハンデを感じると思います。「子育ては、大切な仕事である」ということの理解を世間に広めるとともに、経済的な心配をせずに集団生活に適応できる年齢まで家庭で保育できるように、そしてその後、前の職場に復帰または再雇用してもらえるような制度、しくみ（男女とも）子育てもしながら仕事も続けていきたい親にとっては、急な欠勤、早退ができるような職場の対応と雰囲気づくりを支援してほしいです。大変なことはわかるのですが、男女が平等になるためには、どうしても必要なのではないかと思います。「子どもは安く（無料で）保育園で預かるので勤めに出なさい。」ではなく、両親がしっかり子育てできる環境を整えてほしいと思います。一定の期間しか子育てできないのですから…。	女性	45～49歳	親と子	パートなど

お住まい	回答	性別	年齢	世帯	職業
大潟区	・男女平等と言うよりは、個々の能力に応じて評価されるべきだと思う。 (男性向き・女性向きの職業があると思うし、どちらでもよいものもある) ・家庭生活での共同意識が高まれば、固定的役割分担も解消される。 ・行政は税制補助より環境整備補助をしてほしい。 (高校無償化はよいと思うが、子ども手当については個々の補助より保育園や企業(職場とのワークバランス)理解支援)	女性	45～49歳	親と子	パートなど
大潟区	最近「男女共同参画」と言う言葉、意味は以前よりは知られていると思います。まず、身近な事から取り組めたらと思います。地域の慣習やしきたりがまだ現実根強いものがあります。平等にとは、とても大きなリスクがあると思いますが、年々改善されてきている部分もみられます。	女性	65～69歳	夫婦のみ	自営(工業)
大潟区	女性は子どもを産むという大役があるので何もかも平等というのは大変むずかしい面がある。それに適性も違うので考えたほうがよいと思う。	女性	70歳以上	家族なし	家事従事者
頸城区	・「男女共同参画社会の推進を図っている所です」とありましたが正直そんな事を行っていること自体知りませんでした。市民はほとんど特に若い人は全く知らないと思います。厳しいようですが、期待はしていません。 ・「市ではこうゆう事を行っています」とまずは市民に知ってもらう方が大切なのは？	男性	25～29歳	その他	管理職以外の勤め人
頸城区	今の社会は男女平等ではない。女性に対するこだわりが高すぎる。男性の方が今は苦しい時代かもしれません。何か大事な事を見落としていませんか？	男性	40～44歳	親と子	自営(工業)
頸城区	今回アンケートを実施して、共同参画に対する知識がほとんどないことを実感しました。各戸配布のテキスト・パンフレット等作成して頂き、市民全体の目に届くような方法で、まずは行っていただけたらと思います。	男性	45～49歳	親と子	管理職以外の勤め人
頸城区	問33にある第1次計画の内容を知らなかったので、同封して頂けたらより正確に答えることができたと思います。	女性	20～24歳	親と子	学生
頸城区	そもそも「男女共同参画」という言葉を全く知らなかった。多分、多くの人が知らないと思う。小冊子でも配ってみては？と思います。	女性	35～39歳	夫婦のみ	家事従事者
頸城区	男女共同にする必要がないと思っているのに強制的に書かされるのはどうなのでしょう。ヒマじゃないのでやめて欲しい。	女性	40～44歳	親と子	無職
頸城区	このようなアンケートを頂いたことで考える機会になりました。すみません、遅くなりました。学校生活では、男女別の名簿が当たり前になっていましたが、今は男女混合の出席簿が当たり前になっていて。部屋を掃除する事が苦手な私は、毎日だんなさんに嫌味を言われています。個人が一人一人自分の身の回りのことをする習慣、自立することが大切になると思います。	女性	40～44歳	その他	パートなど
頸城区	男女平等の労働環境づくり	-	70歳以上	親と子	-
吉川区	男は男の役割。女は女の役割。	男性	55～59歳	親と子	パートなど
吉川区	・「男は仕事中心で家事はしない」という風潮にあるので、男でも家事をするという世の中になってほしい。 ・子どもの健診にパパが積極的に参加するように呼びかけたり...	女性	25～29歳	親と子と孫	管理職の勤め人
吉川区	子どもが熱を出したり病気になった時に子守りを頼める人がいないとか、仕事が休めない場合の子守りを気軽にお願ひできる施設やベビーシッターさんがいると大変ありがたいです。	女性	30～34歳	その他	パートなど

お住まい	回答	性別	年齢	世帯	職業
吉川区	アンケートの内容が多すぎるため、アンケートに最後まで集中できなかった。もっと分かりやすい内容にして焦点を絞った方がよいと思う。私は精神科認定看護師のため情報や内容には興味があり知りたいと思いつつ勉強しているが、一般人には難しいと思いました。もっとPRする。例えば必要な時に情報が入ってこなければ分からないわけで、必要になる時は突然来たりするんですよね（パワハラやセクハラ）。その時に相談してみようと思ってもPRがたまにしかないと分からないですよね。いつでも、情報を発信していくことが大事だと思います。よろしくをお願いします。	女性	40～44歳	その他	管理職以外の勤め人
吉川区	80過ぎの高齢のため良く分かりません。主人もなくなり御期待にそえないと思います。すみません。	女性	70歳以上	親と子	無職
吉川区	女性の立場から出しゃばれば男の人に頭から叩かれる。こんなことのないように。	-	70歳以上	親と子と孫	家事従事者
中郷区	話は聞けど活動など全くよくわからない！もっと市民に報告するべき。一部の人間たちだけでしている様に思う。しかも出席している人は同じ人ばかり。	女性	30～34歳	親と子	パートなど
中郷区	今までこのような計画を実施していたとは知りませんでした。もっとPRしてほしいです。変化したところはどんなのですか。	女性	60～64歳	夫婦のみ	自営（商業）
中郷区	私も82歳ですので、わからない事もありますし、若い人との考えが違っているのであまり書くことはありません。	女性	70歳以上	夫婦のみ	-
板倉区	雇用機会均等法施行以後、均等に応募しているのは表面だけであり、実際は男しかできない仕事に女性を入れる意志は会社には存在しないし、ハローワークにも紹介する意向はないと、職安の担当者から聞きました。こんな事では話になりません。	男性	40～44歳	親と子	管理職以外の勤め人
板倉区	行政側として適当と認める会議には女性委員を半数とか指定して、政策決定に女性の意見を反映させるなどなかなか進んで行かないと思う。	男性	60～64歳	親と子と孫	自営（農業）
板倉区	男女共同参画を推進していくためには、推進センターの強化充実が必要です。そのために行政の一層のバックアップが必要です。（特に地域の総合事務所にもそのための人材の配置と権限を与えてください）	男性	70歳以上	夫婦のみ	無職
板倉区	御主旨には賛同いたしますが、設問の方法に異議がありません。	女性	65～69歳	-	-
板倉区	全文分からないのでお答えしませんがすみません。私は年をとりましたので分かりませんがごめんなさい。皆さん本当にありがとうございました。	-	70歳以上	-	-
清里区	特にございません。	男性	45～49歳	その他	管理職の勤め人
清里区	男女平等の社会はずばらしいと思います。平等という言葉には大変深い意味が有り、大変難しい（実現することが）。お互いの家庭内においてまず男女平等な事をやると言う事が大事で有り実現したい。	男性	55～59歳	夫婦のみ	自営（工業）
清里区	最近特に多い育児放棄やギャクタイは核家族でじいちゃん、ばあちゃんの生活の知恵やら育児を助けてもらってないからの結果でしょう。 県外のある市で行政が結婚を世話してる情報がテレビで放映されてました。いい事だと思いました。上越市にも期待する一人です。	女性	70歳以上	親と子	家事従事者
三和区	行政関連で男女共同参画の言葉が浸透しているようだが一般的にまだまだ言葉じたいが知られていないように思う。	男性	20～24歳	その他	学生
三和区	・性と生殖の観点から100%男女平等はあり得ないのではないのでしょうか？ ・学校等において小学校からの男女平等教育 ・職業生活と家庭生活が両立できる社会環境づくり ・育児・家事部門の固定的役割分担意識の解消の早期環境づくり（低年齢） ・育児・介護等の制度、施設の充実と環境づくりが多くの女性の社会参加の推進と男女共同参画の推進につながり少子化対策につながればと甘く考えております。	男性	70歳以上	親と子	パートなど

お住まい	回答	性別	年齢	世帯	職業
三和区	差別偏見が前提のようなアンケート調査でないか。問16で回答したように、住みよい地域づくりにお互い努力と理解が必要である。	男性	70歳以上	親と子と孫	無職
三和区	解らない。個人的・家庭的・地域的事情が各々あるので、一概に女性不利とは言えない。考えれば考えるほど解らなくなる。	男性	70歳以上	親と子と孫	無職
三和区	この高齢化社会において、男女間の差は学校、会社では少なくなってきたが、高齢層では変化なし。(町内会等で特に感じる。)高齢層むけのとりくみをもっと必要。例(男)子どもに台所で家事の手伝いをさせていたら、祖父が「男の子は台所に入るもんじゃない。」と子どもに注意した。	女性	45～49歳	親と子	パートなど
三和区	男女平等といっても体のづくり、力強さなど違いがあるのだから、平等な仕事は無理があると思います。男らしさ、女らしさを認めてこそ、平等だと私は思います。お互いの得意分野を認めて生活していきたいと思います。幸せは、すべて自分の中にあるのだから、あまり価値、評価という言葉は好きではありません。	女性	55～59歳	親と子	家事従事者
三和区	転んでから留守番してるだけです。自由に歩けないのですみません。	女性	70歳以上	-	無職
名立区	男女共同参画というあたりまえの事をあたり前に実現している社会になるように、行政の立場からいろいろな事をしてもらいたい。	男性	30～34歳	親と子	管理職の勤め人
名立区	就職難の今はとても厳しい事が多いと思います。短時間の仕事に対しても女性が保障されれば安心して子育て、介護もできると思います。	女性	50～54歳	その他	管理職以外の勤め人
合併前上越市	なし	男性	20～24歳	親と子	パートなど
合併前上越市	男市長、女市長といったように男女両方の長をつくり、互いに議論すれば、互いの言い分がよくわかと思う。	男性	20～24歳	その他	学生
合併前上越市	女性の立場を向上したとしても、意識がなければ権利の増長につながると思う。	男性	25～29歳	家族なし	管理職以外の勤め人
合併前上越市	気軽に参加できる場を提供してほしい。(情報も常に得られるシステムの確立を目指してほしい)	男性	25～29歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	・アンケートがむずかしいと思います。 ・男女共同参画がなにかというのが非常にあいまいです。正直メディアでも人によって言ってることが違いますし、少し前とはイメージも変わってきました。わかりにくいです。 ・女性が社会に出ていくことは必要ですが、女性らしさ、男性らしさを否定するのはできないと思います。	男性	25～29歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	女性のことについてしか書かれていませんが。男性と女性は役割が異なり、その役割の違いから男性の方が不利益を被っていることも多々あるかと思っています。質問項目全体に、非常に違和感を感じました。	男性	25～29歳	親と子と孫	無職
合併前上越市	本アンケートにおいて、性について取り上げていたが、児童の教育がおろそかになっている。中学からSEXしているガキが多いこのごろ。しっかりとした性教育を行うべきである。学校でコンドームの使い方やピルなどの教育とSEXの正しい方法を学習させるべきである。日本男児はAVが正しいSEXのやり方と思っている奴が多すぎる。中出ししなかったら子どもはできないと思っている奴ずらいる。生でやる時点で危険であるということ、性病の認識と予防、もっと性教育に時間を使うべきである。	男性	25～29歳	その他	管理職以外の勤め人
合併前上越市	質問が多い!	男性	30～34歳	夫婦のみ	管理職以外の勤め人
合併前上越市	男だとか女だとかこだわりすぎる。今の世の中は昔に比べれば自由だし、個人の考え方、生き方の違いで世間が、政治がうだうだうるさすぎ。人格をもっと育てたほうがいい。親も子をもっと育たないと若い者も(自分も含め)ダメ。人のせいばかりはおかしい。	男性	30～34歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	まずは労働の場と家庭の育児生活が両立できる就業環境の整備を最優先に取り組んで頂きたいです(法律や条例等の制定)	男性	30～34歳	親と子	管理職以外の勤め人

お住まい	回答	性別	年齢	世帯	職業
合併前上越市	・意識改革 市民のやる気+精神的・経済的ゆとり ・共同して参画していく具体的な場面、活動を設ける ・仕事、家庭、地域において、バランスをとりながら皆でつくっていくという活動ができるような環境づくり 市民が参画したくなるような魅力的な街づくり、参画できるような環境づくり、モデルづくり、働きかけが必要なのだと思います。	男性	30～34歳	親と子と孫	管理職以外の勤め人
合併前上越市	何をやっているのかわからない！もっと見えるようにやってもらいたいです！	男性	30～34歳	その他	パートなど
合併前上越市	子どもの頃の教育と、当たり前と思う環境、意識が重要だと思います。	男性	35～39歳	夫婦のみ	管理職以外の勤め人
合併前上越市	学校において名簿が男女混合や、男子も女子も「さん」付け。幼稚園に至るまで「さん」付けとはあきれ果てる次第なり。男女共同は大切だが、行き過ぎというか、馬鹿げた現象も起きている事を認識すべき。田嶋陽子やヒステリーPTAおばさんのような社会にはなってはならない。	男性	35～39歳	親と子	管理職の勤め人
合併前上越市	男女の性差を認めたらうで、男女の役割や社会への参加の仕方を考えた方が良い。むやみに男女を同一化させようとする社会はストレスを生み、不協和音を増やすだけ。行政は見守ればよい。女性が差別を受けて不利であるという事は何も無い。現在の状況を不平等とさわぐのは、何を指している事が理解していないですが、こんごような活動に税金を使うべきではない。現在においても男女はそれぞれの役割を、それぞれが納得して協力して社会に参加していると思います。	男性	35～39歳	親と子	管理職の勤め人
合併前上越市	・ワークシェアリング(雇用の拡大)、労働時間に対する法的規制 ・非正規職員差別の撤廃(ボーナス制度の廃止) ・住みやすい街をつくる(コンパクトシティ、ポロニーヤ式街づくり)	男性	35～39歳	親と子	管理職の勤め人
合併前上越市	何もかも平等というのではなく、男性と女性の違い。男らしさ、女らしさを尊重してなかでの対等な関係を目指すべきではないでしょうか。	男性	35～39歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	性別によって人権に差があるようなことはあってはならないと思いますが、一方で男性・女性は同じではないということは事実であり、あらゆるもの全てを平等とすることはできないのではないかと。	男性	35～39歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	特になし	男性	35～39歳	親と子と孫	管理職以外の勤め人
合併前上越市	アンケートだけではなく、直接足を運んで耳を傾けて欲しい。	男性	35～39歳	その他	管理職以外の勤め人
合併前上越市	男女平等、ジェンダーフリーなどはすべて反対です。男と女は違うと言う認識が必要だと思います。男女平等などと大声を吐いておきながら、社会保障や制度については完全に女性が有利な状況であり、これについて女性は弱いからと言い訳をし、矛盾に気づかない人たちの多い事にうんざりする。女性は損をしていると思い込み過ぎている。性差による役割分担をはっきりさせて、社会を形成していく教育をすべきだと思う。女性に肉体労働は厳しい訳だし、やはり職業における差は仕方のない事だと思う。だから男は結婚するのが嫌になる訳も当然だと思う。	男性	40～44歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	アンケート自体が女性側を良くする方法への質問にかたよっているのでは何をもって共同参画なのか。女性を援護しすぎているのでは。もっと平等にしてもらいたい。	男性	40～44歳	-	パートなど
合併前上越市	女性の男性化が著しく、良い意味での女性らしさが失われています。男女平等には賛同しますが、本来の男らしさ・女らしさを見失わないようお願いします。離婚や不仲の原因は、女性の男性化にも大きな要因があることをご理解下さい。	男性	40～44歳	-	-
合併前上越市	女性自身の能力不足が言えると思う。男性より女性だからという社会概念は絶対に消えない!!そこが問題であり、その部分をごまかし続ける事はできない。適材適所で女性の価値観も含めて、共同参画を推進していく方法しかないと思う。10年後の女性に期待する。	男性	45～49歳	親と子	管理職の勤め人

お住まい	回答	性別	年齢	世帯	職業
合併前上越市	太古の昔より男女は共同で社会を形成してきたと思います。この施策が、男女が共同で参画していないということを前提としているならば、それは違うと思います。	男性	45～49歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	男女共同参画という言葉は知っていても、基本条例や基本計画などは全く知りません。もっと広く知ってもらう工夫が必要ですし、知ろうとする側の意識も変えなくてはならないと思う。そういう意味では今回のアンケートは良かったと思う。	男性	45～49歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	特になし	男性	45～49歳	その他	自営(工業)
合併前上越市	わからない(必要なのか)	男性	50～54歳	夫婦のみ	管理職以外の勤め人
合併前上越市	職場での環境を整備し、行政指導・条例等でより男女平等な社会活動生活が出来るよう規制・指導を行ってほしい。	男性	50～54歳	親と子	管理職の勤め人
合併前上越市	男女の質的差はよく理解した上で進めていくべきである。	男性	50～54歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	・男女平等の視点に立った社会制度、慣行の見直し ・労働の場における男女平等の理解の考え方を見直し	男性	50～54歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	良いにつけ悪いにつけ、男と女は違います。100%の公平・平等は無理だと思います。どこでバランスさせるかでしょう。	男性	50～54歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	せっかくモニター(アンケート)になっているので、回答用紙に記入するだけでなく、可能であれば男女が集まって意見交換するのもよいかと思います。年齢を問わずに!!	男性	50～54歳	その他	無職
合併前上越市	男女共同参画には反対です。本来、政治や社会、企業内において、制度による役職決定などあっていいはずがありません。能力に見合った形で決められ組織化されることが望ましいと考えます。選択の自由の中で、政治家或いは政権党は生まれるではないですか。そんな中でも選択を誤れば、結果は国民、市民に返ってくる。それが政治に限らずあらゆる場面で制度化された中でポストが決定されるようになれば、どんな未来が想像されるでしょうか。間違えないで欲しいのは、女性が高いポストに就くことに反対をしているのではありません。自由が保障された中で選ばれた女性総理大臣はほとんどの人達が認めるでしょう。	男性	50～54歳	-	-
合併前上越市	継続的な取組を希望します。	男性	55～59歳	夫婦のみ	管理職の勤め人
合併前上越市	・職場や社会での地位より、子ども達を立派に育てることをもっと評価すべきと思う。女性は出産、授乳というハンデがあるから、もっと支援すべきです。充分ではないが子育て支援は一步前進かな。公務員、大手企業等一部を除けば、育児休暇等長い期間のブランクの後、元の職場に戻るのは困難だから、せめて子育て期間中の援助と、その後の仕事に多いパート、臨時社員等も同一職種、同一賃金となればいいのではないかと思います。 ・表現の自由、言論の自由の名のもと、ヌードや性描写、暴力シーンが氾濫している。良心や自主規制では歯止めにならず一定の規制が必要。また、一部の女性に過度の露出や、性風俗や売春等の職に自ら就く人も見られ、それが女性全体の意識とみられることになりかねないので、社会全体での取り組みが必要。「猫の前に鯉節をぶら下げて取るな」はかなり厳しい。	男性	55～59歳	夫婦のみ	管理職以外の勤め人
合併前上越市	男性が仕事のみの生活から解放され、家事もできるような時間的ゆとりが必要だと思います。時間外労働の短縮が必要です。男女共同参画の理論ももちろん大事だが、より大事なのは、実践です。男性の家事の実態を把握することが必要だと思います。	男性	55～59歳	その他	管理職の勤め人
合併前上越市	広報等に話題と共に記事を載せる。	男性	60～64歳	親と子	パートなど
合併前上越市	男女共同参画と決めつけず、協調性をもたせる事。	男性	60～64歳	親と子	無職
合併前上越市	この問題は一口には言えない、非常に難しい問題であり、機会をみて各人らにPRやCRするしかないと思います。	男性	60～64歳	親と子と孫	無職

お住まい	回答	性別	年齢	世帯	職業
合併前上越市	男女共同参画の言葉の中にあまり表現されない点が最近よく聞かれる中で、場面によっては男性が男だからというだけで身を切られる思いをした人もいる。色々難しい点が多い。又、女性にしか出来ない事、男性にしか出来ない事、これも重要と考えていかないと、平等の言葉に隠されてしまう。科学が進歩して女性は希望すれば、場合によっては妊娠が可能になって来ている。言葉としては不適切とは思いますが、女性、男性の本来の能力の教育又は男女の一生のプロセスがないがしろになって社会が動いているように思う。教育の場で道徳教育が行われているのか、家庭の中でも同じと思う。	男性	60～64歳	その他	管理職以外の勤め人
合併前上越市	女性の立場はかなり改善され強い女性が増えた（自分の意見を言う）ように思われる。男性も並行して改善していくべきではないか...!!それが望ましい事だ。	男性	65～69歳	夫婦のみ	パートなど
合併前上越市	男性の役割が低下している。こうした社会では男女平等より女性中心にならざるを得ない。	男性	65～69歳	夫婦のみ	無職
合併前上越市	若い年齢の男女の皆さんに無差別アンケートをすることによって、又男女共同参画をよく理解して頂く広報等でPRすることで輪を広げることになると思う。	男性	65～69歳	夫婦のみ	その他
合併前上越市	学校教育のあり方を改善、教員のレベルアップ	男性	65～69歳	親と子と孫	経営者など
合併前上越市	分かり易い簡略チラシを広報配布時を利用し、年に数回配布し、啓蒙を強化したと思います。（継続は力なり）	男性	65～69歳	親と子と孫	無職
合併前上越市	・ハンディある女性という面が強く、女性の人権確保が前に出すぎ、肝心な男性がむしろ老いていかれているのではないかと。 ・現在表に出ている女性が一般女性の代表とは思えない。 ・登用はあくまで能力と適正の問題であろう。	男性	65～69歳	親と子と孫	無職
合併前上越市	市、町内が男女共同参画を進めない限りダメで、遅れている町内ではまだまだ男性と云う意識がある限りダメだ。町内の役員から女性登用をするべきだ。	男性	65～69歳	親と子と孫	-
合併前上越市	小学校時代より基礎的教育から育てる事。高齢化の進む中、介護の支援など環境の整備が必要と思う。	男性	70歳以上	家族なし	無職
合併前上越市	男女共同参画をどしらかといえは賛成ではありませんので、（問33）と（問34）は印をつけません。	男性	70歳以上	家族なし	その他
合併前上越市	アンケートの内容が難しすぎて、とてもつかれる。これでは良いアンケートがとれない（何でもよいから適当に.....と言うようなことになりがち）。	男性	70歳以上	夫婦のみ	自営（農業）
合併前上越市	男、女。性の特性を常に尊重していくことを基本に...	男性	70歳以上	夫婦のみ	無職
合併前上越市	なし	男性	70歳以上	夫婦のみ	無職
合併前上越市	市広報等、重点的、見易く、メリハリのつく、簡潔に。それぞれじっくり読む暇のない - 編集者の意図に反して - 方々が多い 興味をそそるような工夫・アイデアを加えて。 - 周知する目的を第1に。	男性	70歳以上	夫婦のみ	無職
合併前上越市	職業生活と家庭生活の両立及び均等な機会と待遇の確保こそ、男女平等の基本である。	男性	70歳以上	夫婦のみ	無職
合併前上越市	男性の実践の行動力と、女性の細やかな配慮の自然な融合とコントロールが相互に組み合わされてゆく心掛けが必要と考える。	男性	70歳以上	夫婦のみ	その他
合併前上越市	はずかしいことですが知らないことがたくさんありました。男性女性それぞれ特性があるのにそれを生かす考え方が入っていないのはなぜ？何もかも平等にするのが良い事とは言えない。体力、特殊技能、子育てで得た経験、オーラの持つ魅力など、個性を無視している。	男性	70歳以上	夫婦のみ	-
合併前上越市	日常的に常に考えていないので、提案などは思いつかない。	男性	70歳以上	親と子	経営者など
合併前上越市	男女共学の経験なし	男性	70歳以上	親と子	無職

お住まい	回答	性別	年齢	世帯	職業
合併前上越市	このアンケートについて意見をのべます。 1. 「～した経験がありますか？」という設問は、どの位の時間のスパンで答えるのが明確でない。社会は急速に進歩変化しており、10年前、5年前の問題は、ここ数年で解決されてきています。10年前に「ある」という問が2.3年のスパンで答えれば「ない」となります。 2. 市役所その他から時折アンケートがありますが、集計した結果が公表されていますか。公費を使った調査（アンケート）は公表されるべきだと思います。私の記憶では、結果が送られてきたのは1.2回だけです。	男性	70歳以上	-	無職
合併前上越市	上越市でお見合いパーティー（皆が参加できるイベントなど）を行うともっと男女が仲良くなると思う。 男女の育児休暇をもう一度見直した方がいいと思った。	女性	20～24歳	親と子と孫	パートなど
合併前上越市	男女共同参画はとても重要な課題だと思います。平等社会と言ってもまだ完全ではないのが現状です。特に子育てをしながら仕事をするの大変さは日々実感しています。1人でも多くのママやパパが子育てをしながら生活しやすい環境を整えてください。また、それに伴い子ども達の人権についても考えてください。モンスターペアレントによってモンスターになってしまった子どもが多く見受けられます。親から暴力を受けた子どもは愛情を求めています。1人でも多くの声に耳を傾けて下さい。切ない事件を増やさない為にも、みんなに明るい未来がまっているように力を貸してください。お願いします。	女性	20～24歳	その他	管理職以外の勤め人
合併前上越市	男女は基本的に違うものなので、全てにおいて平等というのは難しいと思う。もともと差があるのだから、それを踏まえたくらうで支え合えるようなシステムがあればよいと思う。	女性	25～29歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	なぜ女性ばかりが子育てで仕事を辞めたり、仕事を続けても具合が悪くなれば母親が休みを取るのが当たり前なんだろう。上越市もいろいろ取り組んでいるのだろうが、もっと女性が結婚後も働ける環境、設備を整えてほしいし、年配の人にも昔の考えを変えるよう、セミナーとかをしてほしい（任意じゃなく）。私も早く前のように働きたいが、現実無理なのが悲しい。	女性	25～29歳	親と子	家事従事者
合併前上越市	子育て中の女性や介護などで自分の時間をもてない女性が多い。ファミリーヘルプ保育園や市営の病児保育室、気軽に利用できる単発のデイサービス施設など、現実の生活にすぐに役立つ行政の支援が必要。講演会やPR活動よりも、即効性のある施策に期待します。	女性	30～34歳	夫婦のみ	管理職以外の勤め人
合併前上越市	ひとりひとりが家事（お茶くみ、掃除、手軽な食事作り）で簡単なものをできるようにしておくこと。いわば生活力をつけて基本的な生活ができるように自立を含めた視点でみていけばおのずと男女平等、仕事と家庭のバランスもとれていくと思う。小学生へ調査指導のボランティアをしています。料理ができない子が多いです。料理の前に包丁を握った事のない子や、調理中に出る野菜くずを触れない子もいます。	女性	30～34歳	夫婦のみ	家事従事者
合併前上越市	・問19について、女性は結婚し、子どもを持つことが前提の質問にムカつきます。子どもを望めない女性に対する配慮がない!! ・男女共同参画についてのアンケートといいながらほとんど「女性」の扱いについてしか質問していない。これでは男女平等とはとてもいえない!! ・女性が冷遇されているという考え方は違うと思う。男性の方が不当に優遇されすぎているだけだ。女性の地位を上げるのではなく、男性側を女性と同等に扱うべきだ。そうすれば男性も女性の扱いがひどいものだったことが実感できるだろう。	女性	30～34歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	働いていても子どもを育てやすい環境を充実させて下さい（病児保育等）。産休、育休を取得しても不利にならないように企業にしっかり指導してほしい。	女性	30～34歳	親と子	管理職以外の勤め人

お住まい	回答	性別	年齢	世帯	職業
合併前上越市	・平等と言いながらも、意識の中で女性は家庭に入り家事・子育てををするというものが入っている。 ・若い人の中でもまだまだ平等という考えはあまりない。 ・社会全体でそういう意識は間違いだということのアピール ・育休（男性の）を取れる会社の表彰など	女性	30～34歳	親と子	パートなど
合併前上越市	上越市は子育て支援などで、とても内容が充実していると思います。今年引越してきたばかりなので、子育てひろばや、市民プラザでの活動はとても助かっています。	女性	30～34歳	親と子	家事従事者
合併前上越市	上越市にて行われている男女共同参画基本計画など知らないの方が多いのではないだろうか？もっと介護されている方や子育て中の方などの声を直接聞き、現況その方々が何を求めているのか、どのような事を整備していく必要があるのかを、拾い上げ現場が求めている事を実践していくべきだと思います。もっと税金を有効に使って頂きたいです。	女性	30～34歳	親と子	無職
合併前上越市	・まず行政機関や企業が多く優秀な女性を採用し、それを国民（市民）に示す事から始めないと、特に年配の方々はなかなか理解できないと思います。（年配の方々の（考え方）影響は大きいと思うので...） ・保育園の料金がなくて、パートだと収入とほとんど同じになってしまうので、なかなか積極的に働きに出られないケースがある。	女性	35～39歳	夫婦のみ	パートなど
合併前上越市	世の中（社会）全体が、男女共同参画を主張し、完全ではないが大方浸透してきていると思う。財源がない今、市が優先してやらなければならないことは山積みと思う。市民の生活が安定してから議論してもよいのではないかと。安定した生活が送れなければ、机上の空論にすぎないのではないのでしょうか。	女性	35～39歳	夫婦のみ	家事従事者
合併前上越市	男女共同参画という名前からして難しい。実際の取り組みも知らず。誰もが分かり易いTV等のメディアを使い、気軽に参加できるような場を設けて欲しい。	女性	35～39歳	親と子	パートなど
合併前上越市	女性側も男性を尊敬して、甘えをなくすように気持ちを変えていかないと...。子育て中は仕事に限りがあり、社会全体でワーキングシェアできるとよい。みんなで少しずつ働けるとよい。（少ない収入でもあるとないは大違い）。男性（世帯主）の仕事の負担が減らないと家事、育児参加はなかなか難しいと思う。	女性	35～39歳	親と子	家事従事者
合併前上越市	子を持つ親として、性的犯罪を根絶していく地域づくりを願う。力なき子どもや女性をねらう男性が起こす犯罪に、一番の憤りを感じる。本（雑誌やマンガ、アニメ）やメディアを通して、弱者をいたぶり性的興奮を得て、バーチャルではあきたらず、現実に行動する人を育成する様な社会を嘆かわしく思う。こういった媒体は規制すべき。又、インターネットで何にでも簡単に情報が入る時代は、不幸だ。知る事がイコール幸せとは限らない。簡単に手に入るモノは簡単に壊してしまう。自由は何でも与えていいモノではない。今はモラルについて、考える時だと思う。	女性	35～39歳	親と子	家事従事者
合併前上越市	仕事を探したいが、保育園等に入っていないと仕事に就けない。保育園に入りたいが、仕事をしていないと入れない。矛盾しているような気がする。	女性	35～39歳	親と子	無職
合併前上越市	女性を重要なポジションに登用しても、男性社会の悪しき因習（女なんて...）によって潰されたり、精神的にダメージを受ける場合があるかと思うので、男性側への啓発が必要になってくると思う。情報等で。 育児休暇を男性側は取りにくい環境にあると思うので、職場の法的整備や理解が必要だと思う。育休や介護休暇を取得しても所得保障があれば、やれ男が休む、やれ女が休むとか、それ程気にならなくなると思う。	女性	40～44歳	夫婦のみ	パートなど

お住まい	回答	性別	年齢	世帯	職業
合併前上越市	・管理職の考え方一つで、子どものための休み（式典、授業参観、PTAなど）が取りやすくなったり、そうでなくなったりする。そういったことに振り回されない社会にしたい。 ・働く女性のために、子どもを預かる場の整備は進んでいるが、子どもの立場での議論が足りないと思う。子どもの世話は、やはり両親ですべきで、保育士がするものではないと思う。ある程度大きくなってから、再就職できる、復帰できるように、社会制度を整えるべきだと思う。	女性	40～44歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	一般の人が入りやすい、やさしい楽しい雰囲気を持つと同時に問題解決型の物や意識の高い人を育成するなど2面性に取り組む。共生まちづくり課に属するので地域という視野に立ち地域組織と協働をしていく。又は、通常、一般の正社員の人が入り込むのは就労時間に縛られて困難な為、アンパイドワークの評価をあげ就労についてない人（離職者、シニア、ニート、フリーター）の力を活用しながら推進する。	女性	40～44歳	親と子	家事従事者
合併前上越市	今は男性の保育士や看護師などもおられ若い人たちには、男だから、女だから、という意識は薄いのではないのでしょうか。もちろんDV等の暴力や労働環境の整備は必要ですが、それは女性に限らず、暴力であれば子ども、ご老人等、力の弱い人など全ての方が対象ですし、労働環境の整備であれば全ての働く人が対象です。「男女共同参画」という言葉に違和感があります。人権を守る基本計画、健康を守る基本計画...等、様々な基本計画があるのかと思います。その中にそれぞれ女性の人権や女性の健康についての項目を入れたのではダメなのですか？わざわざ「女性の...」みたいな計画は、逆に男女共同参画でないように感じるのは私だけでしょうか。	女性	40～44歳	親と子と孫	自営（農業）
合併前上越市	日本の文化、男性女性の身体の違い、気持ちの違いですべてが同じというのは難しい。個人の考えが大事で、男性の良いところ、女性の良いところを理解し、男女関係なく尊重しあえるのが望ましいです。「男女共同参画」という言葉を強調しなくても、良い世の中であればと思います。悪い犯罪など前に出さず、明るい世の中や、人と思い、人と関わる事で、気持ちは暖かく変わっていかないかと思います。漠然とした回答ですが...。男女ではなく「人」だと思います。会社も世の中も男性・女性関係なく、前へ上へと進める強さが欲しいです。	女性	40～44歳	その他	管理職以外の勤め人
合併前上越市	男尊女卑世代が第一線からいなくなる限り、無理なことだと思います。そういう考えにシフトするのは有り得ない。特にこのような地方だと、よけいだと思います。	女性	40～44歳	その他	管理職以外の勤め人
合併前上越市	女性の意見を実行して、成果をあげていただきたいです。	女性	45～49歳	夫婦のみ	パートなど
合併前上越市	このアンケートは世帯主の名前でできましたが、きっと他の家庭でも妻（女の方）がつけられることが多いと思います。本当に考えるのであるなら一人一人個人名にして別々にアンケートに答えるようにした方がいいと思います。男性の方の意識を高めることがまず一歩かも...	女性	45～49歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	男と女は平等であるが、男と女は根本的に違うものだと思います。画一的に例えば、同数を雇用するということではなく、役割に応じた人員配置をすべきだと思います。育児休暇等を男性が取れることも知っていますか。現実には、男（正規の職員でも）が一定期間仕事を休みまた復職するという体制がありません。自分の担当の仕事が残されたり、周囲に迷惑をかけるなど休めない状況です。同じように正規職員として夫婦が働いている場合、例えば子どもの急な発熱といった場合に、休みを取るの女性というのが現状だと思います。	女性	45～49歳	親と子	管理職以外の勤め人

お住まい	回答	性別	年齢	世帯	職業
合併前上越市	<p>・H14年～今までの取り組みの成果、実行されたこと、実行された事業などを紹介してほしいです（今までに紹介があったのかもしれませんが）。</p> <p>・保育園に病気の子どもをあずかってもらうことはできません。塚田こども医院の塚田先生が行ってくださっている病児保育室はとっても助かりました。働く者にとってこのような施設は不可欠です。なかなか行政の支援がうけられず、ボランティアでやってくださっていたことご存知でしょうか！！</p> <p>・男女ともにサービス残業などが行われている実態を制度で変えてほしいと思います。勤務時間は絵にかいたモチで、本気でサービス残業を強いられている現実があります。例えば学校現場も勤務時間が短くなっているのに（H20年度よりH21年度は15分短縮されている）サービス残業時間が長くなっています。</p>	女性	45～49歳	親と子	管理職以外の勤め人
合併前上越市	よく分かりませんが、男というだけで給料（条件）が良かったり年齢制限（再就職の場合）が少なかったりします。女性でも結婚・出産後も仕事を続けたいと思うような条件等があればうれしいです。社会だけでなく、皆の意識も変わらなければ無理でしょう。	女性	45～49歳	親と子	パートなど
合併前上越市	家庭の事を誰かがしてくれるから仕事ができる。男性の場合、女性が家庭を受け持つことで仕事ができる。女性の場合は、仕事から帰っても自分でしなければならないのが現状である。まだまだ会社でも社会でも、それが当たり前のところがある。町内会でも会長、副会長と男性が中心であり、家事と共にできないと思う。また、役員になることを男性は誇りに思っている。女性がなればでしゃばりと思われる。女性に対する意識の改革が必要である。	女性	45～49歳	親と子と孫	管理職以外の勤め人
合併前上越市	幾度となく説明や呼びかけをされてきているのだろうが、ほとんどの人が何だかわからぬまま、市の事務的な計画の一つですぎている様。それをすることで「どーなるの？」という感じ。ということは今まで何かしらしてきても変わりなく、困る人は一部という具合で、税金がもったいない。	女性	45～49歳	その他	パートなど
合併前上越市	女性同士の中で「女のくせに」という意識、老人が女性の社会進出を妨げる意識。 - 特に職場における年長者の女性は「子ども」、「旦那」、「年寄」をほったらかして働く女性を嫌悪している - があるため、イジメや嫌がらせがあり働きづらいこともある。本人は全てクリアしてからの社会復帰のため、女性は皆そうすべきだと信じているから。その意識改革。	女性	50～54歳	親と子	パートなど
合併前上越市	就活（中、高、大卒時）はいつも「この国は自転車の片輪のみ（女性は確か手すり程度）で進もうとして世界の全輪活躍国と肩を並べて行けるのかな？」と思ってきましたから、そのような曲芸走行を続ける危険・不便を脱して全輪滑走のりハビリに時を要するとしても区別差別抜きに互いの立場に立って思いやる心有る（共に生きる）社会作りは幼少時からの積み重ねが大切で、互いに感謝しつつ（言い表して）活路を見い出し老若男女皆共に生きて行ける（息が詰まることなく）ように気配りシステム（ルール）作り、（すぐ必要なことと徐々に整備して行くべきことを考えて）やってみませんか？（老々介護の残された方への援助も必要ですが）	女性	55～59歳	家族なし	パートなど
合併前上越市	子育てに関わる機関をもっと充実し、男女共に働きやすい職場にしてほしいと思います。	女性	55～59歳	夫婦のみ	パートなど
合併前上越市	地域で子育てを。放課後クラブ（学校のみ）をもっと拡大して、（こどもの家で）遊ぶ場所のみの提供ではなく、地域の老人力を使って介護も一緒に支援したりされたり（アニマルセラピーみたく、子どもが癒しになるように）理想郷のようなモデルハウスのような物を作ってほしい。実験的に実行されるとよいと思う。個人民間での希望はムリだと思うので、将来を考え、行政で何か指針を。	女性	55～59歳	親と子	家事従事者

お住まい	回答	性別	年齢	世帯	職業
合併前上越市	今まで女性は男性に尽くす事が当たり前のごとくやって来てしまいました。やってしまった私が悪いのですが、やり過ぎはダメにしてしまう事が最近になってようやく気付きました。反省です。	女性	55～59歳	親と子と孫	パートなど
合併前上越市	私は60歳過ぎ。娘時代...結婚後...子育て中...パート勤め...。全てにまだまだ女だから男を立て、一歩下がって内助の功の立場で精一杯生きてきました。現在に至るまでピアノ教室の教える身ですが、女でも存在感はありました。男女平等も良いけど、やはり女性ならではの母性本能や美しさや感性の豊かさは男性にはないものであり、尊いものです。女性は社会活動しながら、結婚、子育ても男性の助けを受けて持続できる世の中を望みます。宇宙ステーションで空に飛んだ山崎さんの姿が理想の女性像です。	女性	60～64歳	家族なし	その他
合併前上越市	個人的にあまり関係のない言葉で、ピンとこない事ばかりでした。	女性	60～64歳	家族なし	-
合併前上越市	人は男女に関係なく能力を伸ばして行く時に周囲が認める事が出来ないのが問題です。能力が低いのに男だから、能力が高いのに女だからで切る。男女ではなく人として認め合う事が大切で有り、男だ女だと意識して接するのではなく人として相対する事が大切ではないかと考えています。	女性	60～64歳	親と子	自営(商業)
合併前上越市	講演会ではなく、勉強会にしてほしい。一方的に講演されても興味を持つ人は少ないと思う。勉強会方式で自分の知りたかった事・知らなかった事とかを分かりやすく事例等で説明を受けた方が将来この男女共同参画に対して意見要望等が生まれてくるかもしれない。	女性	60～64歳	親と子	家事従事者
合併前上越市	どれも全部文字が細かく、私たち老人に関係のない事ばかり。読むのが大変。果たしてこんなアンケートがあなたの方の考えを現在の人達が本当に考えている事かと思うと、細かい文字を読むのに困った次第。こんな数多くアンケートをとっても果たしてどれだけ役に立つ事か?と思います。字を読むのにも苦勞のアンケートどれだけで役に立つか考えて見て下さい。	女性	65～69歳	家族なし	無職
合併前上越市	社会全体で男性・女性の立場を尊重できる生活ができれば、住み良い町になると思います。	女性	65～69歳	親と子	自営(農業)
合併前上越市	上越市ではまず女性の指導者が足りないと思います。市会議員など女性が増えるとよいと思います。地方ではまだまだ女性なんてという偏見があると思います。	女性	65～69歳	親と子	家事従事者
合併前上越市	若い人の事ばかりで老体のことをもっと知って気遣っていただきたい!!老体は生きにくいです。実感してます。毎日皆さん苦しんでいます。	女性	70歳以上	家族なし	無職
合併前上越市	前から要望として出したかったことですが、現在若い人々は働く所がなく困っています。だからもっと市役所自体考え直し、民間では55歳位になるとパートになったり、給料がダウン、賞与はなし、女性は若くても出産で休むと席がなかったりして働く所がありません。まして市役所など公務員は男女問わず給料は一緒だから、55歳すぎたらパートにして、もっと若い男の人が帰って来れるように一人でも多く働けるようにしてほしいです。お願いします。上越市の為に...	女性	70歳以上	家族なし	-
合併前上越市	仰げは尊しの時代に教育を受けた者ですので何も言えません。子どもの教育・子育ては両親の責任...。親の背を見て成長した者として何も言えない。	女性	70歳以上	家族なし	-
合併前上越市	アンケートの内容が難解すぎる。多すぎる。全部まともに読んで回答できる人が何人いるかギモン。少なくとも私は途中でいい加減いやになってテキストに答えました。	女性	70歳以上	家族なし	-
合併前上越市	私には問題がむずかし過ぎてわからなくなりました。	女性	70歳以上	夫婦のみ	自営(農業)
合併前上越市	できるだけ若い方々、30代～40代の方々に参加できる様、計画された方がよいと思います。	女性	70歳以上	夫婦のみ	家事従事者
合併前上越市	女性は職場にでないこと。家庭に入ること。	女性	70歳以上	夫婦のみ	無職
合併前上越市	戦中人間にはちょっと遅すぎます。早く目覚めていれば車にも乗れ、社会に出られたのにと悔やまれます。	女性	70歳以上	夫婦のみ	無職

お住まい	回答	性別	年齢	世帯	職業
合併前上越市	老人なのに選んでもらってありがとうございました。男女もさることながら老人の肩身の狭さを感じます。男だ女だと言わず、老いも若きも男も女も子どもも病人も障害者も低所得者も金持ちもお互い尊重し合って胸張って生き生きの日々が過ごせたらいいなあと思います。ひとりひとりの心身の自立はどうしたら良いかキメ細かいあたたかい施策を望みます。人々も頼るのみでなく勉強しましょう。	女性	70歳以上	夫婦のみ	無職
合併前上越市	男女一人一人の考え方の育成、自立の育成が基本になるかと思えます。要望にお答えできなくて申し訳ございません。	女性	70歳以上	夫婦のみ	-
合併前上越市	推進学習会（問31-8）を毎月公開にすると学習の機会が多くなると思う。	女性	70歳以上	親と子	無職
合併前上越市	男女共同参画推進委員会とはどんなことをされているのか全く知らなかった。この調査を基に、これからは今までの生活と今後の課題に少しでも役立ちたい。男女平等とはいえ、女は社会活動に積極的に参加し、自分の意見をのべ、よりよい地域活動の視野を広げていってほしい。この調査に当たり、勉強になりました。	女性	70歳以上	親と子	無職
合併前上越市	少し書かせていただきます。家庭生活における一人ひとりの自立の推進という内容の件なんですけど、60歳過ぎまして御主人様が亡くなった方と色々お話ししますと、御夫婦健在の方々は「まあ元気を出して頑張ってください」と言うけど、言われた本人様は全然「嬉しい」とか「勇気がでる」気持ちにはなれない方々が沢山います。そこで、女性の健康づくりといいますが、ともかく御主人様が亡くなった方達の集いみたいな会がありましたらと思います。家族がいる人も1人の方も皆様、心になにか不安があると言っています。楽しく元気が出る、勇気が湧くという、そんな取り組みがありましたら良いと思ひ書かせていただきました。	女性	70歳以上	親と子	無職
合併前上越市	もう少しわかりやすく、市民に広報などを通じて知ってほしいです。	女性	70歳以上	親と子と孫	家事従事者
合併前上越市	アンケート調査票をもらいましたが、高齢のため諸行事に参加できません。若い人達の意見を十分お聞きになられ、反省、計画の立案に御努力下さい。十分な記入ができません。	女性	70歳以上	親と子と孫	家事従事者
合併前上越市	男女共同参画も大切な事だと思う。家庭はもちろん職場、町内会等々、個々の受持をしっかりと責任を持つ事、今の世の中、忍耐我慢が薄れている。日本には昔から良い事も沢山有るはず。	女性	70歳以上	親と子と孫	無職
合併前上越市	難しくって私には何を言っているか理解が出来ない事ばかりです。ごめんなさい。	女性	70歳以上	親と子と孫	無職
合併前上越市	現在、私は87歳です。このような難しいことに答えられるはずもないし、一般の人にも難しい質問です。このアンケートに意味も感じませんし、税金の無駄遣いと思えます。職員の人の人件費を考えると、資料を作るために働いているとしか思えません。男女共同参画を考えるなら簡単な質問にしてください。	女性	70歳以上	その他	無職
合併前上越市	不景気のため女性は大変だと思います。女性も何か資格を取って社会へ出て行って活躍して下さい。	-	50～54歳	家族なし	無職
合併前上越市	私は78歳の女性です。子育てで勤めに出たことはありません。今は1人暮らしです。娘は近くで勤めにでています。私とは全く違った答えになると思えます。	-	70歳以上	家族なし	-
-	女性が安心して出産、育児できる環境にしてもらいたい。男女平等よりお互いのできる所できない所を助けあう事で、より良い関係を築き上げる事ができると思う。平等を求めるとできないでいがみ合い、助け合いがなくなる。	男性	25～29歳	家族なし	管理職以外の勤め人

付録

1 男女の地位の平等感

(1) 男女共同参画に関する市民意識調査(無回答を除く)

	平成22年度					平成19年度					平成16年度					平成12年度					平成09年度									
	男性の方が優遇されている	男性の方が非常に優遇されている	平等になっている	女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	男性の方が優遇されている	男性の方が非常に優遇されている	平等になっている	女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	男性の方が優遇されている	男性の方が非常に優遇されている	平等になっている	女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	男性の方が優遇されている	男性の方が非常に優遇されている	平等になっている	女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない						
(1)家庭生活	13.5%	49.6%	26.3%	5.8%	1.3%	3.5%	12.9%	53.0%	24.7%	4.0%	1.0%	4.3%	16.8%	51.2%	20.4%	4.6%	1.1%	5.9%	15.9%	52.3%	22.7%	4.5%	0.9%	3.8%	15.8%	58.7%	18.7%	3.8%	0.9%	2.0%
(2)職場	14.3%	43.4%	25.7%	4.1%	1.1%	11.4%	12.7%	42.0%	27.5%	5.2%	1.1%	11.6%	15.8%	49.2%	22.0%	5.6%	0.9%	6.4%	18.5%	51.2%	16.6%	4.7%	1.0%	8.0%	20.8%	47.9%	16.7%	7.3%	1.0%	6.3%
(3)学校教育の場	2.4%	13.8%	58.9%	3.0%	0.4%	21.5%	1.5%	12.5%	57.1%	3.5%	0.1%	25.3%	3.8%	13.4%	55.5%	3.6%	0.2%	23.4%	3.8%	16.7%	58.8%	3.8%	0.6%	16.3%	4.1%	20.0%	58.3%	3.2%	0.6%	13.7%
(4)地域社会	14.5%	40.4%	30.4%	5.5%	1.0%	8.3%	12.9%	43.6%	27.9%	4.1%	0.5%	10.9%	14.8%	44.7%	24.2%	3.9%	0.6%	11.8%												
(5)政治の場	21.2%	44.1%	22.2%	1.8%	0.0%	10.7%	21.3%	44.9%	19.5%	1.4%	0.3%	12.7%	28.2%	43.9%	15.8%	1.9%	0.2%	10.0%	32.6%	40.7%	14.7%	1.6%	0.1%	10.2%	30.6%	42.6%	17.5%	1.0%	0.0%	8.4%
(6)法律や制度の上で	8.7%	31.1%	41.1%	6.5%	0.9%	11.7%	9.7%	29.9%	37.2%	5.9%	1.1%	16.3%	14.1%	31.3%	37.1%	5.5%	1.1%	10.9%	12.2%	34.6%	35.8%	5.1%	0.8%	11.5%	11.3%	37.0%	35.6%	5.8%	0.5%	9.8%
(7)社会通念・習慣・しきたりなどで	20.1%	56.3%	14.4%	2.3%	0.7%	6.3%	20.2%	57.2%	12.7%	2.3%	0.3%	7.4%	26.7%	54.0%	9.2%	3.0%	0.0%	7.1%	26.5%	56.0%	8.1%	2.3%	0.3%	6.7%	30.5%	56.9%	6.8%	1.7%	0.4%	3.6%
平均	13.5%	39.8%	31.3%	4.1%	0.8%	10.5%	13.0%	40.4%	29.5%	3.8%	0.6%	12.6%	17.2%	41.1%	26.3%	4.0%	0.6%	10.8%	18.2%	41.9%	26.1%	3.7%	0.6%	9.4%	18.8%	43.9%	25.6%	3.8%	0.6%	7.3%
社会全体で	10.0%	59.1%	17.4%	4.5%	0.7%	8.3%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

出典：男女共同参画に関する市民意識調査(上越市共生まちづくり課)

(2) 男女共同参画社会に関する世論調査

	平成21年度					平成16年度					平成14年度					平成12年度					平成07年度					平成04年度										
	男性の方が優遇されている	男性の方が非常に優遇されている	平等になっている	女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	男性の方が優遇されている	男性の方が非常に優遇されている	平等になっている	女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	男性の方が優遇されている	男性の方が非常に優遇されている	平等になっている	女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	男性の方が優遇されている	男性の方が非常に優遇されている	平等になっている	女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない												
(1)家庭生活	7.8%	38.7%	43.1%	6.7%	1.7%	1.9%	10.8%	38.5%	39.9%	6.7%	1.4%	2.6%	11.5%	38.7%	40.4%	5.1%	1.0%	3.3%	10.5%	40.2%	39.7%	5.4%	1.0%	3.1%	11.0%	42.6%	39.0%	4.0%	0.9%	2.5%	13.3%	43.6%	35.2%	4.7%	0.6%	2.7%
(2)職場	15.6%	46.5%	24.4%	4.4%	0.9%	8.1%	16.7%	42.7%	25.0%	3.7%	0.5%	11.3%	18.0%	41.0%	25.9%	2.8%	0.3%	12.0%	16.4%	44.3%	24.5%	3.0%	0.3%	11.4%	17.3%	42.0%	25.2%	3.1%	0.5%	11.9%	17.2%	42.9%	21.9%	3.5%	0.5%	14.0%
(3)学校教育の場	1.9%	12.0%	68.1%	3.9%	0.9%	13.1%	2.6%	11.4%	66.8%	3.1%	0.4%	16.0%	2.8%	11.8%	63.1%	3.1%	0.5%	18.8%	2.5%	12.3%	63.9%	3.4%	0.4%	17.5%	1.7%	11.3%	65.2%	3.0%	0.5%	18.3%	2.6%	12.7%	60.6%	4.3%	0.6%	19.1%
(4)自治会やNPOなどの地域活動の場	6.5%	28.2%	51.0%	6.4%	0.6%	7.3%																														
(5)政治の場	23.7%	48.1%	21.0%	1.9%	0.3%	5.1%	30.9%	41.0%	19.7%	1.1%	0.2%	7.1%	30.2%	42.2%	18.8%	1.8%	0.3%	6.6%	29.2%	42.8%	19.0%	0.9%	0.2%	7.9%	22.7%	44.4%	22.4%	1.5%	0.0%	9.0%	37.9%	40.1%	13.1%	1.0%	0.2%	7.7%
(6)法律や制度の上で	7.8%	33.5%	44.4%	6.5%	0.9%	6.9%	11.7%	34.4%	39.3%	4.3%	0.8%	9.5%	13.0%	35.4%	36.0%	4.1%	0.6%	10.9%	11.8%	36.3%	38.6%	2.6%	0.3%	10.4%	9.2%	35.2%	40.4%	2.7%	0.3%	12.1%	14.0%	34.5%	38.5%	2.1%	0.3%	10.5%
(7)社会通念・習慣・しきたりなどで	18.7%	53.2%	20.6%	3.4%	0.5%	3.6%	24.1%	50.6%	17.2%	2.9%	0.3%	4.8%	22.7%	50.5%	18.4%	2.4%	0.6%	5.4%	23.8%	52.8%	15.8%	2.5%	0.4%	4.7%	21.5%	55.5%	15.6%	2.0%	0.3%	5.0%	24.8%	51.7%	15.3%	2.7%	0.4%	5.1%
平均	11.7%	37.2%	38.9%	4.7%	0.8%	6.6%	16.1%	36.4%	34.7%	3.6%	0.6%	8.6%	16.4%	36.6%	33.8%	3.2%	0.6%	9.5%	15.7%	38.1%	33.6%	3.0%	0.4%	9.2%	13.9%	38.5%	34.6%	2.7%	0.4%	9.8%	18.3%	37.6%	30.8%	3.1%	0.4%	9.9%
社会全体で	9.7%	61.9%	23.2%	3.4%	0.3%	1.6%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

出典：男女共同参画社会に関する世論調査(内閣府大臣官房政府広報室)

2 アンケート調査表

問1 あなたは、どちらにお住まいですか。

1 安塚区	2 浦川原区	3 大島区	4 牧区	5 柿崎区	6 大潟区	7 頸城区
8 吉川区	9 中郷区	10 板倉区	11 清里区	12 三和区	13 名立区	14 合併前上越市

問2 あなたの性別をお知らせください。

1 男性	2 女性
------	------

問3 あなたの年齢は何歳代ですか。

1 20～24歳	2 25～29歳	3 30～34歳	4 35～39歳	5 40～44歳	6 45～49歳
7 50～54歳	8 55～59歳	9 60～64歳	10 65～69歳	11 70歳以上	

問4 あなたは結婚していらっしゃいますか。

1 結婚している	2 結婚していないがパートナーと暮らしている	3 離別	4 死別	5 未婚
----------	------------------------	------	------	------

問5 あなたに、お子さんはいらっしゃいますか。

1 いる	2 いない
------	-------

問6 現在同居しているご家族の構成について一つだけ をつけてください。

1 同居家族はいない	2 夫婦のみ	3 親と子	4 親と子と孫	5 その他
------------	--------	-------	---------	-------

問7 あなたの平日の生活時間についてお聞きします。それぞれ平均した時間をお書き下さい。(日曜・休日などは含めずにお考えください。合計が24時間に満たなくても結構です。)

1 家事・育児・介護などの時間	平均 () 時間 () 分	2 収入を得る仕事の時間 (通勤時間含む)	平均 () 時間 () 分
3 睡眠時間	平均 () 時間 () 分	4 自由に使える時間	平均 () 時間 () 分

問8 あなたは、次のような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。1～8のそれぞれについて、一つだけ をつけてください。

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
1 家庭生活	1	2	3	4	5	6
2 職場	1	2	3	4	5	6
3 学校教育の場	1	2	3	4	5	6
4 政治の場	1	2	3	4	5	6
5 法律や制度上で	1	2	3	4	5	6
6 社会通念・習慣・しきたり等で	1	2	3	4	5	6
7 町内会等の地域活動の場	1	2	3	4	5	6
8 社会全体で	1	2	3	4	5	6

問9 結婚、家庭等について、あなたのご意見をお聞きします。1～4までのそれぞれについて、一つだけ をつけてください。

	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない
1 結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい	1	2	3	4	5
2 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである	1	2	3	4	5
3 結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない	1	2	3	4	5
4 結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい	1	2	3	4	5

問10 家庭での夫婦の役割分担について、1～6のうちあなたが望ましい姿だと考えるものを一つ選び「理想」欄に をつけてください。また、あなたが実際に経験した状況に最も近いものを一つ選び「現実」欄に をつけてください。(現実欄は結婚(事実婚を含む)している方のみお答えください。)

	理想	現実
1 夫は主に仕事をし、妻が主に家事等をする		
2 妻は主に仕事をし、夫が主に家事等をする		
3 夫も妻も仕事をし、妻が主に家事等をする		
4 夫も妻も仕事をし、夫が主に家事等をする		
5 夫も妻も仕事をし、共に家事等をする		
6 その他(具体的に:)		

問11 結婚(事実婚を含む)している方にお聞きします。あなたのご家庭では次のような家事を男性は分担していますか。1～6までのそれぞれについて、一つだけ をつけてください。

	分担している	分担していない		分担している	分担していない	該当なし
1 掃除	1	2	4 食後の後片付け、食器洗い	1	2	
2 洗濯	1	2	5 子育て	1	2	3
3 食事のしたく	1	2	6 介護	1	2	3

問12 あなたが、女性の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことについてでしょうか。あてはまるもの全てに をつけてください。

1 売春・買春	
2 女性の働く風俗営業	
3 家庭内での夫から妻への暴力(心や身体を傷つける暴言や暴力)	
4 職場におけるセクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)	
5 テレビや新聞・雑誌などで、商品とは直接関係がない女性のヌードや水着姿、媚びたポーズ・視線を、内容に関係なく使用した広告など	
6 女性の容ぼうを競うミス・コンテスト	
7 固有名詞と呼ばれず、女性にだけ用いられる言葉(例…「〇〇さんの奥さん」、「〇〇女史」「女医」など)	
8 女性に対する痴漢行為やストーカー(つきまとい行為)	
9 その他(具体的に:)	
10 特になし	

問13 あなたは、次のようなことが夫婦間(事実婚を含む)で行われた場合、それを暴力だと思えますか。あなたの考えに一番近いものを1～7のそれぞれについて、一つだけ をつけてください。

	暴力だと思う	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力にあたるとは思わない
1 平手で打ったり、身体を傷つける可能性のあるもので殴る	1	2	3
2 あなたの交友関係や電話を細かく監視する	1	2	3
3 あなたが大切にしているものを、わざと壊したりすてたりする	1	2	3
4 大声でどなる、馬鹿だグズだ等言葉による中傷や批判など	1	2	3
5 誰のおかげで、お前は食べられると思っているのだと言う	1	2	3
6 相手の言うことや存在を無視する	1	2	3
7 相手が嫌がっているのに、性的な行為を要求する	1	2	3

問14 あなたは、夫婦間(元配偶者や事実婚を含む)で次のような暴力を受けたことがありますか。1～3のそれぞれについて、一つだけ をつけてください。

	何度もあった	1、2度あった	まったくない
1 身体に対する暴行を受けた	1	2	3
2 精神的な嫌がらせや恐怖を感じるような脅迫を受けた	1	2	3
3 性的な行為を強要された	1	2	3

問15 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・付き合い等）」の優先度について、1～8のうちあなたが望ましい姿だと考えるものを一つ選び「理想」欄にをつけてください。また、あなたが実際に経験した状況に最も近いものを一つ選び「現実」欄にをつけてください。

	理想	現実
1 「仕事」を優先		
2 「家庭生活」を優先		
3 「地域・個人の生活」を優先		
4 「仕事」と「家庭生活」を共に優先		
5 「仕事」と「地域・個人の生活」を共に優先		
6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」を共に優先		
7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」を共に優先		
8 わからない		

問16 あなたが、次にあげるような職業や役職において今後女性がもっと増えるほうがよいと思うのはどれですか。あてはまるもの全てにをつけてください。

1 都道府県、市区町村の首長	
2 国家議員、都道府県議会議員、市区町村議会議員	
3 国家公務員、地方公務員の管理職	
4 裁判官、検察官、弁護士	
5 大学教授	
6 国連などの国際機関の管理職	
7 企業の管理職	
8 起業家・経営者	
9 労働組合の幹部	
10 農協の役員	
11 新聞・放送の記者	
12 自治会長、町内会長等	
13 その他（具体的に： _____）	
14 特にない	
15 わからない	

問17 あなたは学校生活の中で、次のようなことを言われたり、経験したことがありますか。あてはまるもの全てにをつけてください。

1 生徒会や学級委員の選出などで、会長・委員長は男子、副会長や書記は女子と役割分担ができていた	
2 進学指導で女子なのだから文系に（男子なのだから理系に）進むようにといわれた	
3 進学指導で女子なのだから短大に（男子なのだから4年制に）進むようにといわれた	
4 共学で、クラスの出席簿が男女で別々になっていた	
5 「女らしく」「男らしく」ふるまうようにいわれた	
6 同じことをして、男子だけ（女子だけ）がとがめられた	
7 その他（具体的に： _____）	
8 特にない	

問18 P T Aや町内会などの地域団体の役員の長に女性が就くことの妨げとなっている主な原因は何だと思えますか。主なもの3つを選んでをつけてください。

1 女性自身が責任ある地位につきたがらないから	
2 女性は家事・育児が忙しく、地域活動に専念できないから	
3 女性は組織活動の経験が少ないから	
4 指導力のある女性が少ないから	
5 女性では相手に軽く見られるから	
6 男性が会長・副会長などでは、みんながついてくるが、女性だつてこないから	
7 男性が会長・副会長などとなるのが社会慣行だから	
8 その他（具体的に： _____）	
9 わからない	

問19 女性が職業を持つことについて、1～7のうちあなたが望ましい姿だと考えるもの一つを選び、「理想」欄に をつけてください。また、あなたの経験や今後の予定、身近な女性で最も近いもの一つを選び、「現実」欄に をつけてください。

	理想	現実
1 女性は職業を持たない		
2 結婚するまでは、職業を持つ		
3 子どもができるまでは、職業を持つ		
4 子どもができて、ずっと職業を持つ		
5 子どもができたなら職業をやめ、育児が終わったら再び職業を持つ		
6 その他（具体的に： _____）		
7 わからない		

問20 男性が育児休暇を取得しづらい(しない)理由として考えられるもの全てに をつけてください。

1 男性ひとりでの育児に不安がある
2 仕事が中断できない
3 職場に理解がない
4 職場に制度がない
5 仕事を休みたくなかった
6 経済面が不安
7 男性も育児休暇を取得できることを知らなかった
8 近所の目が気になる
9 男性が育児休暇を取得する意識がない
10 その他（具体的に： _____）
11 特になし
12 わからない

問21 あなたは現在どのような職業にお就きですか。一つだけ選んで をつけてください。

1 勤め人 (管理職の正規社員・職員)	2 勤め人 (管理職以外の正規社員・職員)	3 勤め人 (臨時・パート・派遣・契約社員等)
4 自営業・家族従事者(農業)	5 自営業・家族従事者(商業)	6 自営業・家族従事者(工業)
7 経営者などの有職者	8 内職	9 家事従事者
10 学生	11 無職	
12 その他（具体的に： _____）		

問22 (問21で「1 勤め人(管理職の正規社員・職員)」、「2 勤め人(管理職以外の正規社員・職員)」とお答えされた方のみお答えください。)

あなたの職場では次のようなことがありますか。1～10までのそれぞれについて、一つだけをつけてください。

	ある	ない
1 募集や採用人数で、女性は男性より不利である	1	2
2 女性が配属されない職種がある	1	2
3 女性は昇進、昇格が遅い、または望めない	1	2
4 女性は同期、同年齢で入社した男性との賃金・昇格の差がある	1	2
5 女性は同じポストの男性より、研修等の教育を受ける機会が少ない。	1	2
6 定年の年齢に男女差がある	1	2
7 女性は結婚すると退職しなくてはならない、または、職場結婚をすると退職しなくてはならない	1	2
8 女性は出産すると退職しなくてはならない	1	2
9 家族手当が女性につかない	1	2
10 職種にかかわらず、お茶くみなどの雑用は、女性がすることが多い	1	2

問23 (全員の方がお答えください。)あなたは、今までに仕事を辞めたり中断したり、あるいは転職したことがありますか。また、その理由は何ですか。主なもの一つを選んでつけてください。

1 ない
2 ある(次の中から主な理由の一つを選んで○をつけてください。)

(仕事を辞めた、中断した理由)

a 結婚のため	i 長期勤務しにくい職場の雰囲気があったため
b 出産・育児のため	j 家業につくため
c 自分の健康や体力の問題	k 会社側の都合
d 高齢になったため	l 配偶者の転勤のため
e 仕事の内容があわなかったため	m 家族の理解、協力が得にくいため
f 親や病気の家族の世話のため	n 大学その他で勉強するため
g 労働条件に対する不満があったため	o 特に理由はない
h よりよい条件の仕事があったため	p その他(具体的に:)

問24 「育児・介護などの家庭で担われている役割は社会的にも重要であるため、社会全体で評価していこう」という考えがありますが、あなたは具体的にどのような形で評価することが必要だと思いますか。1～5までのそれぞれについて、一つだけつけてください。

	手当の支給や税制上での優遇などで経済的に評価する	表彰などで社会的に評価する	経済的・社会的に評価する必要はない	その他(※欄外に具体的な考えを記述してください)	わからない
1 育児	1	2	3	4	5
2 介護	1	2	3	4	5
3 育児・介護以外の家事	1	2	3	4	5
4 町内会などの地域活動	1	2	3	4	5

※その他について具体的な考えの記述をお願いします。

()

問25 あなたは、テレビ、新聞、雑誌、インターネット、コンピュータゲームなどでのメディアにおける性・暴力表現について、問題があると思いますか。

1 そう思う	→ 問26へ
2 どちらかといえばそう思う	→ 問26へ
3 どちらかといえばそう思わない	→ 問27へ
4 そう思わない	→ 問27へ
5 わからない	→ 問27へ

問26 (問25で1又は2とお答えされた方のみお答えください。)テレビ、新聞、雑誌、インターネット、コンピュータゲームなどでのメディアにおける性・暴力表現について、どのような点で問題があると思いますか。あてはまるもの全てにをつけてください。

1 女性の性的側面を過度に強調するなど、女性の人権が侵害されている
2 社会全体の性に関する道徳観・倫理観が損なわれている
3 女性に対する暴力を助長する
4 そのような表現を望まない人や子どもの目に触れている
5 児童に対する性犯罪を助長する
6 その他(具体的に:)
7 わからない

問27 (全員の方がお答えください。) テレビ、新聞、雑誌、インターネット、コンピュータゲームなどのメディアにおける性・暴力表現について制限をする場合、どのような方法で制限するのがよいと思いますか。あてはまるもの全てに をつけてください。

- 1 メディアや制作会社が加盟している業界団体による自主規制
- 2 フィルタリングの設定などによる受信側の制限
- 3 メーカーによるフィルタリング (※1) 技術の開発
- 4 インターネット接続業者によるブロッキング (※2) の実施
- 5 有害情報通報相談窓口の活用促進
- 6 行政機関による指導・管理体制の強化
- 7 法改正や新しい法律の制定による規制
- 8 特に制限の必要はない
- 9 その他 (具体的に: _____)
- 10 わからない

※1「フィルタリング」とは、携帯電話やパソコンなどでインターネットを利用する際に、有害なサイト(インターネット上で情報が掲載されている場所)へのアクセス(接続)を制限する機能です。

※2「ブロッキング」とは、インターネットにアクセスするためのサービスを提供している接続業者において、有害なサイトへのアクセスを遮断する手法です。

問28 女性が抱えている悩みを相談するところについて、ご存知の機関全てに をつけてください。

- (暴力・ストーカーなど)
- 1 女性被害110番(県警察本部)
 - 2 配偶者暴力相談支援センター(県女性福祉相談所)
 - 3 DV・児童虐待相談フリーダイヤル(県中央福祉相談センター)
 - 4 男女平等推進相談室(新潟県)
 - 5 女性の人権ホットライン(法務局)
- (労働関係)
- 6 マザーズコーナー(ハローワーク上越)
 - 7 新潟労働局企画室総合労働相談コーナー
- (女性相談全般)
- 8 市民相談室(市)
 - 9 女性相談(市男女共同参画推進センター)
 - 10 その他の機関(具体的に: _____)

問29 上越市では、各小学校区に2人ずつ男女共同参画地域推進員を委嘱しています。このことについて、一つだけ をつけてください。

- 1 地域推進員の役割や、自分の地域の推進員が誰かを知っている
- 2 地域推進員の役割は知っているが、自分の地域の推進員が誰かは知らない
- 3 地域推進員の役割は知らないが、自分の地域の推進員が誰かは知っている
- 4 全く知らない

問30 あなたは、次に掲げるものの名称やことばについてご存知ですか。1～20のそれぞれについて、一つだけ をつけてください。

	言葉も内容も知っている	言葉と一部の内容を知っている	言葉は知っている	知らない
1 男女共同参画社会	1	2	3	4
2 DV…ドメスティック・バイオレンス（配偶者やパートナー等からの暴力）	1	2	3	4
3 ポジティブ・アクション（積極的改善措置）	1	2	3	4
4 アンペイドワーク（無償労働）	1	2	3	4
5 リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する女性の健康・権利）	1	2	3	4
6 ジェンダー（社会的性別）	1	2	3	4
7 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	1	2	3	4
8 上越市男女共同参画都市宣言（市）	1	2	3	4
9 上越市男女共同参画基本条例（市）	1	2	3	4
10 上越市男女共同参画基本計画（市）	1	2	3	4
11 上越市男女共同参画推進センター（市）	1	2	3	4
12 上越市女性相談事業（市）	1	2	3	4
13 上越市男女共同参画フェスタ（市）	1	2	3	4
14 男女共同参画推進情報誌『カスタネット』（市）	1	2	3	4
15 市の各種審議会等へのクォータ制導入（市）	1	2	3	4
16 ハッピーパートナー企業（県）	1	2	3	4
17 男女共同参画社会基本法（国）	1	2	3	4
18 男女雇用機会均等法（国）	1	2	3	4
19 DV防止法…配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（国）	1	2	3	4
20 女性差別撤廃条約（国連）	1	2	3	4

問31 「男女共同参画社会」を実現するために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。あてはまるもの全てに をつけてください。

1 法律や制度の面で見直しを行う
2 国・地方公共団体の審議会委員や管理職など、政策決定の場に女性を積極的に登用する
3 民間企業・団体等の管理職に女性の登用が進むよう支援する
4 女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を提供する
5 従来、女性が少なかった分野（研究者等）への女性の進出を支援する
6 保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する
7 男女の平等と相互の理解や協力についての学習機会を充実する（参加者が100人規模の講演会等）
8 男女の平等と相互の理解や協力についての学習機会を充実する（参加者が少人数のセミナー等）
9 学校教育において男女共同参画社会についての学習を充実する
10 労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女共に働き方の見直しを進める
11 子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する
12 子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する
13 男女の平等と相互の理解や協力について広報・PRする
14 その他（具体的に： _____）
15 特にない
16 わからない

問32 講演会等を行う場合に、あなたが最も参加しやすいと思う日時について、一つだけ をつけてください。

1 平日の10時から12時
2 平日の13時から18時
3 平日の18時から20時
4 土曜日の10時から12時
5 土曜日の13時から18時
6 土曜日の18時から20時
7 日曜日、祝日の10時から12時
8 日曜日、祝日の13時から18時
9 日曜日、祝日の18時から20時

問33 上越市では、男女共同参画基本計画を策定しています。基本計画は、22年度において第1次計画が終了し、第2次計画の策定を行うこととしていますが、第1次計画に引き続きより一層推進することが必要と思うもの3つに をつけてください。

基本目標	重点目標	必要と思うもの
I 女性の人権が確保される社会づくり	1 男女平等の視点に立った社会制度・慣行の見直し	
	2 個人の尊厳の尊重と男女の固定的役割分担意識の解消	
	3 女性に対するあらゆる暴力の根絶	
	4 メディアにおける女性の人権の尊重	
II 生涯を通じた女性の心身の健康づくり	1 リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する健康/権利)に関する意識の浸透	
	2 生涯を通じた女性の健康支援	
III 男女平等の意識づくりをめざす教育環境の整備	1 学校等における男女平等教育の強化	
	2 男女平等と個の確立をめざした生涯学習の推進	
IV 政策・方針決定の場への女性参画の推進	1 女性人材の積極的な育成	
	2 市の施策・方針決定過程への女性の参画拡大	
	3 企業、団体、学校、地域等における方針決定の場への女性の参画促進	
	4 国際社会の男女平等に向けた取組の理解・促進	
V 男女平等の労働環境づくり	1 労働の場における男女の均等な機会と待遇の確保	
	2 職業生活と家庭生活が両立できる就業環境の整備	
	3 女性の能力開発・育成と発揮のための支援	
	4 農林水産業に従事する女性の社会的・経済的地位の向上	
	5 商工自営業に従事する女性の経営等への参画	
VI 家庭生活と職業・地域活動等に男女が共に参画できるくらしづくり	1 家庭生活における一人ひとりの自立の推進	
	2 地域社会への男女共同参画の促進	
	3 地域における子育てや介護の支援など安心して暮らせる環境の整備	

問34 今後、男女共同参画を推進していくためには、どのように取り組んでいけばよいかご意見・ご要望・ご提案などございましたら、自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。お手数ですが、記入もれがないかもう一度ご確認ください。

記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて、4月20日(火)までにご投函くださいますようお願いいたします。



平成 22 年度

上越市男女共同参画に関する市民意識調査 報告書

平成 22 年 7 月発行

発行 新潟県上越市

自治・市民環境部 共生まちづくり課

〒943-8601 上越市木田 1 丁目 1 番 3 号

TEL (025)526-5111

FAX (025)526-6114

E-mail kyousei@city.joetsu.lg.jp

URL <http://www.city.joetsu.niigata.jp/>

この報告書は再生紙を使用しています。